

目次

第1章	式の計算	
1	単項式と多項式	2
2	多項式の加法と減法	6
3	多項式のいろいろな計算	10
4	単項式の乗法・除法	14
5	単項式の乗除混合	18
6	式の値	22
7	文字を使った説明	26
8	等式の変形	32
第2章	連立方程式	
1	連立方程式の解き方(1)	36
2	連立方程式の解き方(2)	40
3	連立方程式の解き方(3)	46
4	連立方程式の解き方(4)	52
5	連立方程式の利用(1)	56
6	連立方程式の利用(2)	60
7	連立方程式の利用(3)	64
第3章	1次関数	
1	1次関数	72
2	1次関数の変化の割合	76
3	1次関数のグラフ(1)	80
4	1次関数のグラフ(2)	84
5	1次関数のグラフ(3)	88
6	1次関数の求め方(1)	94
7	1次関数の求め方(2)	98
8	1次方程式のグラフ	102
9	グラフの交点	106
10	1次関数の利用	110
第4章	図形の性質	
1	角と平行線	114
2	平行線と同位角・錯角	118
3	三角形の角	122
4	多角形の角	126
第5章	図形と証明	
1	合同な図形	130
2	三角形の合同条件	134
3	合同な三角形と合同条件	138
4	合同な三角形の証明(1)	144
5	合同な三角形の証明(2)	148
6	合同な三角形の証明(3)	152
7	三角形の合同の利用	156
8	二等辺三角形	160
9	二等辺三角形と三角形の合同	164
10	正三角形	168
11	二等辺三角形になる条件	172
12	直角三角形	176
13	平行四辺形	180
14	平行四辺形になる条件	184
15	特別な平行四辺形	188
16	面積の等しい三角形	192
第6章	確率	
1	確率	196
第7章	データの見方	
1	四分位数と箱ひげ図	200
第8章	図形のまとめ	
	図形のまとめ	204

単項式と多項式

例1 単項式と多項式

次の文字式は単項式と多項式のどちらですか。

① $3xy$

数や文字の乗法
だけで表される → 単項式

② $2x - 5y$

単項式の和(差)
で表される → 多項式

③ $-12x^2y$

数や文字の乗法
だけで表される → 単項式

④ $\frac{3a}{4} + \frac{1}{2}$

単項式の和(差)
で表される → 多項式

⑤ $6 - a$

単項式の和(差)
で表される → 多項式

⑥ $x^2 + 4x - 12$

単項式の和(差)
で表される → 多項式

ポイント

◆ 単項式… 数と文字をかけた形

$4xy^2$, $-2ab$ など

◆ 多項式… 2つ以上の単項式の和の形で表された式

$-x + 2y$, $x^2 - 3x + 6$ など

例2 項と係数

次の多項式の項をすべて書きなさい。また、文字の項の係数を答えなさい。

$$3x^2 + 4x - 2xy + y^2 - \frac{y}{2} - 10$$

項	項	項	項	項	項
$3x^2$	$+4x$	$-2xy$	$+y^2$	$-\frac{y}{2}$	-10
係数 3	係数 4	係数 -2	係数 1	係数 $-\frac{1}{2}$	

答

項… $3x^2$, $4x$, $-2xy$, y^2 , $-\frac{y}{2}$, -10
係数… 3, 4, -2, 1, $-\frac{1}{2}$

ポイント

◆ 係数… 文字をふくむ項の数の部分 $4xy^2$ の係数は4, $-ab$ の係数は-1など

例3 単項式の次数

次の単項式の次数を答えなさい。また何次式ですか。

① $-3x$

$-3 \times x$
文字が1つ → 次数は1

② $2ab$

$2 \times a \times b$
文字が2つ → 次数は2

③ $-x^2y^3$

$-x \times x \times y \times y \times y$
文字が5つ → 次数は5

答 次数…1, 1次式

答 次数…2, 2次式

答 次数…5, 5次式

ポイント

◆ 次数… かけ合わされた文字の数

例4 多項式の次数

次の多項式の次数を答えなさい。また何次式ですか。

① $3x + 2$

$3x + 2$
次数 1

② $a^2 - 4ab$

$a^2 - 4ab$
次数 2

③ $x^3 + xy - 4y^2$

$x^3 + xy - 4y^2$
次数 3

答 次数…1, 1次式

答 次数…2, 2次式

答 次数…3, 3次式

ポイント

◆ 多項式の次数… 各項の次数のうちで最も大きいもの

練習1 次の文字式は単項式と多項式のどちらですか。

① $4xy$

② $-3a^2b$

③ $2x-6y$

④ $1-a$

⑤ $2x^2-3x+5$

⑥ $\frac{1}{2}ab^2$

練習2 次の多項式の項をすべて書きなさい。また、文字の項の係数を答えなさい。

① $-x+3y-6$

② a^2-6a-3

③ $-2x^2+5xy-y^2$

練習3 次の単項式の次数を答えなさい。また何次式ですか。

① $3x$

② $-5xy^2$

③ $-a^3b^2c$

練習4 次の多項式の次数を答えなさい。また何次式ですか。

① $4x-3$

② $a+3ab-b$

③ $2x^2-9y^2$

④ a^2+4a-5

⑤ x^3-3xy^3

⑥ $a^4-a^3b+a^2b-9ab$

1 次の文字式は単項式と多項式のどちらですか。(6点×6=36点)▶p2 例1

① $3x-5y$

② $2-a$

③ $-2xy$

④ $5a^2b$

⑤ x^2+x

⑥ $-a+5ab$

2 次の多項式の項をすべて書きなさい。また、文字の項の係数を答えなさい。

(4点×3=12点)▶p2 例2

① $4x-y+2$

② $2x^2+xy+4y^2$

③ $-ab^2+3a-6$

3 次の単項式の次数を答えなさい。また何次式ですか。

(4点×4=16点)▶p2 例3

① $2xy$

② $4ab^2$

③ $-x^2y^3$

④ $3a^3b^2c$

4 次の多項式の次数を答えなさい。また何次式ですか。

(6点×6=36点)▶p2 例4

① x^2-2x

② $ab+6a-5$

③ $xy-4y^2+x^3$

④ $a^2+6ab+9b^2$

⑤ xy^3-2x^2y

⑥ $a^5-3a^2b^2+2ab-8$

確認問題 1-1-B

1 次の文字式は単項式と多項式のどちらですか。(6点×6=36点)▶p2 例1

① $-4y$

② $y-4$

③ $-2x+5y$

④ a^2+b^2

⑤ $2x^3y$

⑥ $-ab$

2 次の多項式の項をすべて書きなさい。また、文字の項の係数を答えなさい。

(4点×3=12点)▶p2 例2

① $a-b+1$

② $3x^2-4x+2$

③ $-a^2b+2ab^2+ab$

3 次の単項式の次数を答えなさい。また何次式ですか。

(4点×4=16点)▶p2 例3

① $-x^3$

② $3abc$

③ $-5x^4y$

④ abc^2

4 次の多項式の次数を答えなさい。また何次式ですか。

(6点×6=36点)▶p2 例4

① $5x-3$

② $a^2+6ab-5b^2$

③ x^2-4x+8

④ $ab^2+2a^2-b^3$

⑤ $x^2y^3-x^3y$

⑥ $2a^4-a^2b-ab^2-b^3$

多項式の加法と減法

例1 同類項をまとめる

次の式と同類項をまとめなさい。

① $3x + 4y - 2x + 5y$

$$\begin{array}{r} 3x + 4y - 2x + 5y \\ \hline = x + 9y \end{array}$$

同類項をまとめる

② $x^2 - 3x + 5x - 2x^2$

$$\begin{array}{r} x^2 - 3x + 5x - 2x^2 \\ \hline = -x^2 + 2x \end{array}$$

同類項をまとめる

③ $2a^2 + 5ab + a^2 - 5ab$

$$\begin{array}{r} 2a^2 + 5ab + a^2 - 5ab \\ \hline = 3a^2 \end{array}$$

同類項をまとめる

ポイント

- ◆同類項…文字の部分が同じ項 $4a$ と $-a$ 、 x^2 と $3x^2$ など x^2 と x は同類項でない
- ◆同類項はまとめることができる

例2 多項式の加法

次の計算をしなさい。

① $(-5x + 2y) + (6x - 7y)$

$$\begin{array}{r} (-5x + 2y) + (6x - 7y) \\ \hline = -5x + 2y + 6x - 7y \\ \hline = x - 5y \end{array}$$

()の前が+なので()の中の符号は変わらない
同類項をまとめる

② $(x^2 + 3x - 6) + (-3x^2 - 4x + 6)$

$$\begin{array}{r} (x^2 + 3x - 6) + (-3x^2 - 4x + 6) \\ \hline = x^2 + 3x - 6 - 3x^2 - 4x + 6 \\ \hline = -2x^2 - x \end{array}$$

()の前が+なので()の中の符号は変わらない
同類項をまとめる

例3 多項式の減法

次の計算をしなさい。

① $(-5x + 2y) - (6x - 7y)$

$$\begin{array}{r} (-5x + 2y) - (6x - 7y) \\ \hline = -5x + 2y - 6x + 7y \\ \hline = -11x + 9y \end{array}$$

()の前が-なので()の中の符号が変わる
同類項をまとめる

② $(x^2 + 3x - 6) - (3x^2 - 4x + 6)$

$$\begin{array}{r} (x^2 + 3x - 6) - (3x^2 - 4x + 6) \\ \hline = x^2 + 3x - 6 - 3x^2 + 4x - 6 \\ \hline = -2x^2 + 7x - 12 \end{array}$$

()の前が-なので()の中の符号が変わる
同類項をまとめる

ポイント

- ◆()の前が-のとき、()をとると符号が変わる

例4 たて書きの加法と減法

次の計算をしなさい。

①
$$\begin{array}{r} -2x^2 + 3x + 5 \\ +) \quad x^2 - 2x - 8 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} -2x^2 + 3x + 5 \\ +) \quad x^2 - 2x - 8 \\ \hline -x^2 + x - 3 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} -3x^2 + 4x + 1 \\ -) \quad x^2 - 4x + 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} -3x^2 + 4x + 1 \\ -) \quad x^2 - 4x + 5 \\ \hline -4x^2 + 8x - 4 \end{array}$$

下の段の±を反対にする

ポイント

- ◆たて書きの減法ではひく方(下の段)の符号を反対にして加法で計算する

■練習1 次の式の種類項をまとめなさい。

- ① $4x+3y-x-5y$ ② $-3a-2b+2a-b$ ③ $2x^2+5x-8x-x^2$
- ④ $5ab-5ab+4a+2a$ ⑤ x^2-xy-x^2-xy ⑥ $-a^2+3b+2a^2-6b$

■練習2 次の計算をしなさい。

- ① $(6x-3y)+(4x+2y)$ ② $(3a^2-2ab)+(-2a^2+5ab)$
- ③ $(2x^2-x+4)+(3x^2+2x-3)$ ④ $(-2y^2+y+1)+(5y^2-y-3)$

■練習3 次の計算をしなさい。

- ① $(5x-2y)-(4x+3y)$ ② $(2a^2+5ab)-(-2a^2+5ab)$
- ③ $(4x^2-2x+1)-(3x^2+x-7)$ ④ $(-y^2+y+4)-(2y^2+2y-6)$
- ⑤ $(-3a^2+ab+8)-(a^2-5ab+9)$ ⑥ $(3xy-4x-1)-(-3xy-4x+3)$

■練習4 次の計算をしなさい。

- ①
$$\begin{array}{r} -3x^2+2x-4 \\ +) \quad x^2-3x+6 \end{array}$$
- ②
$$\begin{array}{r} -2x^2+7x+6 \\ +) \quad x^2-7x-1 \end{array}$$
- ③
$$\begin{array}{r} -3x^2+4x-4 \\ -) \quad 3x^2+2x-1 \end{array}$$
- ④
$$\begin{array}{r} -2x^2-3x+4 \\ -) \quad -x^2-2x+4 \end{array}$$

1 次の式の同類項をまとめなさい。(5点×6=30点)▶p6 例1

① $5x-4y+3x+5y$ ② $-3a+5b-a-6b$ ③ $-x+4y-8x+5y$

④ $4xy-x+5xy+2x$ ⑤ $2x^2-5x+3x^2-4x$ ⑥ $2a^2+3b-4b-a^2$

2 次の計算をしなさい。(5点×4=20点)▶p6 例2

① $(x-6y)+(5x+2y)$ ② $(-a^2+4ab)+(3a^2-5ab)$

③ $(4x^2-2x-1)+(-4x^2-5x+2)$ ④ $(ab-a-7)+(2ab-a+7)$

3 次の計算をしなさい。(5点×6=30点)▶p6 例3

① $(-3x+5y)-(8x-2y)$ ② $(7a-ab)-(-a+6ab)$

③ $(2x^2+x-6)-(4x^2+3x-1)$ ④ $(-3a^2+2a-1)-(a^2+4a-1)$

⑤ $(4a^2-3a+2)-(-3a^2-3a+1)$ ⑥ $(6x-5xy-2)-(6x-6xy+2)$

4 次の計算をしなさい。(5点×4=20点)▶p6 例4

①
$$\begin{array}{r} -2x^2+5x-1 \\ +) \quad x^2-5x-3 \\ \hline \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 4x^2-3x+2 \\ +) -x^2+4x-3 \\ \hline \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 2x^2-x-6 \\ -) 3x^2+5x-5 \\ \hline \end{array}$$
 ④
$$\begin{array}{r} -x^2+4x+3 \\ -) -x^2-4x+3 \\ \hline \end{array}$$

確認問題 1-2-B

1 次の式の同類項をまとめなさい。(5点×6=30点)▶p6 例1

- ① $3x+y-4x-7y$ ② $6a+8b-6a-5b$ ③ $-5x^2+2x-6x+x^2$
- ④ $-x-xy-x-xy$ ⑤ $3x+2xy-2x-3xy$ ⑥ $-a^2+3a^2-2a+4a$

2 次の計算をしなさい。(5点×4=20点)▶p6 例2

- ① $(-x+4y)+(2x-6y)$ ② $(5a^2-a)+(-4a^2+a)$
- ③ $(-a^2+6a+2)+(2a^2-5a-2)$ ④ $(7x^2+5x-3)+(-2x^2+4x-3)$

3 次の計算をしなさい。(5点×6=30点)▶p6 例3

- ① $(3x-2y)-(-5x+3y)$ ② $(a^2+b^2)-(-3a^2-b^2)$
- ③ $(-2a^2+4a-9)-(a^2-a-8)$ ④ $(5x^2-2x+1)-(-x^2+2x+1)$
- ⑤ $(-ab-6a-2)-(2ab+5a-1)$ ⑥ $(x-2xy+8)-(x+2xy-8)$

4 次の計算をしなさい。(5点×4=20点)▶p6 例4

- ①
$$\begin{array}{r} 2x^2+x-3 \\ +) \quad x^2+2x+4 \end{array}$$
- ②
$$\begin{array}{r} -3x^2+4x-1 \\ +) \quad x^2-5x+1 \end{array}$$
- ③
$$\begin{array}{r} -x^2+5x-5 \\ -) \quad 2x^2-6x+8 \end{array}$$
- ④
$$\begin{array}{r} x^2-3x+2 \\ -) \quad -x^2+4x-4 \end{array}$$

多項式のいろいろな計算

例1 多項式×数

次の計算をなさい。

① $2(5x-3y)$

$$\begin{aligned} & \left[\begin{array}{l} \text{分配法則} \\ \overbrace{2(5x-3y)}^{\times} \\ = 10x - 6y \end{array} \right. \end{aligned}$$

② $\frac{1}{2}(6x+5y)$

$$\left[\begin{array}{l} \text{分配法則} \\ \overbrace{\frac{1}{2}(6x+5y)}^{\times} \\ = 3x + \frac{5}{2}y \end{array} \right.$$

③ $(x^2-3x+2) \times (-4)$

$$\left[\begin{array}{l} \text{分配法則} \\ \overbrace{(x^2-3x+2) \times (-4)}^{\times} \\ = -4x^2 + 12x - 8 \end{array} \right.$$

例2 多項式÷数

次の計算をなさい。

① $(12a-8b) \div (-4)$

$$\left[\begin{array}{l} \text{割り切れるので割る} \\ \overbrace{(12a-8b) \div (-4)}^{\div} \\ = -3a + 2b \end{array} \right.$$

② $(6x+10y) \div 5$

$$\left[\begin{array}{l} \text{逆数をかける} \\ (6x+10y) \div 5 \\ = (6x+10y) \times \frac{1}{5} \\ = \frac{6}{5}x + \frac{10}{5}y \\ = \frac{6}{5}x + 2y \end{array} \right.$$

③ $(2x^2+3x) \div \frac{6}{5}$

$$\left[\begin{array}{l} \text{逆数をかける} \\ (2x^2+3x) \div \frac{6}{5} \\ = (2x^2+3x) \times \frac{5}{6} \\ = \frac{10}{6}x^2 + \frac{15}{6}x \\ = \frac{5}{3}x^2 + \frac{5}{2}x \end{array} \right.$$

例3 多項式の計算(1)

次の計算をなさい。

① $2(x-4y)+3(2x+4y)$

$$\left[\begin{array}{l} \text{分配法則} \\ \overbrace{2(x-4y)+3(2x+4y)}^{\times} \\ = 2x-8y+6x+12y \\ = 8x+4y \end{array} \right.$$

② $3(2x+y)-2(3x-4y)$

$$\left[\begin{array}{l} \text{分配法則} \\ \overbrace{3(2x+y)-2(3x-4y)}^{\times} \\ = 6x+3y-6x+8y \\ = 11y \end{array} \right.$$

例4 多項式の計算(2)

次の計算をなさい。

① $\frac{1}{3}(2x-y) - \frac{1}{2}(x+3y)$

$$\left[\begin{array}{l} \text{分配法則} \\ \overbrace{\frac{1}{3}(2x-y) - \frac{1}{2}(x+3y)}^{\times} \\ = \frac{2}{3}x - \frac{1}{3}y - \frac{1}{2}x - \frac{3}{2}y \\ = \frac{4}{6}x - \frac{2}{6}y - \frac{3}{6}x - \frac{9}{6}y \\ = \frac{4}{6}x - \frac{3}{6}x - \frac{2}{6}y - \frac{9}{6}y \\ = \frac{1}{6}x - \frac{11}{6}y \end{array} \right.$$

② $\frac{2x-y}{3} - \frac{x+3y}{2}$

$$\left[\begin{array}{l} \text{通分} \\ \frac{2x-y}{3} - \frac{x+3y}{2} \\ = \frac{2(2x-y)}{6} - \frac{3(x+3y)}{6} \\ = \frac{2(2x-y) - 3(x+3y)}{6} \\ = \frac{4x-2y-3x-9y}{6} \\ = \frac{x-11y}{6} \end{array} \right.$$

■練習1 次の計算をなさい。

① $4(2x-5y)$ ② $-5(a-2b)$ ③ $\frac{1}{3}(8x+6y)$ ④ $(-3a+b)\times(-4)$

■練習2 次の計算をなさい。

① $(12x-8y)\div 4$ ② $(9a^2-4a)\div(-6)$ ③ $(2x^2+6y^2)\div\frac{4}{5}$

■練習3 次の計算をなさい。

① $3(2x-y)+4(3x+4y)$ ② $2(a^2+3ab)-5(2a^2+ab)$

③ $2(3x^2-4x)-3(2x^2+3x)$ ④ $5(-2y^2+y)+4(y^2+4y)$

⑤ $4(-a+2b+2)-2(3a-5b+1)$ ⑥ $3(2x-4y-3)-2(-x-2y+5)$

■練習4 次の計算をなさい。

① $\frac{1}{3}(x-4y)+\frac{1}{5}(3x+2y)$ ② $\frac{1}{4}(2x+y)-\frac{1}{6}(x-3y)$

③ $\frac{2x-3y}{3}+\frac{3x+y}{4}$ ④ $\frac{x+3y}{2}-\frac{2x-y}{6}$

1 次の計算をなさい。(3点×4=12点)▶p10 例1

- ① $3(5x-6y)$ ② $-4(2a+3b)$ ③ $\frac{3}{4}(4x-3y)$ ④ $(-a-2b) \times (-5)$

2 次の計算をなさい。(6点×3=18点)▶p10 例2

- ① $(15a-5b) \div 5$ ② $(4x^2+6x) \div (-8)$ ③ $(3x^2-4y^2) \div \frac{6}{5}$

3 次の計算をなさい。(7点×6=42点)▶p10 例3

- ① $2(5x-3y)+5(x+2y)$ ② $3(2a^2-a)-2(4a^2-3a)$

- ③ $3(2x^2-7x)+4(x^2+5x)$ ④ $2(-xy+4y)-6(xy-2y)$

- ⑤ $5(a-5b+2)-3(-a+2b+2)$ ⑥ $4(x^2-2x-1)+3(-2x^2-3x+2)$

4 次の計算をなさい。(7点×4=28点)▶p10 例4

- ① $\frac{1}{4}(2x-3y)+\frac{1}{3}(x+4y)$ ② $\frac{3}{4}(x-3y)-\frac{2}{5}(3x-2y)$

- ③ $\frac{3x-y}{2} + \frac{4x+3y}{5}$ ④ $\frac{5x-2y}{4} - \frac{x-2y}{6}$

確認問題 1-3-B

1 次の計算をなさい。(3点×4=12点)▶p10 例1

- ① $-2(4x+5y)$ ② $5(-a-6b)$ ③ $\frac{5}{6}(3x-6y)$ ④ $(a+4b) \times (-2)$

2 次の計算をなさい。(6点×3=18点)▶p10 例2

- ① $(24x-16y) \div 8$ ② $(6x^2-10x) \div (-4)$ ③ $(8x-2xy) \div \frac{4}{3}$

3 次の計算をなさい。(7点×6=42点)▶p10 例3

- ① $3(2x-y)-2(3x+4y)$ ② $4(3a-b)-3(-4a+b)$
- ③ $4(x-5xy)+2(-3x+xy)$ ④ $5(x^2+4x)-2(2x^2+10x)$
- ⑤ $2(3a-2b+1)+5(a+b-2)$ ⑥ $3(a^2-2a+1)-6(-a^2-a+3)$

4 次の計算をなさい。(7点×4=28点)▶p10 例4

- ① $\frac{1}{2}(3x-y)+\frac{2}{5}(2x+3y)$ ② $\frac{1}{6}(x-5y)-\frac{2}{3}(x-4y)$
- ③ $\frac{2x-3y}{4}+\frac{x+2y}{3}$ ④ $\frac{x-4y}{6}-\frac{2x-y}{8}$

単項式の乗法と除法

例1 単項式の乗法(1)

次の計算をしなさい。

① $2x \times 3y$

$$\begin{array}{c} 2 \times 3 = 6 \\ \begin{array}{c} 2x \times 3y \\ \hline x \times y = xy \end{array} \\ \hline = 6xy \end{array}$$

② $-3a \times (-4b)$

$$\begin{array}{c} (-3) \times (-4) = 12 \\ \begin{array}{c} -3a \times (-4b) \\ \hline a \times b = ab \end{array} \\ \hline = 12ab \end{array}$$

③ $\frac{2}{3}x \times (-\frac{1}{4}y)$

$$\begin{array}{c} \frac{2}{3} \times (-\frac{1}{4}) = -\frac{1}{6} \\ \begin{array}{c} \frac{2}{3}x \times (-\frac{1}{4}y) \\ \hline x \times y = xy \end{array} \\ \hline = -\frac{1}{6}xy \end{array}$$

例2 単項式の乗法(2)

次の計算をしなさい。

① $-3xy \times 2x$

$$\begin{array}{c} -3xy \times 2x \\ \hline = -6x^2y \quad \text{累乗の形にする} \end{array}$$

② $(2a)^3$

$$\begin{array}{c} (2a)^3 \quad \text{Ⓢ} 6a^3 \text{にしないこと!} \\ = 2a \times 2a \times 2a \\ = 8a^3 \quad \text{累乗の形にする} \end{array}$$

③ $4x \times (-x)^2$

$$\begin{array}{c} 4x \times (-x)^2 \\ = 4x \times (-x) \times (-x) \\ = 4x^3 \quad \text{累乗の形にする} \end{array}$$

例3 単項式の除法(1)

次の計算をしなさい。

① $6xy \div (-2y)$

$$\begin{array}{c} 6xy \div (-2y) \\ \begin{array}{c} 3 \quad 1 \\ \hline 6xy \\ \hline -2y \quad 1 \\ \hline 1 \quad 1 \end{array} \\ \hline = -3x \end{array}$$

② $2x^2y \div 8xy^2$

$$\begin{array}{c} 2x^2y \div 8xy^2 \\ \begin{array}{c} 1 \quad x^2 \quad 1 \\ \hline 2x^2y \\ \hline 8xy^2 \quad 1 \\ \hline 4 \quad 1 \quad 1 \quad 1 \\ \hline x \quad 2xy \end{array} \\ \hline = \frac{x}{4y} \end{array}$$

③ $-4a^2b^3 \div (-4a^2b^3)$

$$\begin{array}{c} -4a^2b^3 \div (-4a^2b^3) \\ \begin{array}{c} -1 \quad 1 \quad 1 \quad 1 \quad 1 \\ \hline -4a^2b^3 \\ \hline -4a^2b^3 \\ \hline 1 \quad 1 \quad 1 \quad 1 \end{array} \\ \hline = 1 \end{array}$$

ポイント

◆割るほうを分母にする $\rightarrow \Delta \div \bigcirc = \frac{\Delta}{\bigcirc}$

例4 単項式の除法(2)

次の計算をしなさい。

① $-4xy \div \frac{6}{5}y$

$$\begin{array}{c} -4xy \div \frac{6}{5}y \\ \begin{array}{c} 2 \quad 1 \\ \hline -4xy \\ \hline 1 \end{array} \times \frac{5}{6y} \\ \hline = -\frac{10x}{3} \end{array}$$

② $\frac{2}{3}y \div 4x^2y$

$$\begin{array}{c} \frac{2}{3}y \div 4x^2y \\ \begin{array}{c} 1 \quad 1 \\ \hline \frac{2}{3}y \\ \hline 4x^2y \quad 1 \\ \hline 1 \quad 1 \quad 1 \end{array} \times \frac{1}{4x^2y} \\ \hline = \frac{1}{6x^2} \end{array}$$

③ $\frac{3}{4}a^2b \div \frac{1}{2}ab^3$

$$\begin{array}{c} \frac{3}{4}a^2b \div \frac{1}{2}ab^3 \\ \begin{array}{c} 3 \quad a^2 \quad 1 \\ \hline \frac{3}{4}a^2b \\ \hline \frac{1}{2}ab^3 \end{array} \\ \hline = \frac{3a}{2b^2} \end{array}$$

ポイント

◆分数のわり算では割るほうの逆数をかける $\div \frac{\Delta}{\bigcirc} \rightarrow \times \frac{\bigcirc}{\Delta}$

練習1 次の計算をしなさい。

① $5x \times 4y$

② $-5a \times b$

③ $-3a \times (-7b)$

④ $\frac{3}{4}x \times \frac{1}{6}y$

練習2 次の計算をしなさい。

① $-5xy \times (-3x)$

② $4ab \times (-5b)$

③ $(-4x)^2$

④ $(xy)^3$

⑤ $5a^3 \times 2a^2$

⑥ $-2x^4 \times 3x^2$

練習3 次の計算をしなさい。

① $12xy \div 6x$

② $-10a^2b \div 5a$

③ $4x \div (-8xy)$

④ $-6ab^2 \div (-9a^3b)$

⑤ $8xy^2 \div 8xy^2$

⑥ $-14xy \div (-7xy)$

練習4 次の計算をしなさい。

① $-2xy \div \frac{2}{3}x$

② $3ab \div \frac{6}{5}a^2$

③ $\frac{5}{3}xy \div (-10x)$

④ $-\frac{3}{2}a^2b \div (-6ab)$

⑤ $\frac{4}{3}x^2y \div \frac{2}{3}xy^2$

⑥ $-\frac{1}{6}a^2 \div (-\frac{3}{4}ab)$

1 次の計算をなさい。(4点×4=16点)▶p14 例1

- ① $3a \times (-6b)$ ② $-6x \times 2y$ ③ $-8a \times (-5b)$ ④ $\frac{5}{6}x \times \frac{3}{2}y$

2 次の計算をなさい。(4点×6=24点)▶p14 例2

- ① $-6xy \times 4y$ ② $-3a \times (-2ab)$ ③ $(5a)^3$

- ④ $(xy)^2$ ⑤ $3x^2 \times (-5x^4)$ ⑥ $-4x^3 \times 8x^3$

3 次の計算をなさい。(5点×6=30点)▶p14 例3

- ① $9xy \div (-3y)$ ② $12ab^2 \div 6ab$ ③ $-9y \div (-12xy)$

- ④ $-4a^2b \div 6a^3b^2$ ⑤ $7xy^2 \div (-7xy^2)$ ⑥ $24x^3y \div 6x^3y$

4 次の計算をなさい。(5点×6=30点)▶p14 例4

- ① $-3xy \div \frac{3}{5}y$ ② $2ab^2 \div \frac{4}{3}a^2$ ③ $-\frac{5}{2}xy \div (-15y)$

- ④ $\frac{6}{5}ab \div (-4a^2b)$ ⑤ $\frac{3}{8}xy^2 \div \frac{3}{2}x^2y$ ⑥ $-\frac{10}{3}ab \div \frac{5}{6}a^2b^2$

確認問題 1-4-B

1 次の計算をなさい。(4点×4=16点)▶p14 例1

- ① $5x \times 8y$ ② $-4a \times (-6b)$ ③ $3a \times (-10b)$ ④ $\frac{9}{10}x \times \frac{8}{3}y$

2 次の計算をなさい。(4点×6=24点)▶p14 例2

- ① $-5y \times 9xy$ ② $-2ab \times (-7a)$ ③ $(3x)^2$

- ④ $(-ab)^2$ ⑤ $-4x^3 \times (-3x^2)$ ⑥ $-6x^2 \times 2x^4$

3 次の計算をなさい。(5点×6=30点)▶p14 例3

- ① $-16ab \div 8b$ ② $24x^2y \div 4y$ ③ $-12b \div (-8ab)$

- ④ $-3ab^2 \div 15ab^3$ ⑤ $9x^3y^2 \div 9x^2y^2$ ⑥ $15xy^5 \div (-5xy^5)$

4 次の計算をなさい。(5点×6=30点)▶p14 例4

- ① $-6y \div \frac{3}{2}xy$ ② $8a^2b \div \frac{4}{3}ab$ ③ $\frac{8}{9}xy \div (-6x)$

- ④ $-\frac{5}{6}ab \div (-10ab^2)$ ⑤ $\frac{10}{3}xy \div \frac{5}{6}x^2y^2$ ⑥ $-\frac{7}{12}ab^3 \div \frac{7}{4}a^2b^2$

練習1 次の計算をなさい。

① $3xy \times (-6x^2y) \div 9y^2$

② $-4a^2b \div 24a^3b^3 \times 2ab$

③ $8xy^2 \div 3x \div 6xy$

④ $-18a^4b^2 \div (-3ab^2) \div 5ab$

練習2 次の計算をなさい。

① $-\frac{3}{2}ab \div (-6a^2b) \times \frac{2}{3}a^2b$

② $\frac{4}{3}x^2y \times 3xy \div \frac{2}{3}xy^2$

③ $-\frac{9}{4}a^2 \div (-3ab^2) \div (-\frac{1}{4}b)$

④ $\frac{1}{3}x^2y^2 \div (-\frac{1}{4}xy) \div \frac{5}{3}y^2$

1 次の計算をなさい。(12点×4=48点)▶p18 例1

① $-20x^2y \div 5xy^2 \times 2y$

② $2a^2b \times 3ab \div (-12a^4b^3)$

③ $-16x^2y^2 \div (-8x^2) \div 4xy$

④ $6a^5b \div 4ab^2 \div 2a^2b$

2 次の計算をなさい。(13点×4=52点)▶p18 例2

① $\frac{2}{3}ab \times (-3a^2) \div \frac{1}{6}a^2b$

② $\frac{2}{5}x^2y^2 \div 2xy \times \frac{1}{2}xy$

③ $-\frac{10}{3}a^2b^2 \div (-\frac{2}{3}a) \div 5ab$

④ $-\frac{1}{2}x^2y \div \frac{2}{3}x^2y \div \frac{5}{2}y$

確認問題 1-5-B

1 次の計算をなさい。(12点×4=48点)▶p18例1

① $4a^2b \times 3ab \div (-2a^2b)$

② $3xy \div 12x^2y^3 \times 2y$

③ $-15x^2y^2 \div 5x^2 \div 3xy^2$

④ $-12a^3b \div 9ab \div (-2b^2)$

2 次の計算をなさい。(13点×4=52点)▶p18例2

① $\frac{1}{2}ab^2 \div (-2a^2) \times \frac{1}{3}ab$

② $-\frac{2}{3}xy \times 3x^2y \div \frac{1}{4}xy^2$

③ $-\frac{4}{5}a^2b^2 \div 6a \div (-\frac{1}{10}ab^2)$

④ $\frac{12}{5}x^2y \div \frac{6}{5}x^2y^2 \div \frac{3}{5}x$

例1 式の値(1)

 $x=3, y=-5$ のとき、次の式の値を求めなさい。

① $2x-4y$

$$\begin{aligned} & 2x-4y \quad \begin{array}{l} x=3, y=-5 \\ \text{を代入} \end{array} \\ & = 2 \times 3 - 4 \times (-5) \\ & = 6 + 20 \\ & = 26 \end{aligned}$$

② $-4x^2+y^2$

$$\begin{aligned} & -4x^2+y^2 \quad \begin{array}{l} x=3, y=-5 \\ \text{を代入} \end{array} \\ & = -4 \times 3^2 + (-5)^2 \\ & = -4 \times 9 + 25 \\ & = -36 + 25 \\ & = -11 \end{aligned}$$

③ $2x^2y$

$$\begin{aligned} & 2x^2y \quad \begin{array}{l} x=3, y=-5 \\ \text{を代入} \end{array} \\ & = 2 \times 3^2 \times (-5) \\ & = 2 \times 9 \times (-5) \\ & = -90 \end{aligned}$$

ポイント

◆負の数を代入するときは()をつけて代入する

例2 式の値(2)

 $x=-4, y=3$ のとき、次の式の値を求めなさい。

① $2(3x+y)-3(x+2y)$

$$\begin{aligned} & 2(3x+y)-3(x+2y) \\ & = 6x+2y-3x-6y \quad \begin{array}{l} \text{文字式を簡単にする} \\ \\ \\ \end{array} \\ & = 3x-4y \\ & = 3 \times (-4) - 4 \times 3 \quad \begin{array}{l} x=-4, y=3 \\ \text{を代入} \end{array} \\ & = -12 - 12 \\ & = -24 \end{aligned}$$

② $3y \times (-6x^2y) \div 9xy$

$$\begin{aligned} & 3y \times (-6x^2y) \div 9xy \\ & = \frac{3y \times (-6x^2y)}{9xy} \quad \begin{array}{l} \text{文字式を簡単にする} \\ \\ \\ \end{array} \\ & = -2xy \quad \begin{array}{l} x=-4, y=3 \\ \text{を代入} \end{array} \\ & = -2 \times (-4) \times 3 \\ & = 24 \end{aligned}$$

文字式を簡単にする前に代入すると

$$\begin{aligned} & 3y \times (-6x^2y) \div 9xy \\ & = 3 \times 3 \times (-6) \times (-4)^2 \times 3 \div \{9 \times (-4) \times 3\} \\ & = 3 \times 3 \times (-6) \times 16 \times 3 \div (-108) \\ & = -2592 \div (-108) \\ & = 24 \end{aligned}$$

ポイント

◆文字式を簡単にしてから代入する

練習1 $x = 2$, $y = -3$ のとき、次の式の値を求めなさい。

① $5x - 6y$

② $-3x + 2y^2$

③ $4xy - y^2$

④ $4xy$

⑤ $-x^2y$

⑥ $-5xy^2$

練習2 $x = -5$, $y = 4$ のとき、次の式の値を求めなさい。

① $3(x - 4y) + 2(2x + 5y)$

② $2(3x^2 + y) - (x^2 - 4y)$

③ $4xy \times (-3xy) \div 2xy^2$

④ $-15x^3y^3 \div 3x \div 5xy$

1 $x = -2$, $y = 6$ のとき、次の式の値を求めなさい。

(10点 \times 6 = 60点) ▶ p22 例1

① $-3x - 4y$

② $-x^2 + 4y$

③ $2x^2 - 3xy$

④ $-5xy$

⑤ $2xy^2$

⑥ $-3x^2y$

2 $x = 4$, $y = -5$ のとき、次の式の値を求めなさい。

(10点 \times 4 = 40点) ▶ p22 例2

① $2(3x + 5y) - 4(2x + 3y)$

② $3(-x^2 + 4y) - (3x^2 + 10y)$

③ $6x^2y \times (-2xy^2) \div 4xy^2$

④ $-21x^2y^3 \div 3x \div (-7y)$

確認問題 1-6-B

1 $x = 3$, $y = -4$ のとき、次の式の値を求めなさい。

(10点 \times 6 = 60点) \rightarrow p22 例1

① $-3x + 2y$

② $4x - 3y^2$

③ $-5x + 3y^2$

④ $6xy$

⑤ $-x^2y^2$

⑥ $-5x^2y$

2 $x = -5$, $y = 2$ のとき、次の式の値を求めなさい。

(10点 \times 4 = 40点)

① $4(2x - y) - 2(3x - 6y)$

② $4(-x^2 + xy) + 3(x^2 - 2xy)$ \rightarrow p22 例2

③ $3x^2y \div 2xy^2 \times (-4xy)$

④ $12x^4y^3 \div 2x^2 \div 3xy^2$

例1 文字式を使って整数を表す

n を整数とすると、次の数を n を用いて表しなさい。

① 偶数

偶数は $2 \times$ 整数
だから $2n$

② 奇数

奇数は偶数 + 1
だから $2n + 1$
または $(2n - 1)$

③ 9の倍数

9の倍数は $9 \times$ 整数
だから $9n$

ポイント

◆ 整数の表し方 (m, n を整数とする)

◆ 偶数 ($2 \times$ 整数) $2m, 2n, 2(m+n)$ など

◆ 奇数 ($2 \times$ 整数 + 1) $2m+1, 2n-1, 2(m+n)+1$ など

◆ 3の倍数 ($3 \times$ 整数) $3m, 3n, 3(m+n)$ など

例2 文字を使った説明(1)

偶数を $2m$ 、奇数を $2n+1$ (m, n は整数) とすると、偶数と奇数の和は奇数になることを説明しなさい。

…とすると、偶数と奇数の和は奇数になることを説明しなさい。

↓ この部分を文字式で表す

$$\begin{aligned} & 2m + 2n + 1 \\ &= 2(m+n) + 1 \\ & m+n \text{ は整数だから } 2(m+n)+1 \text{ は奇数} \\ & \text{したがって偶数と奇数の和は奇数になる} \end{aligned}$$

問題文をそのまま書く

ポイント

◆ 文字を使った説明

— は — となることを説明しなさい

この部分を文字式で表す

例3 文字を使った説明(2)

カレンダーの中のある数を n とする。ある数の上の数と下の数の和はある数の2倍となることを説明しなさい。

上の数と下の数の和はある数の2倍となることを

説明しなさい。

↓ この部分を文字式で表す

$$\begin{aligned} & n-7 + n+7 \\ & \text{上の数} \quad \text{下の数} \\ &= 2n \end{aligned}$$

したがってある数の上の数と下の数の和はある数の2倍となる

問題文をそのまま書く

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

ポイント

◆ カレンダーの数の関係

$$\begin{array}{ccc} \boxed{\quad} & \boxed{n-7} & \boxed{\quad} \\ \boxed{n-1} & \boxed{n} & \boxed{n+1} \\ \boxed{\quad} & \boxed{n+7} & \boxed{\quad} \end{array}$$

練習1 n を整数とすると、次の数はどんな数を表していますか。

① $2n+1$

② $11n$

③ $2n$

練習2 2つの偶数を $2m$ 、 $2n$ (m 、 n は整数)とすると、2つの偶数の和は偶数になることを説明しなさい。

練習3 カレンダーの中のある数を n とする。ある数の前の数と後の数の和はある数の2倍となることを説明しなさい。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

例4 文字を使った説明(3)

連続する3つの整数を $n-1$, n , $n+1$ とする。この3つの整数の和は3で割り切れることを説明しなさい。

この3つの整数の和は3で割り切れることを説明しなさい。

↓ この部分を文字式で表す

$$\begin{aligned} & n-1+n+n+1 \\ & = 3n \end{aligned}$$

n は整数だから $3n$ は3の倍数

したがって連続する3つの整数の和は3で割り切れる 問題文をそのまま書く

ポイント

◆連続する数の表し方(n を整数とする)

- ◆連続する2つの整数 $n, n+1$ など
- ◆連続する3つの整数 $n-1, n, n+1$ $n, n+1, n+2$ など
- ◆連続する2つの偶数 $2n, 2n+2$ など
- ◆連続する2つの奇数 $2n+1, 2n+3$ など

例5 文字を使った説明(4)

十の位の数が x 、一の位の数 y である2けたの整数がある。この整数の十の位と一の位を入れかえた整数ともとの整数との差は9で割りきれられることを説明しなさい。

$$10y+x$$

$$10x+y$$

十の位と一の位を入れかえた整数ともとの整数との差は9で割りきれられることを説明しなさい。

↓ この部分を文字式で表す

$$\begin{aligned} & 10y+x-(10x+y) \\ & = 10y+x-10x-y \\ & = 9y-9x \\ & = 9(y-x) \end{aligned}$$

$y-x$ は整数だから $9(y-x)$ は9の倍数

したがって

問題文をそのまま書く

十の位と一の位を入れかえた整数ともとの整数との差は9で割りきれられる

ポイント

◆2けた(3けた)の整数の表し方

- ◆十の位が x 、一の位が y $10x+y$
- ◆百の位が x 、十の位が y 、一の位が z $100x+10y+z$

■練習4 連続する3つの整数を n , $n+1$, $n+2$ とする。この3つの整数の和は3で割り切れることを説明しなさい。

■練習5 百の位の数 a 、十の位の数 b 、一の位の数 c である3けたの整数がある。この整数の百の位と一の位を入れかえた整数ともとの整数との差は99で割りきれることを説明しなさい。

- 1 2つの奇数を $2m+1$, $2n+1$ (m, n は整数)とすると、2つの奇数の和は偶数になることを説明しなさい。(25点×1=25点)▶p26 例2

- 2 カレンダーの中で、たてに3つ並ぶ数の和は真ん中の数の3倍になる。このことを真ん中の数を n として説明しなさい。(25点×1=25点)▶p26 例3

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 3 連続する3つの偶数を $2n-2$, $2n$, $2n+2$ とする。この3つの偶数の和は6で割り切れることを説明しなさい。(25点×1=25点)▶p26 例4

- 4 十の位の数が x 、一の位の数 y である2けたの整数がある。この整数の十の位と一の位を入れかえた整数ともとの整数との和は11で割りきれられることを説明しなさい。(25点×1=25点)▶p26 例5

確認問題 1-7-B

- 1 奇数を $2m+1$ 、偶数を $2n$ (m, n は整数)とすると、奇数と偶数の和は奇数になることを説明しなさい。(25点×1=25点)▶p26 例2

- 2 カレンダーの中で、右の図のような5つの数の和は真ん中の数の5倍になる。このことを真ん中の数を n として説明しなさい。(25点×1=25点)▶p26 例3

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- 3 連続する2つの奇数を $2n+1$ 、 $2n+3$ とする。この2つの奇数の和は4で割り切れることを説明しなさい。(25点×1=25点)▶p26 例4

- 4 十の位の数 x 、一の位の数 y である2けたの整数がある。この整数と一の位の数の9倍の和は10で割りきれれることを説明しなさい。(25点×1=25点)▶p26 例5

等式の変形

例1 等式の変形(1)

次の式を[]内の文字について解きなさい。

① $x - 3y = 5$ [x]

$$\left[\begin{array}{l} x - 3y = 5 \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ x = 5 + 3y \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} \text{解きたい文字を} \\ \text{含む項を左辺に} \end{array}$$

② $4x = 6 - y$ [y]

$$\left[\begin{array}{l} 4x = 6 - y \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ y = 6 - 4x \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} \text{解きたい文字を} \\ \text{含む項を左辺に} \end{array}$$

③ $2y = x + 5$ [x]

$$\left[\begin{array}{l} 2y = x + 5 \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ -x = -2y + 5 \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ x = 2y - 5 \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} \text{解きたい文字を} \\ \text{含む項を左辺に} \\ \text{解きたい文字を} \\ \text{含む項がマイナス} \\ \text{のとき両辺に} \\ \text{-1をかける} \end{array}$$

例2 等式の変形(2)

次の式を[]内の文字について解きなさい。

① $3x = 2y$ [x]

$$\left[\begin{array}{l} 3x = 2y \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ x = \frac{2y}{3} \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} \text{解きたい文字以外の} \\ \text{数や文字で両辺を割る} \\ \text{③ 3で割る} \end{array}$$

② $-4x = 12y$ [x]

$$\left[\begin{array}{l} -4x = 12y \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ x = \frac{12y}{-4} \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ x = -3y \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} \text{解きたい文字以外の} \\ \text{数や文字で両辺を割る} \\ \text{③ -4で割る} \end{array}$$

③ $2ax = 5$ [a]

$$\left[\begin{array}{l} 2ax = 5 \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ a = \frac{5}{2x} \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} \text{解きたい文字以外の} \\ \text{数や文字で両辺を割る} \\ \text{③ 2xで割る} \end{array}$$

例3 等式の変形(3)

次の式を[]内の文字について解きなさい。

① $6x + 2y = 4$ [y]

$$\left[\begin{array}{l} 6x + 2y = 4 \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ 2y = 4 - 6x \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ y = \frac{4}{2} - \frac{6x}{2} \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ y = 2 - 3x \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} \text{解きたい文字を} \\ \text{含む項を左辺に} \\ \text{解きたい文字以外の} \\ \text{数や文字で両辺を割る} \\ \text{③ 2で割る} \end{array}$$

② $2x = 4y + 8$ [y]

$$\left[\begin{array}{l} 2x = 4y + 8 \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ -4y = -2x + 8 \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ y = \frac{-2x}{-4} + \frac{8}{-4} \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ y = \frac{x}{2} - 2 \end{array} \right. \quad \begin{array}{l} \text{解きたい文字を} \\ \text{含む項を左辺に} \\ \text{解きたい文字以外の} \\ \text{数や文字で両辺を割る} \\ \text{③ -4で割る} \end{array}$$

例4 等式の変形(4)

次の式を[]内の文字について解きなさい。

① $x = 2(a + b)$ [a]

$$\left[\begin{array}{l} x = 2(a + b) \quad \text{かっこをはずす} \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ x = 2a + 2b \quad \text{解きたい文字を} \\ \quad \quad \quad \downarrow \quad \quad \quad \text{含む項を左辺に} \\ -2a = -x + 2b \quad \text{解きたい文字以外の} \\ \quad \quad \quad \downarrow \quad \quad \quad \text{数や文字で両辺を割る} \\ a = \frac{-x}{-2} + \frac{2b}{-2} \quad \text{③ -2で割る} \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ a = \frac{x}{2} - b \end{array} \right.$$

② $S = \frac{h(a+b)}{2}$ [a]

$$\left[\begin{array}{l} S = \frac{h(a+b)}{2} \quad \text{両辺に2をかける} \\ 2S = h(a+b) \quad \text{かっこをはずす} \\ 2S = ah + bh \quad \text{解きたい文字を} \\ \quad \quad \quad \downarrow \quad \quad \quad \text{含む項を左辺に} \\ -ah = -2S + bh \quad \text{解きたい文字以外の} \\ \quad \quad \quad \downarrow \quad \quad \quad \text{数や文字で両辺を割る} \\ a = \frac{-2S}{-h} + \frac{bh}{-h} \quad \text{③ -hで割る} \\ \quad \quad \quad \downarrow \\ a = \frac{2S}{h} - b \end{array} \right.$$

練習1 次の式を[]内の文字について解きなさい。

① $4x + y = 1$ [y]

② $5 = 2y - x$ [x]

③ $3y = x - 8$ [x]

練習2 次の式を[]内の文字について解きなさい。

① $8x = 12y$ [x]

② $Sh = V$ [S]

③ $-2xy = 5$ [x]

練習3 次の式を[]内の文字について解きなさい。

① $-6x + 3y = 12$ [y]

② $4x + 2y = -8$ [x]

③ $4x = 20 - 6y$ [y]

④ $-8x = 4y + 10$ [y]

練習4 次の式を[]内の文字について解きなさい。

① $2(a + b) = 4$ [a]

② $6 = 3(x + y)$ [y]

③ $y = \frac{1}{4}(x - 2)$ [x]

④ $x - \frac{3}{4}y = 1$ [y]

1 次の式を[]内の文字について解きなさい。(6点×3=18点)▶p32例1

① $x - 6y = 3$ [x]

② $-2 = 3x - y$ [y]

③ $-4y = x - 6$ [x]

2 次の式を[]内の文字について解きなさい。(6点×3=18点)▶p32例2

① $6x = -4y$ [x]

② $ax = -10$ [a]

③ $6ab = 4$ [a]

3 次の式を[]内の文字について解きなさい。(8点×4=32点)▶p32例3

① $3x + 6y = 15$ [x]

② $3x + 4y = -8$ [y]

③ $2x - 6y = 10$ [y]

④ $-4x = -2y + 1$ [y]

4 次の式を[]内の文字について解きなさい。(8点×4=32点)▶p32例4

① $6(a - b) = 18$ [a]

② $8 = 12(x - y)$ [y]

③ $2x + \frac{y}{3} = 5$ [y]

④ $3 = \frac{2a + 3b}{2}$ [b]

確認問題 1-8-B

1 次の式を[]内の文字について解きなさい。(6点×3=18点)▶p32 例1

- ① $-2x+y=3$ [y] ② $1=-4y-x$ [x] ③ $4x=y+28$ [y]

2 次の式を[]内の文字について解きなさい。(6点×3=18点)▶p32 例2

- ① $-9y=15x$ [y] ② $ab=S$ [a] ③ $4ab=6$ [a]

3 次の式を[]内の文字について解きなさい。(8点×4=32点)▶p32 例3

- ① $10x+5y=25$ [y] ② $-2x-3y=6$ [x]

- ③ $-3x=6-2y$ [y] ④ $12x=8y-4$ [y]

4 次の式を[]内の文字について解きなさい。(8点×4=32点)▶p32 例4

- ① $3(x+y)=15$ [y] ② $12=4(a+b)$ [a]

- ③ $\frac{x}{4}+3y=-1$ [y] ④ $\frac{5x-2y}{4}=10$ [y]

連立方程式の解き方 (1)

例1 加減法(1)

次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 2x-3y=2 \cdots \textcircled{7} \\ 4x+3y=22 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

係数の絶対値が同じで
異符号のとき→たす

$$\begin{array}{r} 2x-3y=2 \\ +) 4x+3y=22 \\ \hline 6x \qquad =24 \end{array}$$

$$x=4 \quad \left\{ \begin{array}{l} x=4 \text{は}\textcircled{7} \text{または} \\ \textcircled{4} \text{の}x \text{に代入} \end{array} \right.$$

x=4を⑦のxに代入すると

$$2 \times 4 - 3y = 2$$

$$8 - 3y = 2$$

$$-3y = 2 - 8$$

$$-3y = -6$$

$$y = 2 \quad \left\{ \begin{array}{l} x=4 \\ y=2 \end{array} \right.$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 2x+3y=6 \cdots \textcircled{7} \\ -2x-5y=-14 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

係数の絶対値が同じで
異符号のとき→たす

$$\begin{array}{r} 2x+3y=6 \\ +) -2x-5y=-14 \\ \hline -2y \qquad =-8 \end{array}$$

$$y=4 \quad \left\{ \begin{array}{l} y=4 \text{は}\textcircled{7} \text{または} \\ \textcircled{4} \text{の}y \text{に代入} \end{array} \right.$$

y=4を⑦のyに代入すると

$$2x + 3 \times 4 = 6$$

$$2x + 12 = 6$$

$$2x = 6 - 12$$

$$2x = -6$$

$$x = -3 \quad \left\{ \begin{array}{l} x=-3 \\ y=4 \end{array} \right.$$

ポイント

◆係数の絶対値が同じで、符号が異なるとき→2つの式をたす

$$\begin{array}{r} 2x-3y=2 \\ +) 4x+3y=22 \\ \hline 6x \qquad =24 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2x+3y=6 \\ +) -2x-5y=-14 \\ \hline -2y \qquad =-8 \end{array}$$

例2 加減法(2)

次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 6x+2y=-4 \cdots \textcircled{7} \\ 6x-y=11 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

係数の絶対値が同じで
同符号のとき→ひく →下の段の符号を
反対にする

$$\begin{array}{r} 6x+2y=-4 \\ -) 6x-y=11 \\ \hline \qquad 3y=-15 \end{array} \Rightarrow \begin{array}{r} 6x+2y=-4 \\ +) -6x+y=-11 \\ \hline \qquad 3y=-15 \end{array}$$

$$y=-5 \text{は}\textcircled{7} \text{または} \\ \textcircled{4} \text{の}y \text{に代入}$$

y=-5を⑦のyに代入すると

$$6x + 2 \times (-5) = -4$$

$$6x - 10 = -4$$

$$6x = -4 + 10$$

$$6x = 6$$

$$x = 1 \quad \left\{ \begin{array}{l} x=1 \\ y=-5 \end{array} \right.$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} x-3y=9 \cdots \textcircled{7} \\ 4x-3y=18 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

係数の絶対値が同じで
同符号のとき→ひく →下の段の符号を
反対にする

$$\begin{array}{r} x-3y=9 \\ -) 4x-3y=18 \\ \hline -3x \qquad =-9 \end{array} \Rightarrow \begin{array}{r} x-3y=9 \\ +) -4x+3y=-18 \\ \hline -3x \qquad =-9 \end{array}$$

$$x=3 \text{は}\textcircled{7} \text{または} \\ \textcircled{4} \text{の}x \text{に代入}$$

x=3を⑦のxに代入すると

$$3 - 3y = 9$$

$$-3y = 9 - 3$$

$$-3y = 6$$

$$y = -2 \quad \left\{ \begin{array}{l} x=3 \\ y=-2 \end{array} \right.$$

ポイント

◆係数の絶対値が同じで、符号が同じとき→2つの式をひく→下の段の符号を反対にしてたす

$$\begin{array}{r} 6x+2y=-4 \\ -) 6x-y=11 \\ \hline \qquad 3y=-15 \end{array} \Rightarrow \begin{array}{r} 6x+2y=-4 \\ +) -6x+y=-11 \\ \hline \qquad 3y=-15 \end{array} \quad \begin{array}{r} x-3y=9 \\ -) 4x-3y=18 \\ \hline -3x \qquad =-9 \end{array} \Rightarrow \begin{array}{r} x-3y=9 \\ +) -4x+3y=-18 \\ \hline -3x \qquad =-9 \end{array}$$

練習1 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 4x - y = 3 \\ -2x + y = 1 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 3x + 2y = -5 \\ -6x - 2y = 14 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 3x - y = 1 \\ -3x + 4y = -13 \end{cases}$$

練習2 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 2x + 4y = -4 \\ 5x + 4y = 14 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} -2x + 5y = -1 \\ -2x - 3y = -9 \end{cases}$$

1 次の連立方程式を解きなさい。(20点×3=60点)▶p36 例1

$$\textcircled{1} \begin{cases} x-3y=-10 \\ -x+5y=14 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} -6x+2y=10 \\ 3x-2y=-13 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 2x-3y=1 \\ 3x+3y=-36 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。(20点×2=40点)▶p36 例2

$$\textcircled{1} \begin{cases} 4x+3y=-6 \\ 2x+3y=-12 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} -x-2y=-5 \\ -x+4y=25 \end{cases}$$

確認問題 2-1-B

1 次の連立方程式を解きなさい。(20点×3=60点)▶p36 例1

$$\textcircled{1} \begin{cases} -5x-y=-11 \\ -2x+y=-10 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} -2x-3y=-9 \\ 2x+4y=16 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 3x+5y=-8 \\ -3x-y=-8 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。(20点×2=40点)▶p36 例2

$$\textcircled{1} \begin{cases} -4x+6y=10 \\ -4x+y=-5 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} -2x+2y=8 \\ -5x+2y=23 \end{cases}$$

連立方程式の解き方 (2)

例1 加減法(3)

次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 3x + y = 9 \cdots \textcircled{7} \\ 5x - 2y = 4 \cdots \textcircled{1} \end{cases} \xrightarrow{\times 2} \begin{cases} 6x + 2y = 18 \cdots \textcircled{7} \\ 5x - 2y = 4 \cdots \textcircled{1} \end{cases}$$

 $\textcircled{7} + \textcircled{1}$

$$\begin{array}{r} 6x + 2y = 18 \\ +) 5x - 2y = 4 \\ \hline 11x = 22 \end{array}$$

$x = 2$

係数の絶対値が同じで
異なる符号のとき→たす

$x=2$ は $\textcircled{7}$ または
 $\textcircled{1}$ の x に代入

 $x=2$ を $\textcircled{7}$ の x に代入すると

$3 \times 2 + y = 9$

$6 + y = 9$

$y = 9 - 6$

$y = 3$

$$\begin{cases} x = 2 \\ y = 3 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 2x + 3y = 5 \cdots \textcircled{7} \\ x - 2y = 6 \cdots \textcircled{1} \end{cases} \xrightarrow{\times 2} \begin{cases} 2x + 3y = 5 \cdots \textcircled{7} \\ 2x - 4y = 12 \cdots \textcircled{1} \end{cases}$$

 $\textcircled{7} - \textcircled{1}$

$$\begin{array}{r} 2x + 3y = 5 \\ -) 2x - 4y = 12 \\ \hline 7y = -7 \end{array}$$

$2x + 3y = 5$

$+ -2x + 4y = -12$

係数の絶対値が同じで
同符号のとき→ひく

下の段の符号を
反対にする

$7y = -7$

$y = -1$

$y = -1$ は $\textcircled{7}$ または
 $\textcircled{1}$ の y に代入

 $y = -1$ を $\textcircled{1}$ の y に代入すると

$x - 2 \times (-1) = 6$

$x + 2 = 6$

$x = 6 - 2$

$x = 4$

$$\begin{cases} x = 4 \\ y = -1 \end{cases}$$

例2 加減法(4)

次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} 2x - 5y = 9 \\ 3x + 2y = 4 \end{cases}$$

y の係数の絶対値を
同じにする

$$\begin{cases} 2x - 5y = 9 \cdots \textcircled{7} \\ 3x + 2y = 4 \cdots \textcircled{1} \end{cases} \xrightarrow{\times 2} \begin{cases} 4x - 10y = 18 \cdots \textcircled{7} \\ 3x + 2y = 4 \cdots \textcircled{1} \end{cases} \xrightarrow{\times 5} \begin{cases} 4x - 10y = 18 \cdots \textcircled{7} \\ 15x + 10y = 20 \cdots \textcircled{1} \end{cases}$$

 $\textcircled{7} + \textcircled{1}$

$$\begin{array}{r} 4x - 10y = 18 \\ +) 15x + 10y = 20 \\ \hline 19x = 38 \end{array}$$

$x = 2$

係数の絶対値が同じで
異なる符号のとき→たす

$x=2$ は $\textcircled{7}$ または
 $\textcircled{1}$ の x に代入

 $x=2$ を $\textcircled{1}$ の x に代入すると

$3 \times 2 + 2y = 4$

$6 + 2y = 4$

$2y = 4 - 6$

$2y = -2$

$y = -1$

$$\begin{cases} x = 2 \\ y = -1 \end{cases}$$

x の係数の絶対値を
同じにする

$$\begin{cases} 2x - 5y = 9 \cdots \textcircled{7} \\ 3x + 2y = 4 \cdots \textcircled{1} \end{cases} \xrightarrow{\times 3} \begin{cases} 6x - 15y = 27 \cdots \textcircled{7} \\ 3x + 2y = 4 \cdots \textcircled{1} \end{cases} \xrightarrow{\times 2} \begin{cases} 6x - 15y = 27 \cdots \textcircled{7} \\ 6x + 4y = 8 \cdots \textcircled{1} \end{cases}$$

 $\textcircled{7} - \textcircled{1}$

$$\begin{array}{r} 6x - 15y = 27 \\ -) 6x + 4y = 8 \\ \hline -19y = 19 \end{array}$$

$6x - 15y = 27$

$+ -6x - 4y = -8$

係数の絶対値が同じで
同符号のとき→ひく

下の段の符号を
反対にする

$-19y = 19$

$y = -1$

$y = -1$ は $\textcircled{7}$ または
 $\textcircled{1}$ の y に代入

 $y = -1$ を $\textcircled{1}$ の y に代入すると

$3x + 2 \times (-1) = 4$

$3x - 2 = 4$

$3x = 4 + 2$

$3x = 6$

$x = 2$

$$\begin{cases} x = 2 \\ y = -1 \end{cases}$$

練習1 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 2x+5y=1 \\ -x+4y=-7 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 2x+5y=4 \\ 3x+y=-7 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 4x+y=7 \\ -2x+5y=-9 \end{cases}$$

練習2 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 5x-2y=7 \\ 2x-3y=-6 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 3x+5y=-11 \\ 2x-3y=-1 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 2x+3y=-9 \\ -3x-4y=11 \end{cases}$$

例1 複雑な連立方程式

次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} x-y=3y+12 \\ -2x+5y+12=-6 \end{cases}$$

$$\begin{cases} x-y=3y+12 & \cdots \textcircled{ア} \longrightarrow x-y-3y=12 & \longrightarrow x-4y=12 & \cdots \textcircled{イ} \\ -2x+5y+12=-6 & \cdots \textcircled{イ} \longrightarrow -2x+5y=-6-12 & \longrightarrow -2x+5y=-18 & \cdots \textcircled{エ} \end{cases}$$

 $\textcircled{イ} \times 2 + \textcircled{エ}$

$$\begin{array}{r} 2x-8y=24 \\ +) -2x+5y=-18 \\ \hline -3y=6 \end{array}$$

係数の絶対値が同じで
異符号のとき→たす

$$y=-2$$

 $y=-2$ は $\textcircled{イ}$ または
 $\textcircled{エ}$ の y に代入

 $y=-2$ を $\textcircled{イ}$ の y に代入すると

$$x-4 \times (-2)=12$$

$$x+8=12$$

$$x=12-8$$

$$x=4$$

$$\begin{cases} x=4 \\ y=-2 \end{cases}$$

例2 $A=B=C$ の連立方程式

次の連立方程式を解きなさい。

$$5x-3y=-9x+4y=x-4$$

$$\begin{array}{l} 5x-3y = \textcircled{A} \\ -9x+4y = \textcircled{B} \\ x-4 = \textcircled{C} \end{array}$$

$$\textcircled{A} = \textcircled{B} \cdots 5x-3y = -9x+4y$$

$$\textcircled{B} = \textcircled{C} \cdots -9x+4y = x-4$$

$$\textcircled{A} = \textcircled{C} \cdots 5x-3y = x-4$$

このうちの2つを使う

 $\textcircled{A} = \textcircled{C}$ と $\textcircled{B} = \textcircled{C}$ を使うと

$$\begin{cases} 5x-3y=x-4 & \cdots \textcircled{ア} \longrightarrow 5x-3y-x=-4 & \longrightarrow 4x-3y=-4 & \cdots \textcircled{イ} \\ -9x+4y=x-4 & \cdots \textcircled{イ} \longrightarrow -9x+4y-x=-4 & \longrightarrow -10x+4y=-4 & \cdots \textcircled{エ} \end{cases}$$

$$\textcircled{イ} \times 4 + \textcircled{エ} \times 3$$

$$\begin{array}{r} 16x-12y=-16 \\ +) -30x+12y=-12 \\ \hline -14x=-28 \end{array}$$

係数の絶対値が同じで
異符号のとき→たす

$$x=2$$

 $x=2$ は $\textcircled{イ}$ または
 $\textcircled{エ}$ の x に代入

 $x=2$ を $\textcircled{イ}$ の x に代入すると

$$4 \times 2 - 3y = -4$$

$$8 - 3y = -4$$

$$-3y = -4 - 8$$

$$-3y = -12$$

$$y=4$$

$$\begin{cases} x=2 \\ y=4 \end{cases}$$

練習3 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 4x - 8y = 2y - 8 \\ -x + 7y = 4x - 1 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 3(x - 2) + y = -5 \\ 8x + 2(y + 5) = 10 \end{cases}$$

練習4 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} 3x + 7y = x + 2y = 1$$

$$\textcircled{2} 4x - 8y = 3x - 12y + 14 = x + 2$$

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p40 例1▶例2

$$\textcircled{1} \begin{cases} x+2y=4 \\ 2x+3y=5 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 3x-4y=18 \\ 2x+3y=-5 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p42 例3▶例4

$$\textcircled{1} \begin{cases} x-2y=-2x-2 \\ 6x-2y=1+3y \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} x-6y=-2x+9y=-1 \end{cases}$$

確認問題 2-2-B

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点 × 2 = 50点) ▶ p40 例1 例2

$$\textcircled{1} \begin{cases} 4x+5y=7 \\ -x-2y=-4 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 3x-4y=10 \\ 2x+3y=18 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点 × 2 = 50点) ▶ p42 例3 例4

$$\textcircled{1} \begin{cases} 2(x-3y)=20 \\ -3(y-2x)=0 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} 3x-7y+14=x-y=-2x+3$$

連立方程式の解き方 (3)

例1 加減法(5)

次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} x+y=10 \cdots \textcircled{ア} \xrightarrow{\times 2} 2x+2y=20 \cdots \textcircled{イ} \\ \frac{x}{2}+\frac{y}{3}=4 \cdots \textcircled{エ} \xrightarrow{\times 6} 3x+2y=24 \cdots \textcircled{オ} \end{cases}$$

$\textcircled{イ}-\textcircled{オ}$ y の係数の絶対値を同じにする

$$\begin{array}{r} 2x+2y=20 \\ -) 3x+2y=24 \\ \hline \end{array}$$

係数の絶対値が同じで
同符号のとき→ひく

$$\begin{array}{r} 2x+2y=20 \\ \downarrow \\ 2x+2y=20 \\ +) -3x-2y=-24 \\ \hline -x \qquad \qquad =-4 \\ x=4 \end{array}$$

下の段の符号を
反対にする

$x=4$ は $\textcircled{ア}$ $\textcircled{イ}$ $\textcircled{オ}$
どれかの x に代入

$x=4$ を $\textcircled{ア}$ の x に代入すると

$$\begin{cases} 4+y=10 \\ y=10-4 \\ y=6 \end{cases} \quad \begin{cases} x=4 \\ y=6 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} \frac{x}{3}+\frac{y}{4}=3 \cdots \textcircled{ア} \xrightarrow{\times 12} 4x+3y=36 \cdots \textcircled{イ} \\ \frac{x}{2}-\frac{y}{2}=1 \cdots \textcircled{エ} \xrightarrow{\times 2} x-y=2 \cdots \textcircled{オ} \end{cases}$$

$$\downarrow \times 3 \\ 3x-3y=6 \cdots \textcircled{カ}$$

y の係数の絶対値を
同じにする

$\textcircled{イ}+\textcircled{カ}$

$$\begin{array}{r} 4x+3y=36 \\ +) 3x-3y=6 \\ \hline 7x \qquad \qquad =42 \\ x=6 \end{array}$$

係数の絶対値が同じで
異符号のとき→たす

$x=6$ は $\textcircled{ア}$ $\textcircled{イ}$ $\textcircled{オ}$ $\textcircled{カ}$ の
どれかの x に代入

$x=6$ を $\textcircled{オ}$ の x に代入すると

$$\begin{cases} 6-y=2 \\ -y=2-6 \\ -y=-4 \\ y=4 \end{cases} \quad \begin{cases} x=6 \\ y=4 \end{cases}$$

練習1 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} x+y=14 \\ \frac{x}{3}+\frac{y}{6}=3 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} x+y=9 \\ \frac{x}{4}+\frac{y}{6}=2 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} \frac{x}{3}+\frac{y}{4}=3 \\ \frac{x}{2}-\frac{y}{2}=1 \end{cases}$$

例2 加減法(6)

次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} x+y=60 & \cdots \textcircled{ア} \\ 0.2x-0.3y=2 & \cdots \textcircled{イ} \end{cases} \xrightarrow{\times 3} \begin{cases} 3x+3y=180 & \cdots \textcircled{ウ} \\ 2x-3y=20 & \cdots \textcircled{エ} \end{cases} \quad \textcircled{2} \begin{cases} x+y=150 & \cdots \textcircled{ア} \\ 0.1x-0.05y=3 & \cdots \textcircled{イ} \end{cases} \xrightarrow{\times 5} \begin{cases} 5x+5y=750 & \cdots \textcircled{ウ} \\ 10x-5y=300 & \cdots \textcircled{エ} \end{cases}$$

①+②

yの係数の絶対値を
同じにする

$$\begin{array}{r} 3x+3y=180 \\ +) 2x-3y=20 \\ \hline 5x \quad \quad =200 \\ x=40 \end{array}$$

係数の絶対値が同じで
異符号のとき→たす

x=40は⑦⑧⑨⑩の
どれかのxに代入

x=40を⑦のxに代入すると

$$\begin{cases} 40+y=60 \\ y=60-40 \\ y=20 \end{cases} \quad \begin{cases} x=40 \\ y=20 \end{cases}$$

①+②

yの係数の絶対値を
同じにする

$$\begin{array}{r} 5x+5y=750 \\ +) 10x-5y=300 \\ \hline 15x \quad \quad =1050 \\ x=70 \end{array}$$

係数の絶対値が同じで
異符号のとき→たす

x=70は⑦⑧⑨⑩の
どれかのxに代入

x=70を⑦のxに代入すると

$$\begin{cases} 70+y=150 \\ y=150-70 \\ y=80 \end{cases} \quad \begin{cases} x=70 \\ y=80 \end{cases}$$

練習2 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} x+y=80 \\ 0.3x-0.2y=-6 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} x+y=100 \\ 0.2x+0.15y=16 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 1.2x-0.3y=0.3 \\ -0.5x+0.2y=0.1 \end{cases}$$

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p46 例1

$$\textcircled{1} \begin{cases} x+y=10 \\ \frac{x}{4}-\frac{y}{3}=-1 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} \frac{x}{2}-\frac{y}{3}=5 \\ \frac{x}{3}-\frac{y}{2}=5 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p48 例2

$$\textcircled{1} \begin{cases} x+y=4 \\ 0.3x+0.5y=-1 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 0.5x-0.4y=-2 \\ 2x+1.2y=20 \end{cases}$$

確認問題 2-3-B

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p46 例1

$$\textcircled{1} \begin{cases} x-y=4 \\ \frac{x}{2}+\frac{y}{6}=6 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} \frac{x}{4}+\frac{y}{3}=2 \\ \frac{x}{2}-\frac{y}{4}=-7 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p48 例2

$$\textcircled{1} \begin{cases} x+y=30 \\ 0.7x-0.3y=1 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 0.6x-0.4y=-1 \\ 0.4x+y=-3.2 \end{cases}$$

連立方程式の解き方 (4)

例1 代入法(1)

次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} y=2x-3 \cdots \textcircled{7} \\ 4x-y=-1 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

$4x - \overset{\uparrow}{y} = -1$ に $y=2x-3$ を代入
 $y = \overset{\uparrow}{2x-3}$ \downarrow $\textcircled{7}$ かっこをつける
 $4x - (2x-3) = -1$
 $4x - 2x + 3 = -1$
 $4x - 2x = -1 - 3$
 $2x = -4$
 $x = -2$
 $x = -2$ を $\textcircled{7}$ の x に代入
 $y = 2 \times (-2) - 3$
 $y = -4 - 3$
 $y = -7$

$$\begin{cases} x = -2 \\ y = -7 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 2x-3y=4 \cdots \textcircled{7} \\ x=4y-3 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

$2\overset{\uparrow}{x} - 3y = 4$ に $x=4y-3$ を代入
 $x = \overset{\uparrow}{4y-3}$ \downarrow $\textcircled{7}$ かっこをつける
 $2(4y-3) - 3y = 4$
 $8y - 6 - 3y = 4$
 $8y - 3y = 4 + 6$
 $5y = 10$
 $y = 2$
 $y = 2$ を $\textcircled{4}$ の y に代入
 $x = 4 \times 2 - 3$
 $x = 8 - 3$
 $x = 5$

$$\begin{cases} x = 5 \\ y = 2 \end{cases}$$

例2 代入法(2)

次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} y=5x-2 \cdots \textcircled{7} \\ y=2x+4 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

$\overset{\uparrow}{y} = 2x+4$ に $y=5x-2$ を代入
 $y = \overset{\uparrow}{5x-2}$ \downarrow $\textcircled{7}$ の右辺 = $\textcircled{4}$ の右辺とする
 $5x - 2 = 2x + 4$
 $5x - 2x = 4 + 2$
 $3x = 6$
 $x = 2$
 $x = 2$ を $\textcircled{7}$ (または $\textcircled{4}$) の x に代入
 $y = 5 \times 2 - 2$
 $y = 10 - 2$
 $y = 8$

$$\begin{cases} x = 2 \\ y = 8 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} y = \frac{1}{2}x + 3 \cdots \textcircled{7} \\ y = \frac{3}{4}x + 4 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$$

$\overset{\uparrow}{y} = \frac{3}{4}x + 4$ に $y = \frac{1}{2}x + 3$ を代入
 $y = \overset{\uparrow}{\frac{1}{2}x + 3}$ \downarrow $\textcircled{7}$ の右辺 = $\textcircled{4}$ の右辺とする
 $\frac{1}{2}x + 3 = \frac{3}{4}x + 4$ $\textcircled{7}$ 両辺に4をかける
 $2x + 12 = 3x + 16$
 $2x - 3x = 16 - 12$
 $-x = 4$
 $x = -4$
 $x = -4$ を $\textcircled{7}$ (または $\textcircled{4}$) の x に代入
 $y = \frac{1}{2} \times (-4) + 3$
 $y = -2 + 3$
 $y = 1$

$$\begin{cases} x = -4 \\ y = 1 \end{cases}$$

練習1 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} y=4x-3 \\ -2x+y=1 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} -x+3y=18 \\ x=-2y+7 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 2x-3y=-3 \\ y=3x-13 \end{cases}$$

練習2 次の連立方程式を解きなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} y=-x+15 \\ y=2x-9 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} y=\frac{2}{3}x-1 \\ y=-\frac{1}{6}x+4 \end{cases}$$

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p52 例1

$$\textcircled{1} \begin{cases} x=2y+2 \\ x-5y=11 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} 3x-y=16 \\ y=4x-22 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 2x+5y=4 \\ x=-3y+4 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p52 例2

$$\textcircled{1} \begin{cases} y=-x+4 \\ y=-3x+22 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} y=\frac{4}{3}x+2 \\ y=-\frac{1}{6}x-7 \end{cases}$$

確認問題 2-4-B

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点 × 2 = 50点) ▶ p52 例1

$$\textcircled{1} \begin{cases} y=4x-3 \\ -5x+y=-6 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} -x+2y=-7 \\ x=-6y-1 \end{cases}$$

$$\textcircled{3} \begin{cases} 5x-2y=2 \\ y=4x+2 \end{cases}$$

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点 × 2 = 50点) ▶ p52 例2

$$\textcircled{1} \begin{cases} y=2x-10 \\ y=-x+11 \end{cases}$$

$$\textcircled{2} \begin{cases} y=\frac{3}{4}x-17 \\ y=-\frac{5}{2}x+22 \end{cases}$$

連立方程式の利用 (1)

例1 解を代入して係数を求める

次の連立方程式の解が $x = -3$, $y = 5$ のとき a , b の値を求めなさい。

$$\begin{cases} 2ax + by = 9 \\ ax - by = -18 \end{cases}$$

解が $x = -3$, $y = 5$ だから、上の連立方程式に $x = -3$, $y = 5$ を代入

$$\begin{cases} -6a + 5b = 9 \quad \text{Ⓐ} \\ -3a - 5b = -18 \quad \text{Ⓘ} \end{cases}$$

解は代入してよい

Ⓐ + Ⓘ

$$\begin{array}{r} -6a + 5b = 9 \\ +) -3a - 5b = -18 \\ \hline -9a = -9 \\ a = 1 \end{array}$$

$a = 1$ を Ⓐ の a に代入して

$$\begin{array}{r} -6 \times 1 + 5b = 9 \\ -6 + 5b = 9 \\ 5b = 9 + 6 \\ 5b = 15 \\ b = 3 \end{array}$$

答 $a = 1$
 $b = 3$

例2 同じ解を持つ連立方程式

次の2つの連立方程式が同じ解を持つとき a , b の値を求めなさい。

$$\text{Ⓐ} \begin{cases} 2bx - ay = 22 \quad \text{Ⓐ} \\ 2x + 6y = -6 \quad \text{Ⓘ} \end{cases} \quad \text{Ⓑ} \begin{cases} 3x + 4y = 1 \quad \text{Ⓙ} \\ 2ax - by = 18 \quad \text{Ⓚ} \end{cases}$$

a , b の入っていない Ⓘ と Ⓙ を連立方程式で解く

$$\begin{cases} 2x + 6y = -6 \quad \text{Ⓘ} \\ 3x + 4y = 1 \quad \text{Ⓙ} \end{cases}$$

$$\begin{array}{r} \text{Ⓘ} \times 3 - \text{Ⓙ} \times 2 \\ 6x + 18y = -18 \\ -) 6x + 8y = 2 \\ \hline 10y = -20 \\ y = -2 \end{array}$$

$y = -2$ を Ⓘ または Ⓙ の y に代入して

$$\begin{array}{r} 2x + 6 \times (-2) = -6 \\ 2x - 12 = -6 \\ 2x = -6 + 12 \\ 2x = 6 \\ x = 3 \end{array}$$

$$\begin{cases} x = 3 \\ y = -2 \end{cases}$$

$x = 3$, $y = -2$ を Ⓐ と Ⓚ に代入して

$$\begin{cases} 6b + 2a = 22 \quad \text{解は代入してよい} \\ 6a + 2b = 18 \end{cases}$$

$$\begin{cases} 2a + 6b = 22 \quad \text{Ⓐ}' \\ 6a + 2b = 18 \quad \text{Ⓚ}' \end{cases}$$

$$\begin{array}{r} \text{Ⓐ}' \times 3 - \text{Ⓚ}' \\ 6a + 18b = 66 \\ -) 6a + 2b = 18 \\ \hline 16b = 48 \\ b = 3 \end{array}$$

$b = 3$ を Ⓐ' または Ⓚ' の b に代入して

$$\begin{array}{r} 2a + 6 \times 3 = 22 \\ 2a + 18 = 22 \\ 2a = 22 - 18 \\ 2a = 4 \\ a = 2 \end{array}$$

答 $a = 2$
 $b = 3$

練習1 次の連立方程式の解が $x=5$, $y=6$ のとき a , b の値を求めなさい。

$$\begin{cases} ax-3by=2 \\ 2ax+by=46 \end{cases}$$

練習2 次の2つの連立方程式が同じ解を持つとき a , b の値を求めなさい。

Ⓐ
$$\begin{cases} 2ax+3by=4 \\ 4x+3y=4 \end{cases}$$

Ⓑ
$$\begin{cases} -2x+5y=24 \\ ax-2by=-26 \end{cases}$$

1 次の連立方程式の解が $x=5$, $y=6$ のとき a , b の値を求めなさい。(50点 \times 1 = 50点)

▶ p56 例1

$$\begin{cases} 2ax + by = -2 \\ bx - ay = -16 \end{cases}$$

2 次の2つの連立方程式が同じ解を持つとき a , b の値を求めなさい。(50点 \times 1 = 50点)

▶ p56 例2

Ⓐ
$$\begin{cases} bx + ay = -14 \\ 2x + 3y = -6 \end{cases}$$

Ⓑ
$$\begin{cases} 5x + 4y = 20 \\ 3ax + 2by = 4 \end{cases}$$

確認問題 2-5-B

1 次の連立方程式の解が $x=2$, $y=-3$ のとき a , b の値を求めなさい。(50点 × 1 = 50点)

▶ p56 例1

$$\begin{cases} ax - by = -4 \\ 5bx - ay = 5 \end{cases}$$

2 次の2つの連立方程式が同じ解を持つとき a , b の値を求めなさい。(50点 × 1 = 50点)

▶ p56 例2

Ⓐ
$$\begin{cases} bx - ay = -10 \\ 5x - 3y = 2 \end{cases}$$

Ⓑ
$$\begin{cases} 4x - 5y = -14 \\ 3ax - 4by = -12 \end{cases}$$

連立方程式の利用 (2)

例1 代金や個数に関する連立方程式(1)

みかん5個とりんご4個を買うと630円で、みかん3個とりんごを6個買うと810円になります。みかん1個とりんご1個の値段を求めなさい。

みかん1個 x 円, りんご1個 y 円とする 求めるものを x, y にする

$$\begin{cases} 5x+4y=630 \cdots \textcircled{7} \\ 3x+6y=810 \cdots \textcircled{8} \end{cases}$$

$$5 \text{ (みかん)} + 4 \text{ (りんご)} = 630 \text{ 円}$$

$$\textcircled{7} \times 3 - \textcircled{8} \times 2$$

$$15x + 12y = 1890$$

$$-) \quad 6x + 12y = 1620$$

$$9x = 270$$

$$x = 30$$

$x = 30$ を $\textcircled{7}$ または $\textcircled{8}$ の x に代入

$$5 \times 30 + 4y = 630$$

$$150 + 4y = 630$$

$$4y = 630 - 150$$

$$4y = 480$$

$$y = 120$$

答 みかん…30円
りんご…120円

例2 代金や個数に関する連立方程式(2)

1本20円の鉛筆と1本30円のボールペンを合わせて20本買ったなら、その代金が480円でした。鉛筆とボールペンをそれぞれ何本ずつ買いましたか。

鉛筆を x 本, ボールペンを y 本買ったとする 求めるものを x, y にする

$$\begin{cases} x+y=20 \cdots \textcircled{7} \leftarrow \text{本数は20本} \\ 20x+30y=480 \cdots \textcircled{8} \leftarrow \text{代金は480円} \end{cases}$$

$$\textcircled{7} \times 30 - \textcircled{8}$$

$$30x + 30y = 600$$

$$-) \quad 20x + 30y = 480$$

$$10x = 120$$

$$x = 12$$

$x = 12$ を $\textcircled{7}$ または $\textcircled{8}$ の x に代入

$$12 + y = 20$$

$$y = 20 - 12$$

$$y = 8$$

答 鉛筆…12本
ボールペン…8本

練習1 次の各問いに答えなさい。

① ノートを4冊と消しゴムを3個買うと290円で、同じノートを2冊と消しゴムを5個買うと250円になります。ノート1冊と消しゴム1個の値段を求めなさい。

② 大型トラック3台と小型トラック5台で22トンの荷物が運べ、大型トラック4台と小型トラック3台でも22トンの荷物が運べます。大型トラック1台と小型トラック1台では何トンの荷物が運べますか。

練習2 次の連立方程式を解きなさい。

① 1本50円の鉛筆と1本90円のボールペンを合わせて12本買ったなら、その代金が760円でした。鉛筆とボールペンをそれぞれ何本ずつ買いましたか。

② バasketボールで2点シュートと3点シュートが合わせて30本入り、得点は70点でした。2点シュートと3点シュートはそれぞれ何本ずつ入りましたか。

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p60 例1

- ① サンマを3匹とイワシを6匹買うと360円で、同じサンマを4匹とイワシを2匹買うと360円になります。サンマ1匹とイワシ1匹の値段を求めなさい。

- ② 大きいペットボトル5本と小さいペットボトル2本に17Lの水が入り、大きいペットボトル6本と小さいペットボトル3本に21Lの水が入ります。大きいペットボトル1本と小さいペットボトル1本にはそれぞれ何Lの水が入りますか。

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p60 例2

- ① 10円玉と50円玉が合わせて14枚あり、金額の合計は540円です。10円玉と50円玉はそれぞれ何枚ずつありますか。

- ② 男子と女子合わせて15人で、男子が1人6kg、女子が1人4kgの荷物を運んだら、全部で76kgの荷物が運べました。男子と女子は何人ずついましたか。

確認問題 2-6-B

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p60 例1

- ① みかんとなしを5個買うと840円で、同じみかんとなしを9個買うと570円になります。みかん1個となし1個の値段を求めなさい。

- ② 大きいテーブル4台と小さいテーブル2台で20人が座れ、大きいテーブル3台と小さいテーブル7台で26人が座れます。大きいテーブル1台と小さいテーブル1台にはそれぞれ何人座れますか。

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点×2=50点)▶p60 例2

- ① 1本20円のきゅうりと1本30円のにんじんを合わせて9本買ったなら、その代金が200円でした。きゅうりとにんじんをそれぞれ何本ずつ買いましたか。

- ② ある旅館には5人が泊まれる部屋と8人が泊まれる部屋が合わせて20室あり、全部で118人が泊まります。5人部屋と8人部屋はそれぞれ何室ずつありますか。

連立方程式の利用 (3)

例1 2けたの整数に関する連立方程式

2けたの整数がある。十の位の数と一の位の数の和は9で、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数はもとの整数より45小さいという。もとの2けたの整数を求めなさい。

2けたの整数の十の位の数を x 、一の位の数を y とす **求めるものを x, y にする**

$$\begin{cases} x+y=9 \cdots \textcircled{7} \\ 10y+x=10x+y-45 \cdots \textcircled{8} \end{cases}$$

⑧より

$$10y+x-10x-y=-45$$

$$-9x+9y=-45 \cdots \textcircled{9}$$

$$\textcircled{7} \times 9 + \textcircled{9}$$

$$9x+9y=81$$

$$+ \quad -9x+9y=-45$$

$$\hline 18y=36$$

$$y=2$$

十の位の数と一の位の数の和が9

正しい

正しくない

$$x+y=9$$

$$10x+y=9$$

$y=2$ を⑦の y に代入

$$x+2=9$$

$$x=9-2$$

$$x=7$$

答 72

ポイント

十の位の数が x 、一の位の数が y である2けたの整数

- ◆ 十の位の数 $\cdots x$
- ◆ 一の位の数 $\cdots y$
- ◆ もとの2けたの整数 $\cdots 10x+y$
- ◆ 十の位と一の位を入れかえた整数 $\cdots 10y+x$

練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 2けたの整数がある。十の位の数と一の位の数の和は12で、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数はもとの整数より18大きいという。もとの2けたの整数を求めなさい。

- ② 2けたの整数がある。十の位の数と一の位の数の和は10で、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数はもとの整数より54小さいという。もとの2けたの整数を求めなさい。

- ③ 2けたの整数がある。十の位の数は一の位の数の2倍より1大きく、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数はもとの整数より27小さいという。もとの2けたの整数を求めなさい。

例2 割合に関する連立方程式(1)

あるクラスの生徒数は男女合わせて40人で、男子の80%と女子の40%がメガネをかけている。メガネをかけている生徒の人数が24人のとき、男子の生徒数と女子の生徒数を求めなさい。

男子の生徒数を x 人、女子の生徒数を y 人とする

$$\begin{cases} x+y=40 \cdots \textcircled{7} \\ 0.8x+0.4y=24 \cdots \textcircled{8} \end{cases}$$

$$\textcircled{7} \times 8 - \textcircled{8} \times 10$$

$$8x+8y=320$$

$$-) \quad 8x+4y=240$$

$$4y=80$$

$$y=20$$

$y=20$ を $\textcircled{7}$ の y に代入

$$x+20=40$$

$$x=40-20$$

$$x=20$$

答 男子…20人
女子…20人

例3 割合に関する連立方程式(2)

あるクラブの去年の人数は25人で、今年は男子が20%減少し、女子が10%増加したので全体で2人減少した。今年の男子の人数と女子の人数を求めなさい。

去年の男子を x 人、女子を y 人とする

$$\begin{cases} x+y=25 \cdots \textcircled{7} \\ 0.8x+1.1y=23 \cdots \textcircled{8} \end{cases}$$

$$\textcircled{7} \times 8 - \textcircled{8} \times 10$$

$$8x+8y=200$$

$$-) \quad 8x+11y=230$$

$$-3y=-30$$

$$y=10$$

$y=10$ を $\textcircled{7}$ の y に代入

$$x+10=25$$

$$x=25-10$$

$$x=15$$

普通は求めるものを x, y にするがこの種の問題では去年を x, y にする

	男子	女子	全体
去年	x	y	25
今年	$0.8x$	$1.1y$	23

↑
去年の0.8倍
↑
去年の80%
↑
20%減少

↑
去年の1.1倍
↑
去年の110%
↑
10%増加

今年の男子は $15 \times 0.8 = 12$

今年の女子は $10 \times 1.1 = 11$

答 男子…12人
女子…11人

ポイント

割合の考え方

- ◆ 10%増加 = もとの $(100+10)\%$ = もとの 110% = $\times 1.1$
- ◆ 20%減少 = もとの $(100-20)\%$ = もとの 80% = $\times 0.8$

練習2 次の各問いに答えなさい。

- ① A中学校の生徒の人数は男女合わせて300人である。そのうち、男子の30%と女子の20%は自転車通学であり、その人数の合計は78人である。A中学校の男子の人数と女子の人数を求めなさい。
- ② スーパーでりんご4個とみかん10個を買った。代金は定価で買うと900円になるところ、りんごが定価の60%、みかんが定価の70%になっていたため、支払った代金は570円になった。りんご1個の定価とみかん1個の定価を求めなさい。

練習3 次の各問いに答えなさい。

- ① あるクラブの去年の人数は30人で、今年は男子が30%増加し、女子が20%減少したので全体で1人減少した。今年の男子の人数と女子の人数を求めなさい。
- ② ある工場で先月生産した車とバイクの合計は100台であった。今月は車が10%増加し、バイクが20%増加したので全体で14台増加した。今月生産した車とバイクの台数を求めなさい。

例4 速さに関する連立方程式

A町から120km離れたB町まで行くのに、初めは時速20kmのバスに乗り、後は時速50kmの電車に乗ったら3時間かかった。バスに乗った道のりと電車に乗った道のりを求めなさい。

求めるものを x, y にする

バスに乗った道のりを x km, 電車に乗った道のりを y kmとする

$$\begin{cases} x+y=120 \cdots \textcircled{ア} \\ \frac{x}{20} + \frac{y}{50} = 3 \cdots \textcircled{イ} \end{cases}$$

$$\textcircled{イ} \times 100$$

$$5x + 2y = 300 \cdots \textcircled{エ}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{ア} \times 5 - \textcircled{エ} \\ 5x + 5y = 600 \\ -) 5x + 2y = 300 \\ \hline 3y = 300 \\ y = 100 \end{array}$$

$y = 100$ を $\textcircled{ア}$ の y に代入

$$\begin{aligned} x + 100 &= 120 \\ x &= 120 - 100 \\ x &= 20 \end{aligned}$$

	バス	電車	全体
道のり(km)	x	y	120
速さ(km/h)	20	50	—
時間(時間)	$\frac{x}{20}$	$\frac{y}{50}$	3

$$\text{時間} = \frac{\text{道のり}}{\text{速さ}}$$

答 バスに乗った道のり…20km
電車に乗った道のり…100km

ポイント

道のり・速さ・時間の関係

◆ 道のり = 速さ × 時間

◆ 速さ = 道のり ÷ 時間 = $\frac{\text{道のり}}{\text{時間}}$

◆ 時間 = 道のり ÷ 速さ = $\frac{\text{道のり}}{\text{速さ}}$



練習4 次の各問いに答えなさい。

- ① A町から105km離れたB町まで行くのに、初めは時速30kmのバスに乗り、後は時速60kmの電車に乗ったら2時間かかった。バスに乗った道のりと電車に乗った道のりを求めなさい。

- ② 家から800m離れた駅へ行くのに、初めは分速150mの速さの自転車で行き、自転車をおりた後は分速50mの速さで歩いたら6分かかった。自転車に乗った道のりと歩いた道のりを求めなさい。

- ③ A村からB山を通ってC村まで5kmある。A村からB山までは時速2kmの速さで歩き、B山からC村までは時速6kmの速さで歩いたら1時間30分かかった。A村からB山までとB山からC村までの道のりを求めなさい。

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点×1=25点)

- ① 2けたの整数がある。十の位の数と一の位の数の和は11で、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数はもとの整数より9小さいという。もとの2けたの整数を求めなさい。▶p64 **例1**

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点×1=25点)▶p66 **例2**

- ① ノート2冊と鉛筆5本を買った。代金は定価で買うと500円になるところ、ノートが定価の70%、鉛筆が定価の90%になっていたため、支払った代金は390円になった。ノート1冊の定価と鉛筆1本の定価を求めなさい。

3 次の連立方程式を解きなさい。(25点×1=25点)▶p66 **例3**

- ① あるクラブの去年の人数は40人で、今年は男子が10%減少し、女子が30%増加したので全体で4人増加した。今年の男子と女子の人数を求めなさい。

4 次の連立方程式を解きなさい。(25点×1=25点)▶p68 **例4**

- ① A町から30km離れたB町まで行くのに、初めは時速20kmのバスに乗り、後は時速40kmの電車に乗ったら1時間かかった。バスに乗った道のりと電車に乗った道のりを求めなさい。

確認問題 2-7-B

1 次の連立方程式を解きなさい。(25点×1=25点)

- ① 2けたの整数がある。十の位の数と一の位の数の和は12で、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる整数はもとの整数より54大きいという。もとの2けたの整数を求めなさい。▶p64 **例1**

2 次の連立方程式を解きなさい。(25点×1=25点)▶p66 **例2**

- ① あるクラスの生徒数は男女合わせて36人である。そのうち、男子の60%と女子の75%は自転車通学で、その合計人数は24人である。このクラスの男子生徒と女子生徒はそれぞれ何人か。

3 次の連立方程式を解きなさい。(25点×1=25点)▶p66 **例3**

- ① ある中学校の去年の生徒数は300人で、今年は男子が5%増加し、女子が10%減少したので全体で9人減少した。今年の男子と女子の生徒数を求めなさい。

4 次の連立方程式を解きなさい。(25点×1=25点)▶p68 **例4**

- ① 家から600m離れた駅へ行くのに、初めは分速120mの速さの自転車で行き、自転車をおりた後は分速40mの速さで歩いたら7分かかった。自転車に乗った道のりと歩いた道のりを求めなさい。

1 次 関 数

例1 関数と1次関数

次の関係式で y が x の1次関数であるものには○、そうでないものには×をつけなさい。

- ① $y = 3x^2$ ② $y = -x + 5$ ③ $y = 2x - 3$ ④ $y = \frac{12}{x}$
 × ○ ○ ×
- ⑤ $y = -4x$ ⑥ $x + y = 3$ ⑦ $xy = 6$ ⑧ $3x + y = -6$
 ○ ○ $y = -x + 3$ × $y = \frac{6}{x}$ ○ $y = -3x - 6$
 $y = -4x + 0$
と考える

ポイント

関数と1次関数

- ◆ ともななって変わる2つの量 x, y があり、 x の値がきまると y の値が1つだけきまるとき、 y は x の関数であるという。
- ◆ y が x の関数で、 $y = ax + b$ (a, b は定数・ $a \neq 0$)で表されるとき、 y は x の1次関数であるという。

例2 1次関数の値

次の各問いに答えなさい。

- ① $y = 3x - 5$ で $x = 4$ のときの
 y の値を求めなさい。

$$y = 3 \times 4 - 5 = 7$$
 $x = 4$ を代入
- ② $y = -2x + 6$ で $x = -3$ のときの
 y の値を求めなさい。

$$y = -2 \times (-3) + 6 = 12$$
 $x = -3$ を代入
- ③ $y = \frac{1}{2}x + 4$ で $x = -6$ のときの
 y の値を求めなさい。

$$y = \frac{1}{2} \times (-6) + 4 = 1$$
 $x = -6$ を代入
- ④ $y = -\frac{2}{3}x - 2$ で $x = 12$ のときの
 y の値を求めなさい。

$$y = -\frac{2}{3} \times 12 - 2 = -10$$
 $x = 12$ を代入
- ⑤ $y = 2x + 3$ で $y = 11$ のときの
 x の値を求めなさい。
 $y = 11$ を代入

$$11 = 2x + 3$$

$$-2x = -11 + 3$$

$$-2x = -8$$

$$x = 4$$
- ⑥ $y = -\frac{1}{4}x + 3$ で $y = -2$ のときの
 x の値を求めなさい。
 $y = -2$ を代入

$$-2 = -\frac{1}{4}x + 3$$

$$-8 = -x + 12$$
両辺に4をかける

$$x = 8 + 12$$

$$x = 20$$

練習1 次の関係式で y が x の1次関数であるものには○、そうでないものには×をつけなさい。

① $y = x$

② $y = -\frac{9}{x}$

③ $y = 2x^2$

④ $y = -5x + 1$

⑤ $xy = 15$

⑥ $-x + y = 7$

⑦ $y = \frac{2}{3}x$

⑧ $2x + y = 16$

練習2 次の各問いに答えなさい。

① $y = 2x - 6$ で $x = 3$ のときの
 y の値を求めなさい。

② $y = -3x - 2$ で $x = -4$ のときの
 y の値を求めなさい。

③ $y = \frac{1}{4}x + 1$ で $x = -8$ のときの
 y の値を求めなさい。

④ $y = -\frac{5}{2}x - 6$ で $x = 6$ のときの
 y の値を求めなさい。

⑤ $y = -2x + 4$ で $y = 6$ のときの
 x の値を求めなさい。

⑥ $y = \frac{1}{2}x - 5$ で $y = -2$ のときの
 x の値を求めなさい。

1 次の関係式で y が x の1次関数であるものには○、そうでないものには×をつけなさい。

(5点×8=40点)▶p72 例1

① $y = -\frac{18}{x}$

② $y = \frac{2}{3}x - 1$

③ $y = -x$

④ $x + y = 6$

⑤ $y = 3x - 5$

⑥ $y = -x^2$

⑦ $xy = 20$

⑧ $3x + y = 20$

2 次の各問いに答えなさい。(10点×6=60点)▶p72 例2

① $y = x + 10$ で $x = -6$ のときの
 y の値を求めなさい。

② $y = -4x + 1$ で $x = 8$ のときの
 y の値を求めなさい。

③ $y = \frac{5}{2}x - 3$ で $x = 6$ のときの
 y の値を求めなさい。

④ $y = -\frac{3}{4}x - 2$ で $x = -4$ のときの
 y の値を求めなさい。

⑤ $y = 4x + 2$ で $y = 10$ のときの
 x の値を求めなさい。

⑥ $y = -\frac{1}{3}x + 7$ で $y = 3$ のときの
 x の値を求めなさい。

確認問題 3-1-B

1 次の関係式で y が x の1次関数であるものには○、そうでないものには×をつけなさい。

(5点×8=40点) ▶ p72 例1

① $y=5x$ ② $y=-\frac{1}{3}x+6$ ③ $y=\frac{1}{2}x^2$ ④ $y=-\frac{15}{x}$

⑤ $-3x+y=5$ ⑥ $xy=-4$ ⑦ $x+y=-4$ ⑧ $y=-4x^2$

2 次の各問いに答えなさい。(10点×6=60点) ▶ p72 例2

① $y=-5x-1$ で $x=2$ のときの
 y の値を求めなさい。 ② $y=4x+8$ で $x=-2$ のときの
 y の値を求めなさい。

③ $y=\frac{1}{2}x+1$ で $x=-10$ のときの
 y の値を求めなさい。 ④ $y=-\frac{5}{4}x+3$ で $x=12$ のときの
 y の値を求めなさい。

⑤ $y=6x-9$ で $y=3$ のときの
 x の値を求めなさい。 ⑥ $y=-\frac{4}{3}x+1$ で $y=-3$ のときの
 x の値を求めなさい。

1次関数の変化の割合

例1 1次関数の変化の割合(1)

1次関数 $y = 3x - 6$ について次の各問いに答えなさい。

- ① 次の対応表を完成させなさい。

x	...	-1	0	1	2	3	4	...
y

$3 \times (-1) - 6$ $3 \times 0 - 6$ $3 \times 1 - 6$ $3 \times 2 - 6$ $3 \times 3 - 6$ $3 \times 4 - 6$

- ②
- x
- の増加量が1のときの
- y
- の増加量を求めなさい。

x	...	-1	0	1	2	3	4	...
y	...	-9	-6	-3	0	3	6	...

x の増加量: +1, +1, +1, +1, +1
 y の増加量: +3, +3, +3, +3, +3

変化の割合
 y の増加量
 x の増加量
 を変化の割合という
 今の場合 変化の割合 $= \frac{3}{1} = 3$
 $y = 3x - 6$

答 3

- ③
- x
- の増加量が4のときの
- y
- の増加量を求めなさい。

x の増加量が1のときの y の増加量が3だから
 x の増加量が4のときの y の増加量は $3 \times 4 = 12$

答 12

違いに注意!

x の増加量が4のときの y の増加量	$x = 4$ のときの y の値
x の増加量が1のときの y の増加量が3だから $3 \times 4 = 12$	$y = 3x - 6$ に $x = 4$ を代入して $y = 3 \times 4 - 6 = 6$

今の場合 変化の割合 $= \frac{12}{4} = 3$

ポイント

- ◆ $y = ax + b$ では x の増加量が1のとき y の増加量は a … 1次関数の変化の割合
- ◆ x の増加量が5ならば y の増加量は $5a$

例2 1次関数の変化の割合(2)

次の各問いに答えなさい。

- ①
- $y = 2x - 4$
- で
- x
- が1から5まで増加するときの
- x
- の増加量と
- y
- の増加量を求めなさい。

$$\begin{aligned} x \text{ の増加量} &= 5 - 1 = 4 \\ y \text{ の増加量} &= 2 \times 4 = 8 \\ y &= 2x - 4 \text{ の } 2 \end{aligned}$$

答 x の増加量…4, y の増加量…8

- ②
- $y = 3x + 1$
- で
- x
- が-2から4まで増加するときの
- x
- の増加量と
- y
- の増加量を求めなさい。

$$\begin{aligned} x \text{ の増加量} &= 4 - (-2) = 6 \\ y \text{ の増加量} &= 3 \times 6 = 18 \\ y &= 3x + 1 \text{ の } 3 \end{aligned}$$

答 x の増加量…6, y の増加量…18

- ③
- $y = -4x + 3$
- で
- x
- が-5から-2まで増加するときの
- x
- の増加量と
- y
- の増加量を求めなさい。

$$\begin{aligned} x \text{ の増加量} &= -2 - (-5) = 3 \\ y \text{ の増加量} &= -4 \times 3 = -12 \\ y &= -4x + 3 \text{ の } -4 \end{aligned}$$

答 x の増加量…3, y の増加量…-12

練習1 次の1次関数で y の増加量を求めなさい。

① $y = 2x - 7$
 x の増加量が1

② $y = -5x + 2$
 x の増加量が1

③ $y = -x + 5$
 x の増加量が1

④ $y = 4x + 1$
 x の増加量が2

⑤ $y = x - 6$
 x の増加量が5

⑥ $y = -3x - 4$
 x の増加量が6

⑦ $y = \frac{1}{2}x + 3$
 x の増加量が2

⑧ $y = -\frac{1}{3}x + 2$
 x の増加量が3

⑨ $y = -\frac{3}{4}x - 1$
 x の増加量が4

⑩ $y = -\frac{3}{2}x + 3$
 x の増加量が8

⑪ $y = \frac{2}{3}x + 2$
 x の増加量が6

⑫ $y = \frac{1}{5}x - 1$
 x の増加量が10

練習2 次の各問いに答えなさい。

① $y = x + 6$ で x が2から8まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

② $y = 2x - 3$ で x が-3から2まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

③ $y = -3x + 1$ で x が-6から-1まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

④ $y = -x + 1$ で x が-4から-2まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

1 次の1次関数で y の増加量を求めなさい。(5点×12=60点)▶p76 例1

① $y = -4x + 2$
 x の増加量が $^s 1$

② $y = x - 6$
 x の増加量が $^s 1$

③ $y = -5x + 2$
 x の増加量が $^s 1$

④ $y = 8x - 3$
 x の増加量が $^s 4$

⑤ $y = 4x - 2$
 x の増加量が $^s 2$

⑥ $y = -3x + 9$
 x の増加量が $^s 5$

⑦ $y = \frac{1}{5}x + 4$
 x の増加量が $^s 5$

⑧ $y = -\frac{1}{2}x + 1$
 x の増加量が $^s 2$

⑨ $y = -\frac{1}{6}x - 1$
 x の増加量が $^s 6$

⑩ $y = \frac{5}{3}x + 3$
 x の増加量が $^s 6$

⑪ $y = \frac{5}{2}x + 7$
 x の増加量が $^s 4$

⑫ $y = -\frac{3}{4}x - 3$
 x の増加量が $^s 12$

2 次の各問いに答えなさい。(5点×8=40点)▶p76 例2

① $y = 2x - 3$ で x が $^s 3$ から $^s 7$ まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

② $y = x - 6$ で x が $^s -5$ から $^s -2$ まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

③ $y = -2x - 5$ で x が $^s -4$ から $^s 1$ まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

④ $y = -4x + 1$ で x が $^s -2$ から $^s 5$ まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

確認問題 3-2-B

1 次の1次関数で y の増加量を求めなさい。(5点×12=60点) ▶p76 例1

① $y = 6x - 5$
 x の増加量が1

② $y = -4x + 3$
 x の増加量が1

③ $y = x + 1$
 x の増加量が1

④ $y = 3x + 4$
 x の増加量が4

⑤ $y = -2x - 3$
 x の増加量が2

⑥ $y = -5x - 6$
 x の増加量が3

⑦ $y = \frac{1}{3}x - 5$
 x の増加量が3

⑧ $y = -\frac{1}{2}x + 6$
 x の増加量が2

⑨ $y = -\frac{7}{3}x + 9$
 x の増加量が3

⑩ $y = -\frac{3}{4}x + 3$
 x の増加量が12

⑪ $y = \frac{2}{7}x - 8$
 x の増加量が14

⑫ $y = \frac{8}{3}x - 6$
 x の増加量が15

2 次の各問いに答えなさい。(5点×8=40点) ▶p76 例2

① $y = -2x + 6$ で x が3から6まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

② $y = 4x - 3$ で x が-3から-1まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

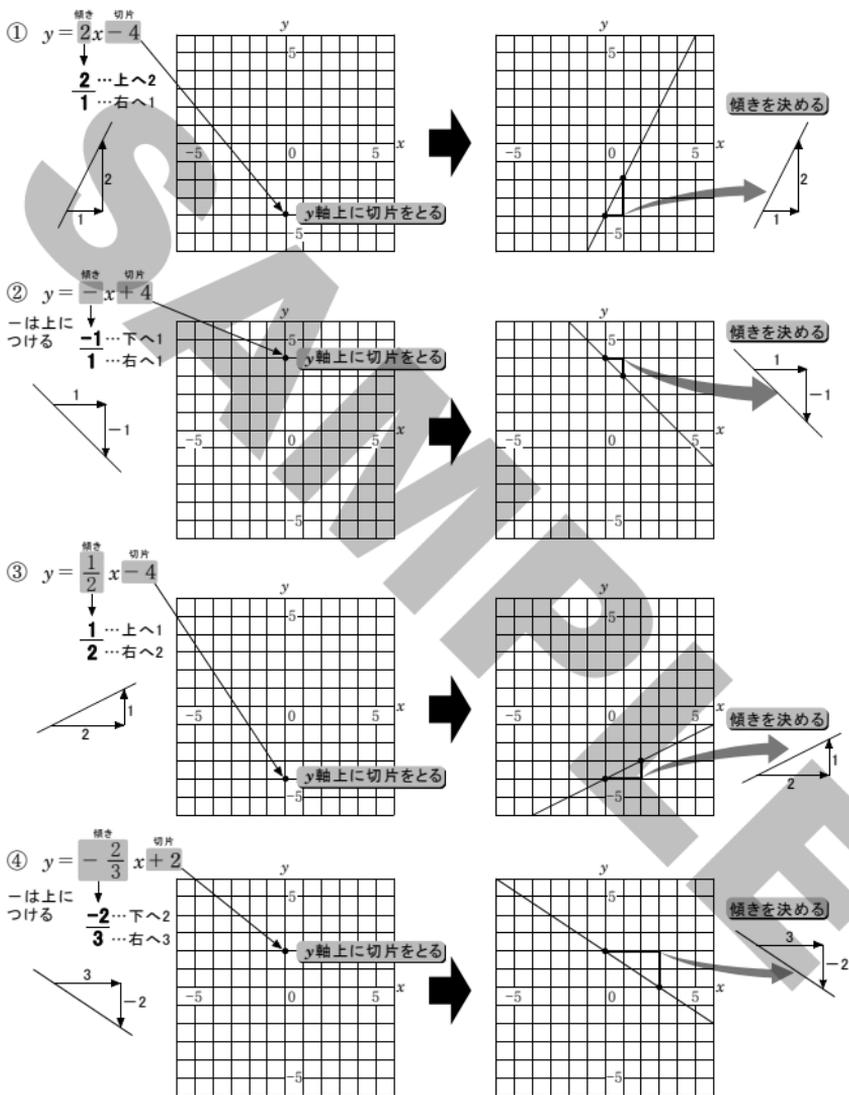
③ $y = -x - 3$ で x が-4から2まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

④ $y = 3x + 1$ で x が-3から8まで増加するときの x の増加量と y の増加量を求めなさい。

1次関数のグラフ(1)

例1 1次関数のグラフの書き方

次の1次関数のグラフを書きなさい。



練習1 次の1次関数のグラフを書きなさい。

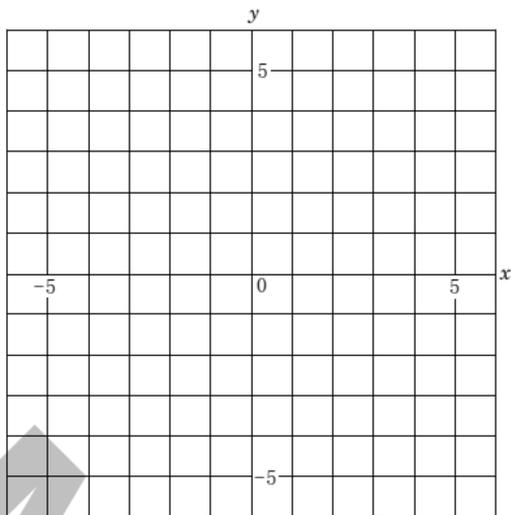
① $y = x - 1$

② $y = -3x + 2$

③ $y = 2x - 3$

④ $y = \frac{1}{4}x - 2$

⑤ $y = -\frac{2}{3}x + 3$



練習2 次の1次関数のグラフを書きなさい。

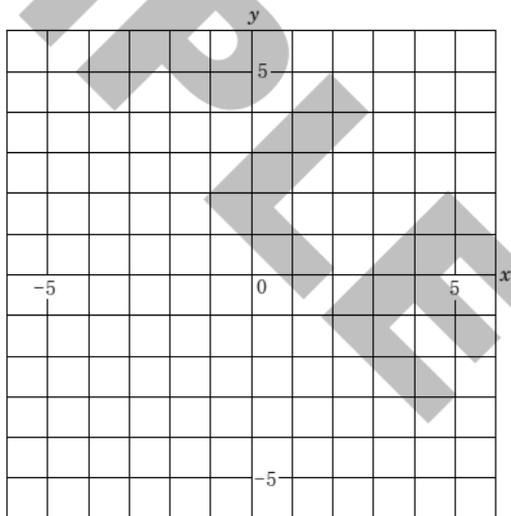
① $y = -x + 5$

② $y = -2x + 1$

③ $y = 3x - 6$

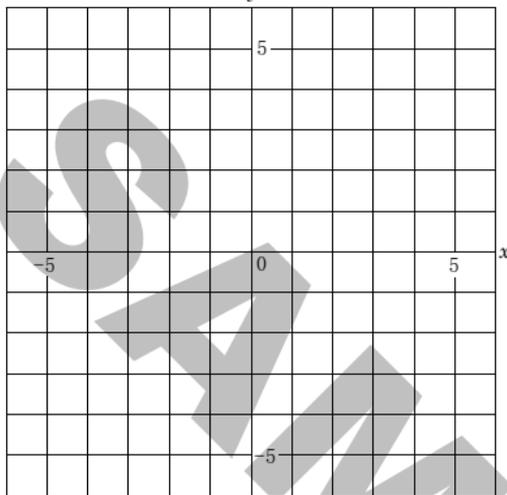
④ $y = -\frac{1}{2}x + 4$

⑤ $y = \frac{4}{3}x - 5$



1 次の1次関数のグラフを書きなさい。(10点×5=50点) ▶p80 例1

y



① $y = -x + 2$

② $y = 2x - 5$

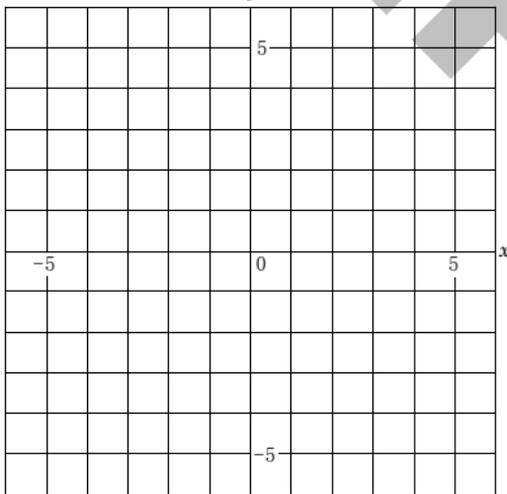
③ $y = -4x + 6$

④ $y = \frac{2}{3}x - 1$

⑤ $y = -\frac{1}{2}x + 3$

2 次の1次関数のグラフを書きなさい。(10点×5=50点) ▶p80 例1

y



① $y = x - 3$

② $y = -3x + 5$

③ $y = 2x - 2$

④ $y = -\frac{1}{3}x + 1$

⑤ $y = \frac{3}{2}x + 3$

確認問題 3-3-B

1 次の1次関数のグラフを書きなさい。(10点×5=50点)▶p80 例1

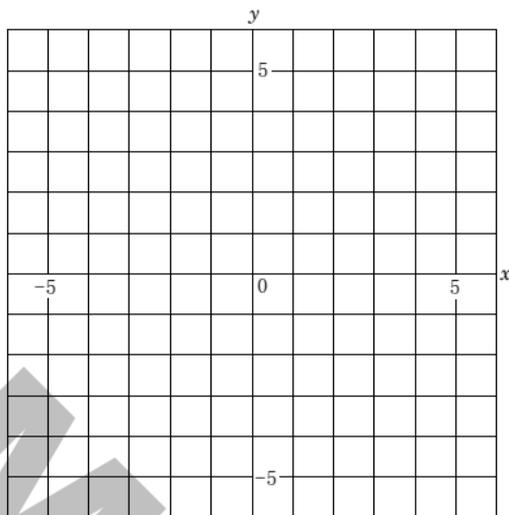
① $y = x - 5$

② $y = -2x + 4$

③ $y = 3x - 2$

④ $y = -\frac{3}{2}x + 3$

⑤ $y = \frac{1}{3}x + 1$



2 次の1次関数のグラフを書きなさい。(10点×5=50点)▶p80 例1

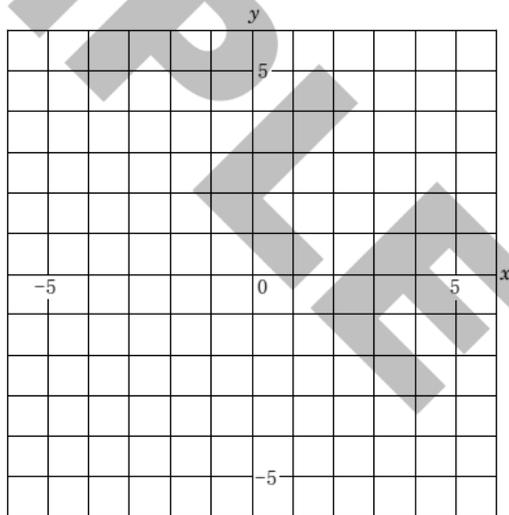
① $y = -x + 5$

② $y = 3x - 1$

③ $y = -4x + 2$

④ $y = \frac{1}{2}x - 1$

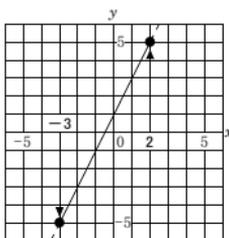
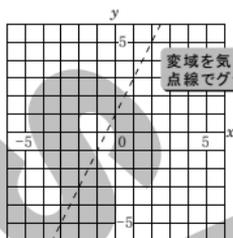
⑤ $y = -\frac{3}{4}x + 1$



例1 変域のある1次関数のグラフの書き方

変域に注意して1次関数のグラフを書きなさい。

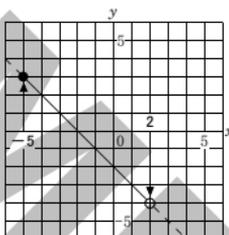
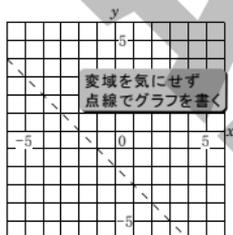
① $y = 2x + 1$ ($-3 \leq x \leq 2$)



変域 $-3 \leq x \leq 2$

$x = -3$ の点を●にする $x = 2$ の点を●にする

② $y = -x - 2$ ($-5 \leq x < 2$)

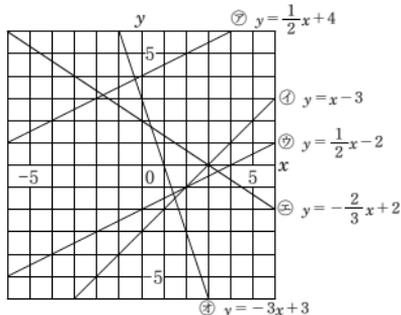


変域 $-5 \leq x < 2$

$x = -5$ の点を●にする $x = 2$ の点を○にする

例2 1次関数のグラフの特徴

グラフを見て、次の各問に答えなさい。



① 平行なグラフの記号を答えなさい。

傾きが等しい 答 ㉞, ㊱

② 右上がりになっているグラフの記号を答えなさい。

傾きが正 答 ㉞, ㉟, ㊱

③ 右下がりになっているグラフの記号を答えなさい。

傾きが負 答 ㊲, ㊳

ポイント

1次関数のグラフ

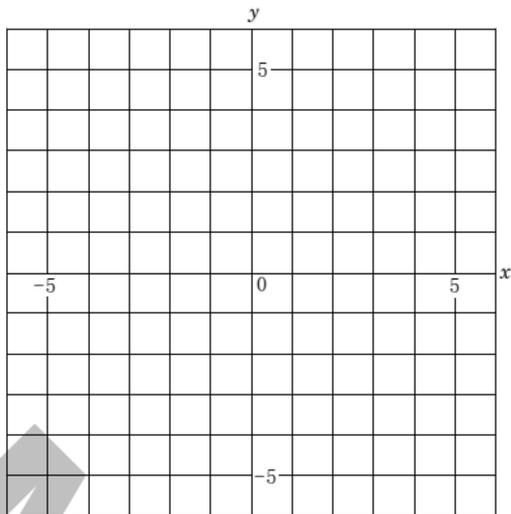
- ◆ 傾きが等しいと平行になる。
- ◆ 傾きが正のとき右上がりになる。
- ◆ 傾きが負のとき右下がりになる。



練習1 変域に注意して1次関数のグラフを書きなさい。

① $y = 2x - 1$ ($-1 \leq x < 3$)

② $y = -\frac{2}{3}x + 3$ ($-3 \leq x \leq 3$)



練習2 次の各問いに答えなさい。

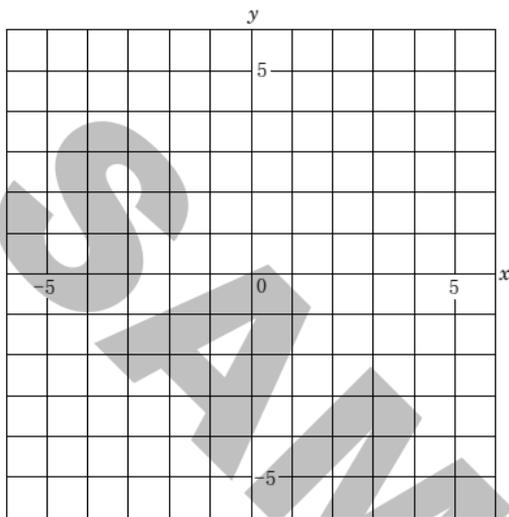
① 平行になっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。

② 右上がりになっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。

③ 右下がりになっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。

ア $y = -2x + 4$	イ $y = \frac{1}{2}x + 3$	ウ $y = -4x - 2$	エ $y = \frac{1}{3}x + 1$
オ $y = \frac{3}{2}x - 4$	カ $y = -3x + 8$	キ $y = \frac{1}{2}x - 1$	ク $y = -4x - 5$

1 変域に注意して1次関数のグラフを書きなさい。(20点×2=40点)▶p84 例1



① $y = \frac{1}{2}x + 4$ ($-4 \leq x \leq 2$)

② $y = x - 3$ ($1 < x \leq 5$)

2 次の各問いに答えなさい。(20点×3=60点)▶p84 例2

- ① 平行になっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。
- ② 右上がりになっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。
- ③ 右下がりになっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。

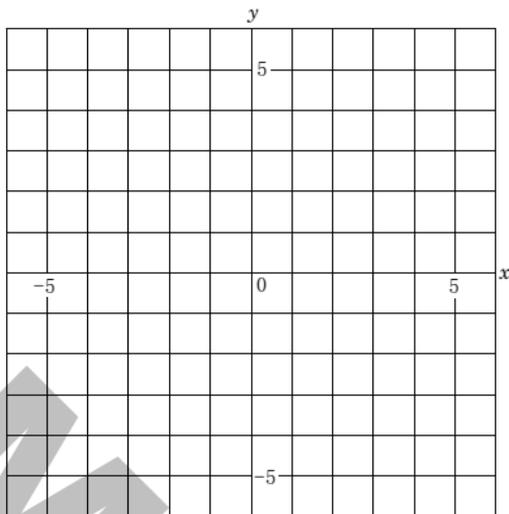
ア $y = 3x + 5$	イ $y = \frac{3}{2}x + 1$	ウ $y = -x + 4$	エ $y = \frac{1}{4}x + 6$
オ $y = -3x - 4$	カ $y = \frac{1}{2}x + 8$	キ $y = -\frac{1}{2}x + 5$	ク $y = -x - 8$

確認問題 3-4-B

1 変域に注意して1次関数のグラフを書きなさい。(20点×2=40点)▶p84 例1

① $y = -x + 2$ ($2 < x < 5$)

② $y = \frac{1}{3}x - 4$ ($-3 \leq x < 3$)



2 次の各問いに答えなさい。(20点×3=60点)▶p84 例2

① 平行になっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。

② 右上がりになっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。

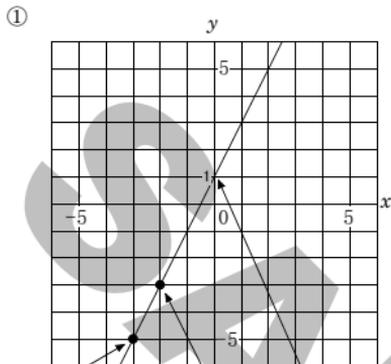
③ 右下がりになっているグラフをすべて選び、記号で答えなさい。

ア $y = -2x + 4$	イ $y = -\frac{2}{3}x + 5$	ウ $y = 4x - 7$	エ $y = \frac{2}{3}x + 3$
オ $y = -\frac{3}{4}x - 2$	カ $y = 2x + 6$	キ $y = -\frac{1}{3}x - 4$	ク $y = 4x - 1$

1次関数のグラフ(3)

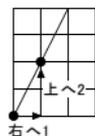
例1 1次関数のグラフの式の求め方(1)

次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

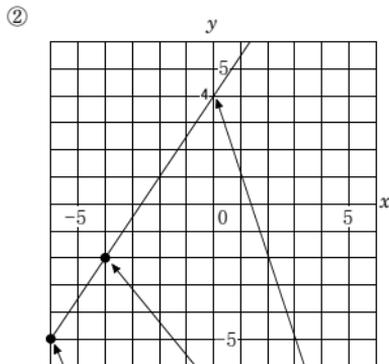


x, y ともに整数
となるいちばん
左の点を探す

x, y ともに整数
となるもう一つ
の点を探す

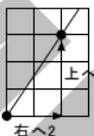
傾き $\dots\frac{2}{1}=2$ 切片 $\dots 1$

答 $y=2x+1$



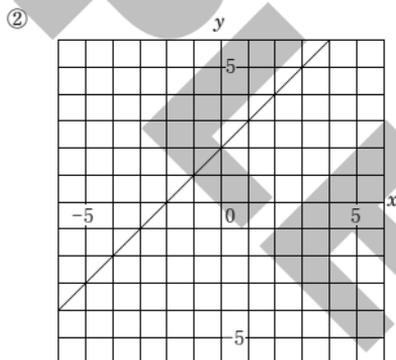
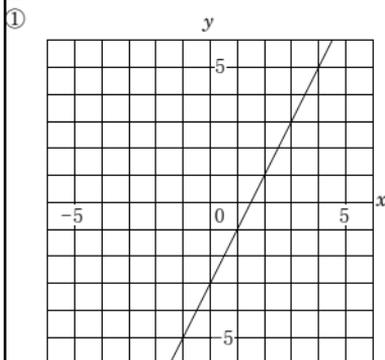
x, y ともに整数
となるいちばん
左の点を探す

x, y ともに整数
となるもう一つ
の点を探す

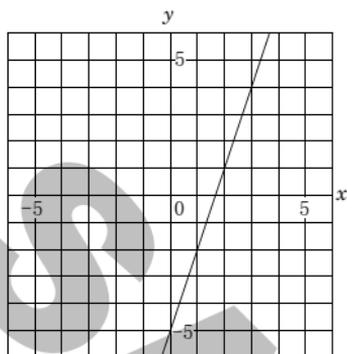
傾き $\dots\frac{3}{2}$ 切片 $\dots 4$

答 $y=\frac{3}{2}x+4$

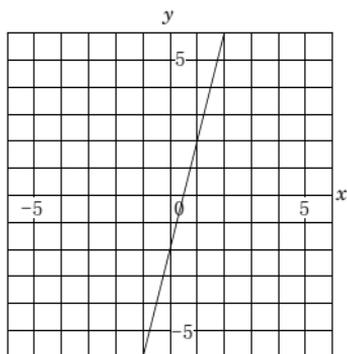
練習1 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。



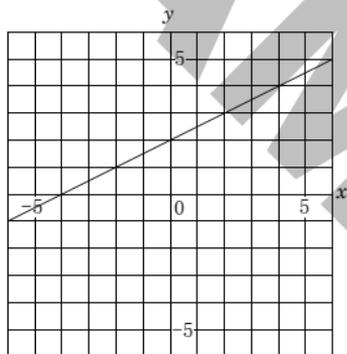
③



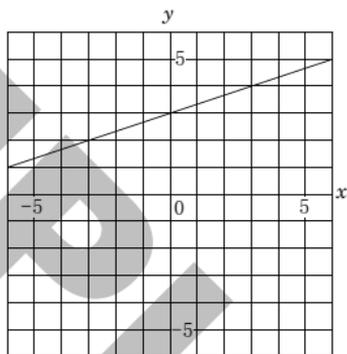
④



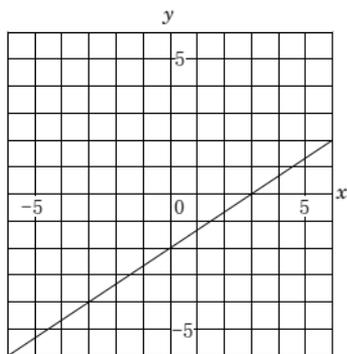
⑤



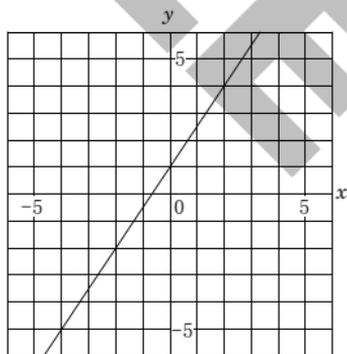
⑥



⑦



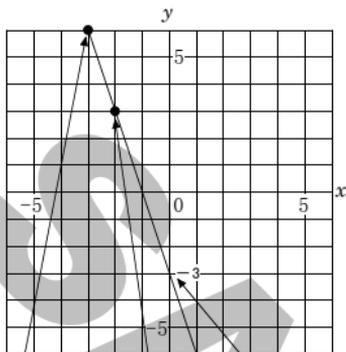
⑧



例2 1次関数のグラフの式の求め方(2)

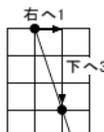
次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

①



x, yともに整数となるいちばん左の点を探す

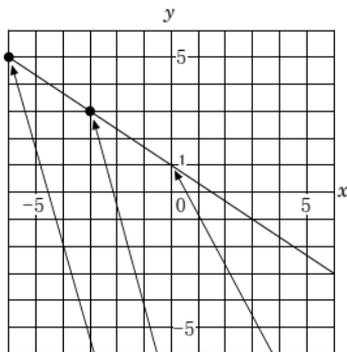
x, yともに整数となるもう一つの点を探す



傾き... $\frac{-3}{1} = -3$ 切片... -3

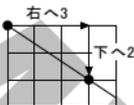
答 $y = -3x - 3$

②



x, yともに整数となるいちばん左の点を探す

x, yともに整数となるもう一つの点を探す

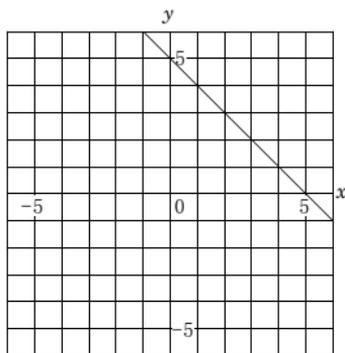


傾き... $\frac{-2}{3} = -\frac{2}{3}$ 切片... 1

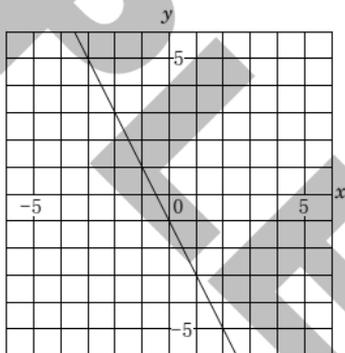
答 $y = -\frac{2}{3}x + 1$

練習2 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

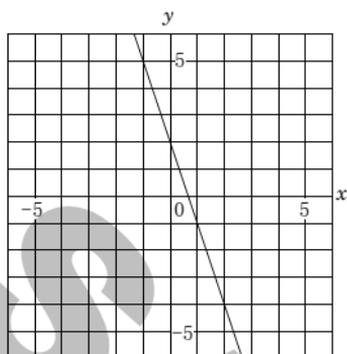
①



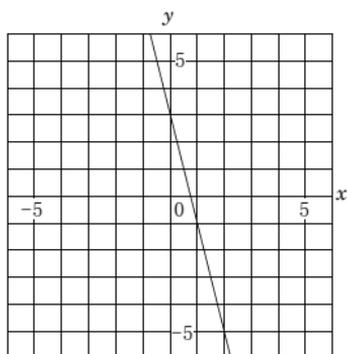
②



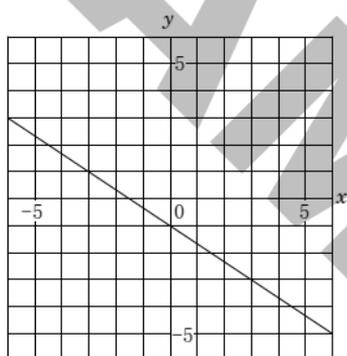
③



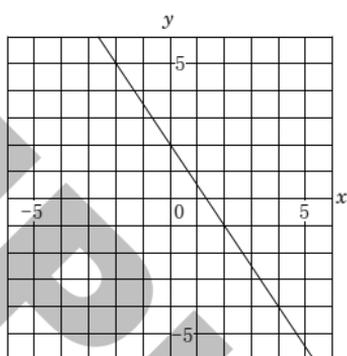
④



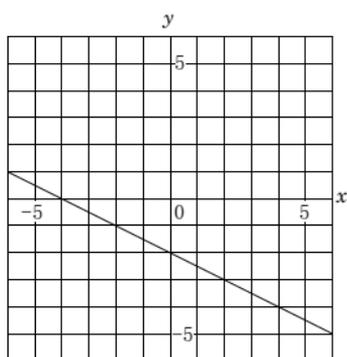
⑤



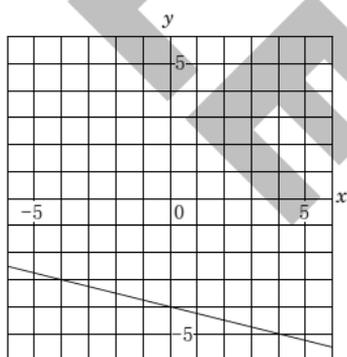
⑥



⑦

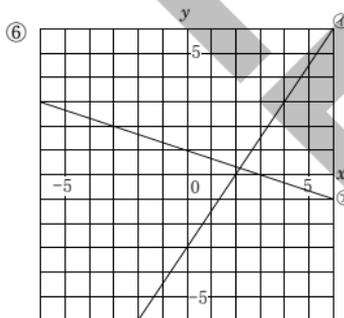
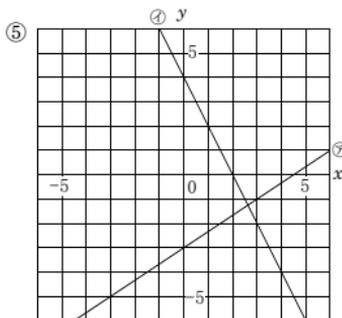
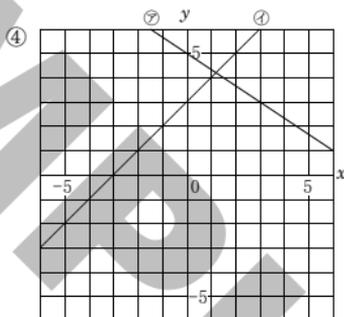
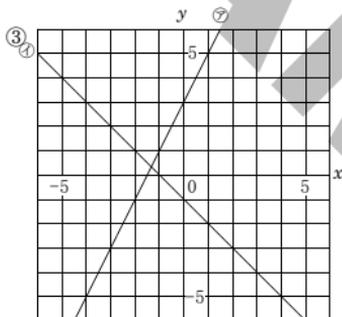
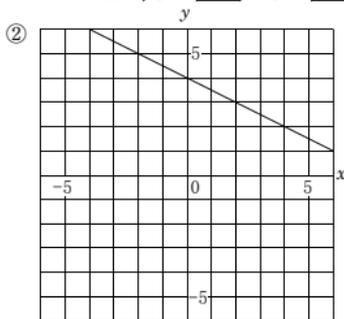
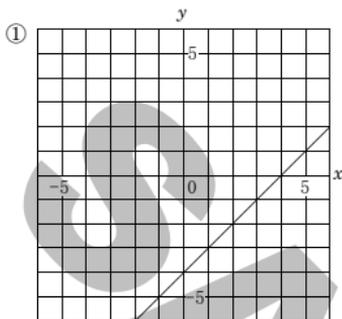


⑧



1 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

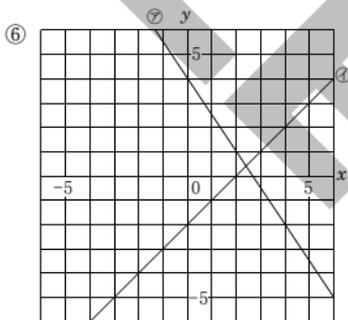
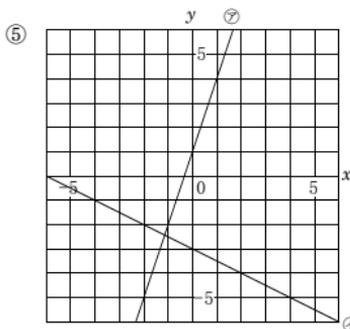
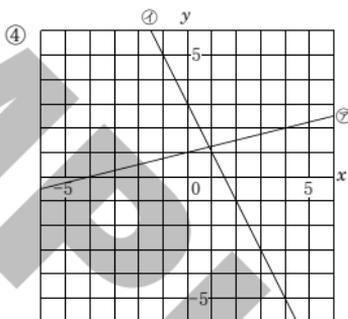
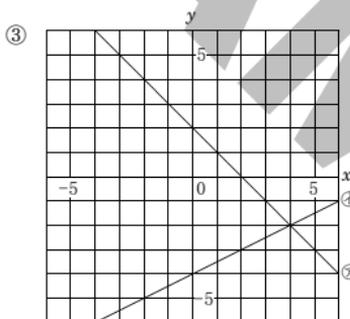
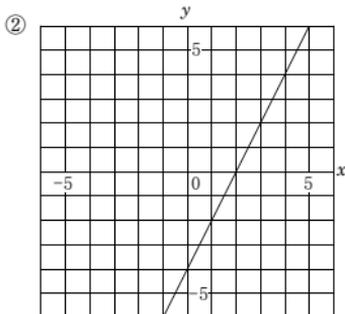
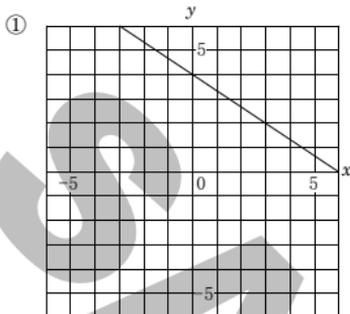
(10点 × 10 = 100点) ▶ p88 例1 ・ p90 例2



確認問題 3-5-B

I 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

(10点 × 10 = 100点) ▶ p88 例1 ・ p90 例2



1次関数の求め方(1)

例1 1次関数の式の求め方(1)

次の1次関数の式を求めなさい。

① 変化の割合が3で

 $x=0$ のとき $y=4$ となる。

変化の割合が3

 $y=3x+b$ とする

$$4=3 \times 0 + b \quad x=0, y=4 \text{を代入}$$

$$4=b$$

 $y=ax+b$ の b は
 $x=0$ のときの y の値だから
 $b=4$ とするととっても簡単!

答 $y=3x+4$

② 変化の割合が-2で

 $x=3$ のとき $y=4$ となる。

変化の割合が-2

 $y=-2x+b$ とする

$$4=-2 \times 3 + b \quad x=3, y=4 \text{を代入}$$

$$4=-6+b$$

$$-b=-6-4$$

$$-b=-10$$

$$b=10$$

答 $y=-2x+10$

ポイント

◆ 1次関数 $y=ax+b$ の a は変化の割合、グラフでは傾きを表す

例2 1次関数の式の求め方(2)

次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

① 傾きが2で点(0, 3)を通る

傾きが2

 $y=2x+b$ とする

$$3=2 \times 0 + b \quad x=0, y=3 \text{を代入}$$

$$3=b$$

 $y=ax+b$ の b は
 $x=0$ のときの y の値だから
 $b=3$ とするととっても簡単!

答 $y=2x+3$

② 傾きが-4で点(2, -3)を通る

傾きが-4

 $y=-4x+b$ とする

$$-3=-4 \times 2 + b \quad x=2, y=-3 \text{を代入}$$

$$-3=-8+b$$

$$-b=-8+3$$

$$-b=-5$$

$$b=5$$

答 $y=-4x+5$

ポイント

◆ 1次関数 $y=ax+b$ の a は変化の割合、グラフでは傾きを表す

例3 1次関数の式の求め方(3)

次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

① $y=3x-6$ に平行で点(4, -1)を通る

平行なグラフは傾きが等しい

傾きが3

 $y=3x+b$ とする

$$-1=3 \times 4 + b \quad x=4, y=-1 \text{を代入}$$

$$-1=12+b$$

$$-b=12+1$$

$$-b=13$$

$$b=-13$$

答 $y=3x-13$

② 切片が3で点(-5, 13)を通る

切片が3

 $y=ax+3$ とする

$$13=-5a+3 \quad x=-5, y=13 \text{を代入}$$

$$5a=-13+3$$

$$5a=-10$$

$$a=-2$$

答 $y=-2x+3$

ポイント

◆ 1次関数のグラフでは $y=ax+b$ の a は傾き、 b は切片を表す

◆ 平行なグラフでは傾きが等しい

練習1 次の1次関数の式を求めなさい。

① 変化の割合が2で

$x=0$ のとき $y=-5$ となる。

② 変化の割合が3で

$x=-2$ のとき $y=4$ となる。

③ 変化の割合が $\frac{1}{2}$ で $x=6$ のとき $y=-2$ となる。

練習2 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

① 傾きが -1 で

点 $(0, 8)$ を通る

② 傾きが -3 で

点 $(4, 6)$ を通る

③ 傾きが $-\frac{1}{3}$ で

点 $(-9, 5)$ を通る

練習3 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

① $y=4x-1$ に平行で

点 $(-3, -5)$ を通る

② 切片が5で点 $(4, -7)$ を通る

1 次関数の式を求めなさい。(12点×3=36点)▶p94 例1

- ① 変化の割合が -6 で
 $x=0$ のとき $y=4$ となる。
- ② 変化の割合が -2 で
 $x=5$ のとき $y=1$ となる。
- ③ 変化の割合が $\frac{3}{2}$ で $x=4$ のとき $y=8$ となる。

2 次関数のグラフの式を求めなさい。(12点×3=36点)▶p94 例2

- ① 傾きが -3 で
点 $(0, -9)$ を通る
- ② 傾きが 1 で
点 $(-8, 9)$ を通る
- ③ 傾きが $-\frac{2}{3}$ で
点 $(12, -6)$ を通る

3 次関数のグラフの式を求めなさい。(14点×2=28点)▶p94 例3

- ① $y = -3x - 5$ に平行で
点 $(6, -3)$ を通る
- ② 切片が -4 で点 $(8, 0)$ を通る

確認問題 3-6-B

1 次の1次関数の式を求めなさい。(12点×3=36点)▶p94 例1

- ① 変化の割合が2で
 $x=0$ のとき $y=7$ となる。
- ② 変化の割合が6で
 $x=2$ のとき $y=9$ となる。

- ③ 変化の割合が $\frac{2}{5}$ で $x=5$ のとき $y=-1$ となる。

2 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。(12点×3=36点)▶p94 例2

- ① 傾きが8で
 点(0, -3)を通る
- ② 傾きが-5で
 点(-2, 5)を通る
- ③ 傾きが $-\frac{5}{2}$ で
 点(10, -20)を通る

3 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。(14点×2=28点)▶p94 例3

- ① $y = \frac{1}{2}x + 5$ に平行で
 点(-4, -6)を通る
- ② 切片が3で点(6, 5)を通る

1次関数の求め方(2)

例1 1次関数の式の求め方(4)

次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

- ① 2点(-2, 9)と(3, -1)を通る
($x = -2$ で $y = 9$, $x = 3$ で $y = -1$)
- ② 2点(-2, 9)と(3, -1)を通る
($x = -2$ で $y = 9$, $x = 3$ で $y = -1$)

連立方程式の利用

 $y = ax + b$ に
 $x = -2, y = 9$ と $x = 3, y = -1$ を代入

$$9 = -2a + b \cdots \textcircled{7}$$

$$-1 = 3a + b \cdots \textcircled{8}$$

 $10 = -5a$ → $a = -2$ を⑦の a に代入

$$5a = -10$$

$$a = -2$$

$$-1 = 3 \times (-2) + b$$

$$-1 = -6 + b$$

$$-b = -6 + 1$$

$$-b = -5$$

$$b = 5$$

$$\text{答 } y = -2x + 5$$

傾き(変化の割合)を求める

傾き(変化の割合)

$$\frac{9 - (-1)}{-2 - 3} = \frac{10}{-5} = -2$$

傾きが-2

$$y = -2x + b \text{とする}$$

$$-1 = -2 \times 3 + b$$

$$-1 = -6 + b$$

$$-b = -6 + 1$$

$$-b = -5$$

$$b = 5$$

$$\text{答 } y = -2x + 5$$

正しい
 $9 - (-1)$

正しくない
 $9 - 1$

$x = 3, y = -1$ を代入
 $x = -2, y = 9$ でも可

練習1 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。

- ① 2点(4, -2)と(8, 2)を通る
($x = 4$ で $y = -2$, $x = 8$ で $y = 2$)
- ② 2点(7, -3)と(1, 3)を通る
($x = 7$ で $y = -3$, $x = 1$ で $y = 3$)

③ 2点 $(-2, 8)$ と $(3, -7)$ を通る
($x = -2$ で $y = 8$, $x = 3$ で $y = -7$)

④ 2点 $(1, -3)$ と $(-2, -9)$ を通る
($x = 1$ で $y = -3$, $x = -2$ で $y = -9$)

⑤ 2点 $(-6, -7)$ と $(10, 1)$ を通る
($x = -6$ で $y = -7$, $x = 10$ で $y = 1$)

⑥ 2点 $(6, -3)$ と $(3, -1)$ を通る
($x = 6$ で $y = -3$, $x = 3$ で $y = -1$)

I 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。(25点×4=100点)▶p98 例1

- ① 2点(-2, 7)と(3, 2)を通る
($x = -2$ で $y = 7$, $x = 3$ で $y = 2$)
- ② 2点(4, 8)と(-1, -7)を通る
($x = 4$ で $y = 8$, $x = -1$ で $y = -7$)

- ③ 2点(3, -2)と(5, -6)を通る
($x = 3$ で $y = -2$, $x = 5$ で $y = -6$)
- ④ 2点(-2, 2)と(4, 11)を通る
($x = -2$ で $y = 2$, $x = 4$ で $y = 11$)

確認問題 3-7-B

I 次の1次関数のグラフの式を求めなさい。(25点×4=100点)▶p98 例1

- ① 2点(2, -5)と(-1, 7)を通る
($x=2$ で $y=-5$, $x=-1$ で $y=7$)
- ② 2点(-4, -10)と(7, 1)を通る
($x=-4$ で $y=-10$, $x=7$ で $y=1$)

- ③ 2点(-3, 2)と(2, 12)を通る
($x=-3$ で $y=2$, $x=2$ で $y=12$)
- ④ 2点(-4, 1)と(8, -8)を通る
($x=-4$ で $y=1$, $x=8$ で $y=-8$)

1次方程式のグラフ

例1 2元1次方程式のグラフ

次の2元1次方程式のグラフを書きなさい。

① $6x + 3y = 12$ $y = ax + b$ の形にする

$$3y = -6x + 12$$

$$y = \frac{-6x}{3} + \frac{12}{3}$$

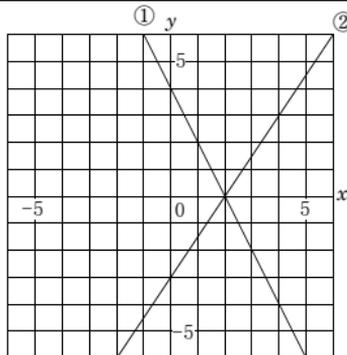
$$y = -2x + 4$$

② $3x - 2y = 6$ $y = ax + b$ の形にする

$$-2y = -3x + 6$$

$$y = \frac{-3x}{-2} + \frac{6}{-2}$$

$$y = \frac{3}{2}x - 3$$



ポイント

◆ 2元1次方程式のグラフは $y = ax + b$ の形に変形してから書く

例2 1次方程式のグラフ(1)

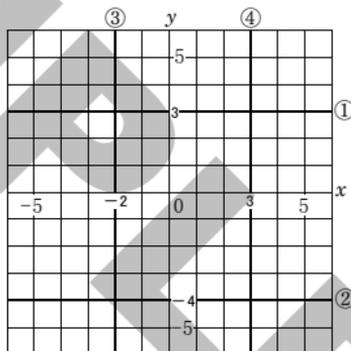
次の1次方程式のグラフを書きなさい。

① $y = 3$ x 軸に平行

② $y + 4 = 0$
 $y = -4$ x 軸に平行

③ $x = -2$ y 軸に平行

④ $x - 3 = 0$
 $x = 3$ y 軸に平行



ポイント

◆ $y = a \rightarrow x$ 軸に平行な直線 $x = a \rightarrow y$ 軸に平行な直線

例3 1次方程式のグラフ(2)

次のグラフの式を求めなさい。

① y 軸に平行

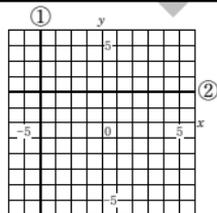
$$x = a$$

答 $x = -4$

② x 軸に平行

$$y = a$$

答 $y = 2$



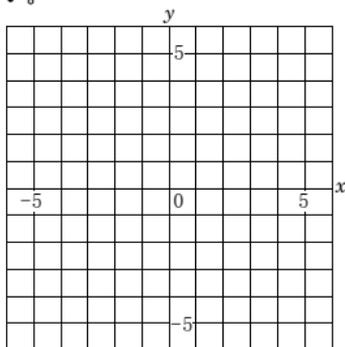
練習1 次の2元1次方程式のグラフを書きなさい。

① $4x + 2y = 2$

② $2x - 2y = 6$

③ $3x + 4y = -8$

④ $-3x + 2y = 6$

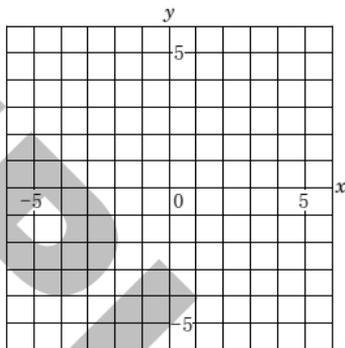


練習2 次の1次方程式のグラフを書きなさい。

① $y = 4$

② $x = 3$

③ $y + 2 = 0$

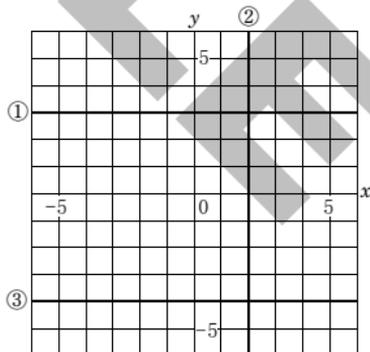


練習3 次のグラフの式を求めなさい。

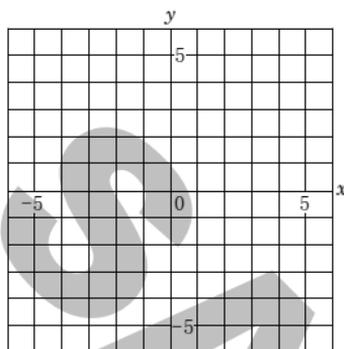
①

②

③



1 次の2元1次方程式のグラフを書きなさい。(10点×4=40点)▶p102 例1



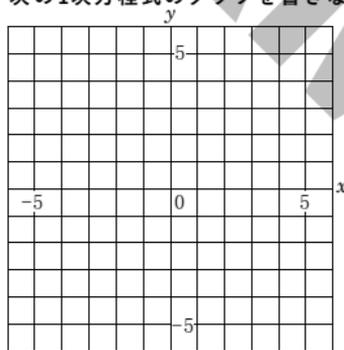
① $2x + y = 4$

② $4x - 4y = 8$

③ $3x + 4y = -12$

④ $3x + 6y = 12$

2 次の1次方程式のグラフを書きなさい。(10点×3=30点)▶p102 例2

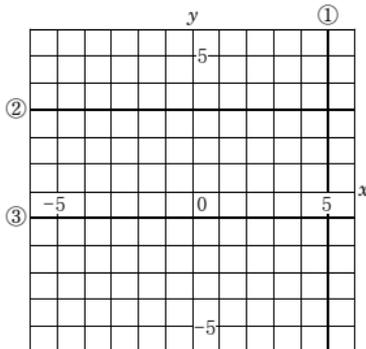


① $y = -3$

② $x = 1$

③ $y - 5 = 0$

3 次のグラフの式を求めなさい。(10点×3=30点)▶p102 例3



①

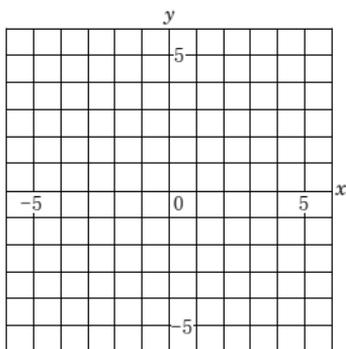
②

③

確認問題 3-8-B

1 次の2元1次方程式のグラフを書きなさい。(10点×4=40点)▶p102 例1

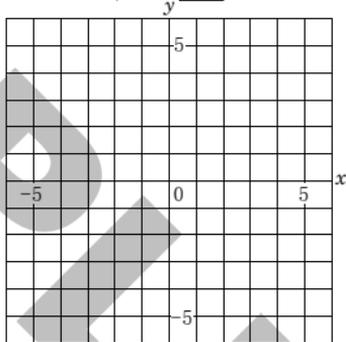
- ① $-3x + y = -3$ ② $8x - 4y = -4$



- ③ $2x + 4y = 12$ ④ $2x - 3y = 15$

2 次の1次方程式のグラフを書きなさい。(10点×3=30点)▶p102 例2

- ① $y = 1$ ② $x = 5$



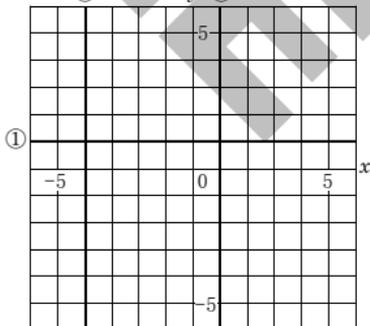
- ③ $y + 4 = 0$

3 次のグラフの式を求めなさい。(10点×3=30点)▶p102 例3

①

②

③



②

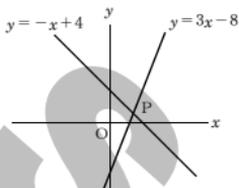
③

グラフの交点

例1 1次関数のグラフの交点

次のグラフの交点Pの座標を求めなさい。

① $y = -x + 4$ と $y = 3x - 8$



グラフの交点の座標は連立方程式で求める

$$\begin{cases} y = -x + 4 & \cdots \textcircled{7} \\ y = 3x - 8 & \cdots \textcircled{1} \end{cases}$$

$y = 3x - 8$ に $y = -x + 4$ を代入

$y = -x + 4$ ↓ $\textcircled{7}$ の右辺 = $\textcircled{1}$ の右辺とする

$$-x + 4 = 3x - 8$$

$$-x - 3x = -4 - 8$$

$$-4x = -12$$

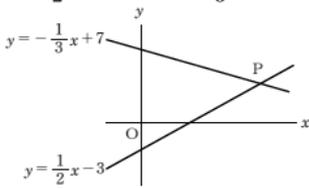
$$x = 3$$

$x = 3$ を $\textcircled{7}$ (または $\textcircled{1}$)の x に代入

$$y = -3 + 4$$

$$y = 1 \quad \text{答 (3, 1)}$$

② $y = \frac{1}{2}x - 3$ と $y = -\frac{1}{3}x + 7$



グラフの交点の座標は連立方程式で求める

$$\begin{cases} y = \frac{1}{2}x - 3 & \cdots \textcircled{7} \\ y = -\frac{1}{3}x + 7 & \cdots \textcircled{1} \end{cases}$$

$y = -\frac{1}{3}x + 7$ に $y = \frac{1}{2}x - 3$ を代入

$y = \frac{1}{2}x - 3$ ↓ $\textcircled{7}$ の右辺 = $\textcircled{1}$ の右辺とする

両辺に6をかける

$$\frac{1}{2}x - 3 = -\frac{1}{3}x + 7$$

$$3x - 18 = -2x + 42$$

$$3x + 2x = 18 + 42$$

$$5x = 60$$

$$x = 12$$

$x = 12$ を $\textcircled{7}$ (または $\textcircled{1}$)の x に代入

$$y = \frac{1}{2} \times 12 - 3$$

$$y = 6 - 3 = 3 \quad \text{答 (12, 3)}$$

例2 1次関数のグラフとx軸、y軸との交点

次のグラフとx軸、y軸との交点A、Bの座標を求めなさい。

① $y = -2x + 10$

Aの座標

x軸との交点 $\rightarrow y = 0$

$$0 = -2x + 10$$

$$2x = 10$$

$$x = 5$$

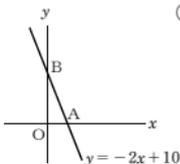
答 (5, 0)

Bの座標

y軸との交点 \rightarrow 切片

$$y = 10$$

答 (0, 10)



② $y = \frac{1}{3}x - 2$

Aの座標

x軸との交点 $\rightarrow y = 0$

$$0 = \frac{1}{3}x - 2$$

③ $\times 3$
 $0 = x - 6$

$$x = 6$$

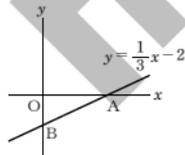
答 (6, 0)

Bの座標

y軸との交点 \rightarrow 切片

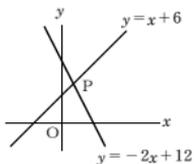
$$y = -2$$

答 (0, -2)

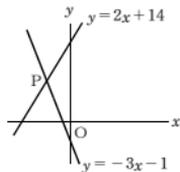


練習1 次のグラフの交点Pの座標を求めなさい。

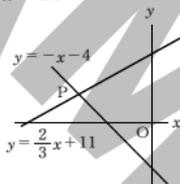
① $y = x + 6$ と $y = -2x + 12$



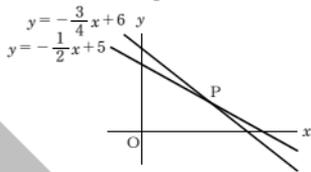
② $y = -3x - 1$ と $y = 2x + 14$



③ $y = -x - 4$ と $y = \frac{2}{3}x + 11$

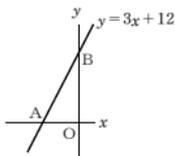


④ $y = -\frac{1}{2}x + 5$ と $y = -\frac{3}{4}x + 6$

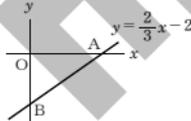


練習2 次のグラフとx軸、y軸との交点A、Bの座標を求めなさい。

① $y = 3x + 12$



② $y = \frac{2}{3}x - 2$

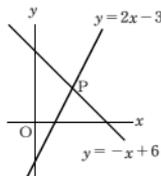


確認問題 3-9-A

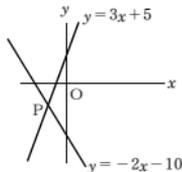
点

1 次のグラフの交点Pの座標を求めなさい。(20点×4=80点)▶p106例1

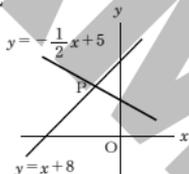
① $y = -x + 6$ と $y = 2x - 3$



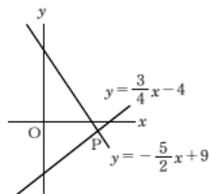
② $y = 3x + 5$ と $y = -2x - 10$



③ $y = x + 8$ と $y = -\frac{1}{2}x + 5$



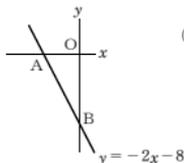
④ $y = -\frac{5}{2}x + 9$ と $y = \frac{3}{4}x - 4$



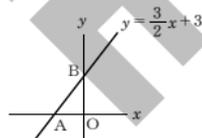
2 次のグラフとx軸、y軸との交点A、Bの座標を求めなさい。

(5点×4=20点)▶p106例2

① $y = -2x - 8$



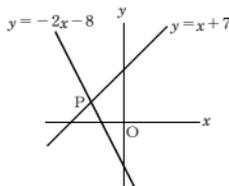
② $y = \frac{3}{2}x + 3$



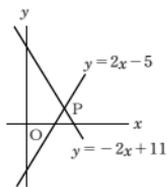
確認問題 3-9-B

1 次のグラフの交点Pの座標を求めなさい。(20点×4=80点)▶p106例1

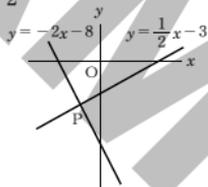
① $y = x + 7$ と $y = -2x - 8$



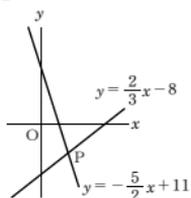
② $y = -2x + 11$ と $y = 2x - 5$



③ $y = -2x - 8$ と $y = \frac{1}{2}x - 3$



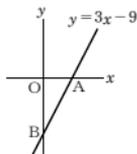
④ $y = \frac{2}{3}x - 8$ と $y = -\frac{5}{2}x + 11$



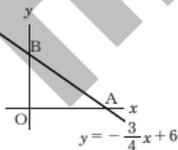
2 次のグラフとx軸、y軸との交点A、Bの座標を求めなさい。

(5点×4=20点)▶p106例2

① $y = 3x - 9$



② $y = -\frac{3}{4}x + 6$



例1 1次関数の利用

右の図は30L入る容器に、最初はAとBの2つの管を使って、途中からはAの管だけを使って水を入れたとき、水を入れた時間と容器にたまった水の量の関係をグラフで表したものである。次の各問に答えなさい。

- ① Aの管だけを使ったときのグラフの式を求めなさい。

(4, 20)と(9, 30)を通る直線の式を求める

p98参照

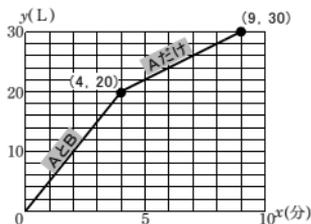
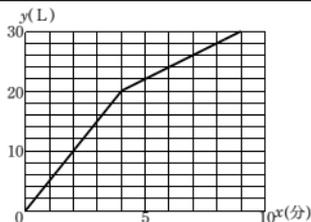
$$\text{答 } y = 2x + 12$$

- ② 水が25Lたまるのは、水を入れ始めてから何分後ですか。

25LたまるのはAだけを使ったときだから
 $y = 2x + 12$ に $y = 25$ を代入する

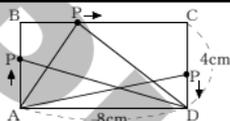
$$\begin{aligned} 25 &= 2x + 12 \\ -2x &= -25 + 12 \\ -2x &= -13 \\ x &= \frac{13}{2} \end{aligned}$$

答 $\frac{13}{2}$ 分後

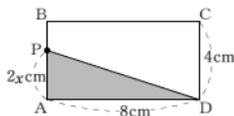


例2 動点と三角形の面積

右の図で、点Pは点AからB、Cを通って点Dまで秒速2cmの速さで動く。点Pが動き始めてからx秒後の $\triangle APD$ の面積を $y\text{cm}^2$ とするとき次の問に答えなさい。



- ① PがAB上にあるとき ② PがBC上にあるとき ③ PがCD上にあるとき
 y を x の式で表しなさい。 y を x の式で表しなさい。 y を x の式で表しなさい。

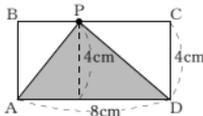


Aを出て2秒後にBに着く

$$0 \leq x \leq 2$$

$$y = 8 \times 2x \times \frac{1}{2} = 8x$$

答 $y = 8x$

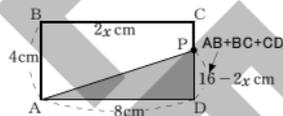


Aを出て6秒後にCに着く

$$2 \leq x \leq 6$$

$$y = 8 \times 4 \times \frac{1}{2} = 16$$

答 $y = 16$



Aを出て8秒後にDに着く

$$6 \leq x \leq 8$$

$$y = 8 \times (16 - 2x) \times \frac{1}{2} = -8x + 64$$

答 $y = -8x + 64$

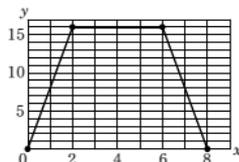
- ④ x と y の関係をグラフに表しなさい。

①より $x=0$ のとき $y=0$

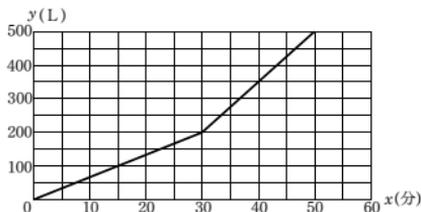
①②より $x=2$ のとき $y=16$

②③より $x=6$ のとき $y=16$

③より $x=8$ のとき $y=0$



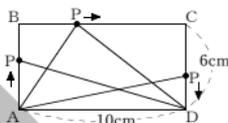
練習1 右の図は500L入る容器に、最初はAの管を使って、途中からはBの管を使って水を入れたとき、水を入れた時間と容器にたまった水の量の関係をグラフで表したものである。次の各問に答えなさい。



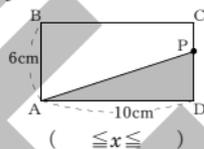
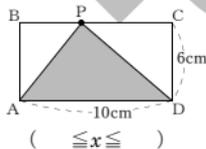
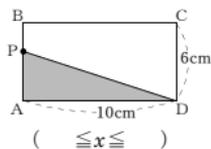
- ① Bの管を使ったときのグラフの式を求めなさい。

- ② 水が400Lたまるのは、水を入れ始めてから何分後ですか。

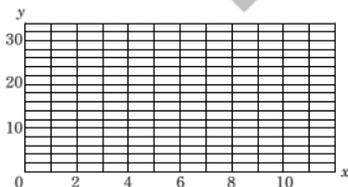
練習2 右の図で、点Pは点AからB、Cを通じて点Dまで秒速2cmの速さで動く。点Pが動き始めてからx秒後の $\triangle APD$ の面積を ycm^2 とするとき次の問に答えなさい。



- ① PがAB上にあるとき ② PがBC上にあるとき ③ PがCD上にあるとき
yをxの式で表しなさい。 yをxの式で表しなさい。 yをxの式で表しなさい。

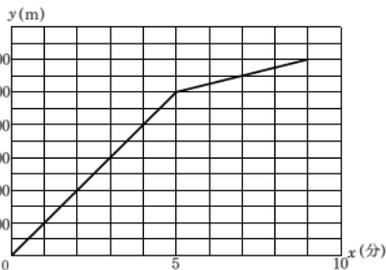


- ④ xとyの関係をグラフに表しなさい。



1 家から1200m離れた駅まで行くのに、最初は自転車に乗り、自転車をおりてからは歩いた。右のグラフはその様子を表したものである。次の各問いに答えなさい。

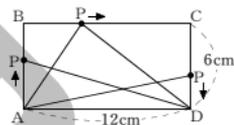
(20点×2=40点) ▶ p110 例1



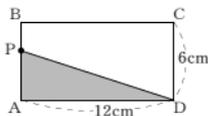
① 歩いたときのグラフの式を求めなさい。

② 家から1050mのところにいるのは家を出てから何分後ですか。

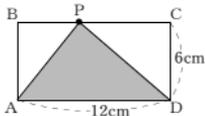
2 右の図で、点Pは点AからB、Cを通過して点Dまで秒速3cmの速さで動く。点Pが動き始めてからx秒後の $\triangle APD$ の面積を $y\text{cm}^2$ とするととき次の問いに答えなさい。(15点×4=60点) ▶ p110 例2



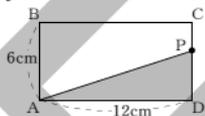
① PがAB上にあるとき ② PがBC上にあるとき ③ PがCD上にあるとき
yをxの式で表しなさい。 yをxの式で表しなさい。 yをxの式で表しなさい。



($\leq x \leq$)

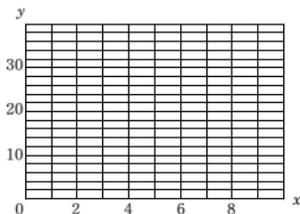


($\leq x \leq$)



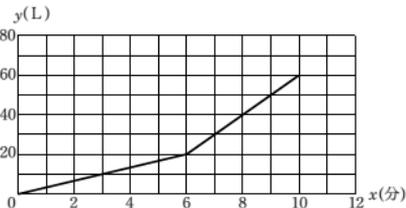
($\leq x \leq$)

④ xとyの関係をグラフに表しなさい。



確認問題 3-10-B

1 右の図は60L入る容器に、最初はAの管を使って、途中からはBの管を使って水を入れたとき、水を入れた時間と容器にたまった水の量の関係をグラフで表したものである。次の各問に答えなさい。

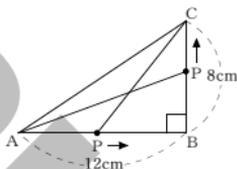


(20点×2=40点)▶p110例1

① Bの管を使ったときのグラフの式を求めなさい。

② 水が35Lたまるのは、水を入れ始めてから何分後ですか。

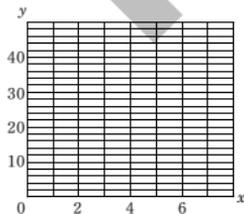
2 右の図で、点Pは点AからBを通って点Cまで秒速4cmの速さで動く。点Pが動き始めてから x 秒後の $\triangle CAP$ の面積を $y\text{cm}^2$ とするとき次の問いに答えなさい。(20点×3=60点)▶p110例2



① PがAB上にあるとき
 y を x の式で表しなさい。

② PがBC上にあるとき
 y を x の式で表しなさい。

③ x と y の関係をグラフに表しなさい。



角と平行線

例1 角

次の各問いに答えなさい。

- ① 90° の大きさの角を何といいますか。 ② 90° より小さい角を何といいますか。 ③ 90° より大きく 180° より小さい角を何といいますか。

答 直角

答 鋭角

答 鈍角

ポイント

◆ 直角

 90° の角

◆ 鋭角

 90° より小さい角

◆ 鈍角

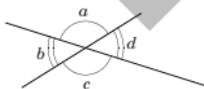
 90° より大きく 180° より小さい角

例2 対頂角

次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。

- ① ② ③ ④
- 答 60° 答 130° $x = 180 - (110 + 40) = 30$ $x = 180 - (80 + 60) = 40$
- 答 30° 答 40°

ポイント

◆ 対頂角の大きさは等しい
 $\angle a = \angle c$, $\angle b = \angle d$ 

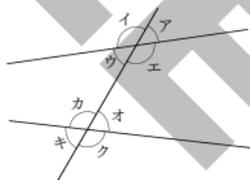
対頂角

2直線が交わってできる4つの角のうち向かい合っている2組の角

例3 同位角と錯角

次の角を答えなさい。

- ① \angle アの同位角 ② \angle カの同位角 ③ \angle ウの同位角 ④ \angle クの同位角 ⑤ \angle エの錯角 ⑥ \angle オの錯角
- 答 \angle オ 答 \angle イ 答 \angle キ 答 \angle エ 答 \angle カ 答 \angle ウ



ポイント

◆ 同位角



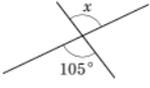
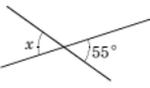
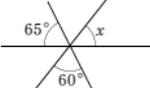
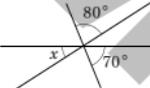
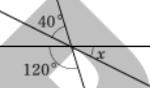
◆ 錯角



練習1 次の角は直角・鋭角・鈍角のどれになりますか。

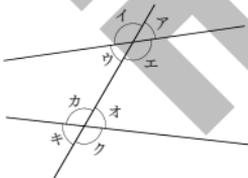
- ① 60° ② 100° ③ 90°
- ④ 160° ⑤ 85° ⑥ 12°

練習2 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。

- ①  ②  ③  ④ 
- ⑤  ⑥  ⑦  ⑧ 

練習3 次の角を答えなさい。

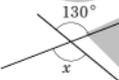
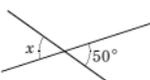
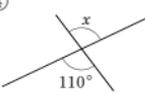
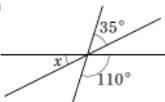
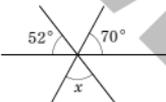
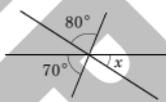
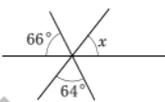
- ① \angle イの同位角 ② \angle オの同位角
- ③ \angle エの同位角 ④ \angle キの同位角
- ⑤ \angle カの錯角 ⑥ \angle ウの錯角



1 次の角は直角・鋭角・鈍角のどれになりますか。(5点×6=30点)▶p114 例1

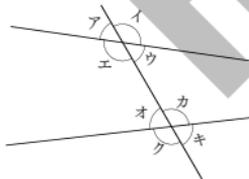
- ① 135° ② 68° ③ 91°
- ④ 90° ⑤ 150° ⑥ 75°

2 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。(5点×8=40点)▶p114 例2

- ①  ②  ③  ④ 
- ⑤  ⑥  ⑦  ⑧ 

3 次の角を答えなさい。(5点×6=30点)▶p114 例3

- ① \angle アの同位角 ② \angle クの同位角
- ③ \angle カの同位角 ④ \angle ウの同位角
- ⑤ \angle オの錯角 ⑥ \angle エの錯角

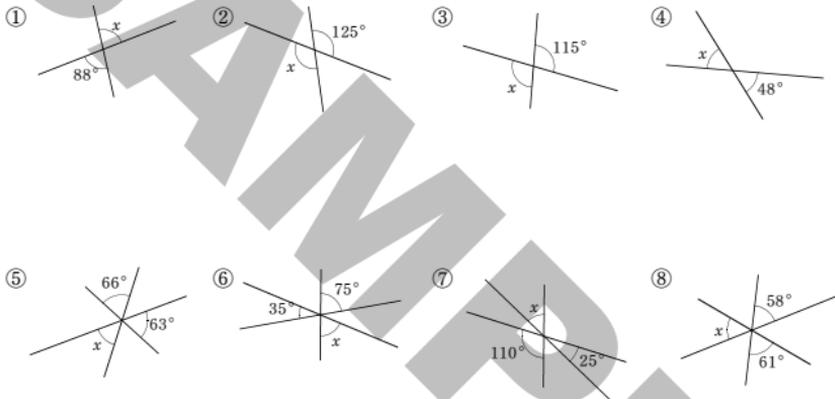


確認問題 4-1-B

1 次の角は直角・鋭角・鈍角のどれになりますか。(5点×6=30点)▶p114 例1

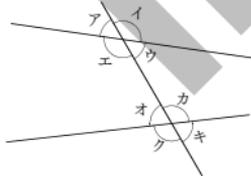
- ① 45° ② 160° ③ 60°
- ④ 108° ⑤ 90° ⑥ 99°

2 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。(5点×8=40点)▶p114 例2



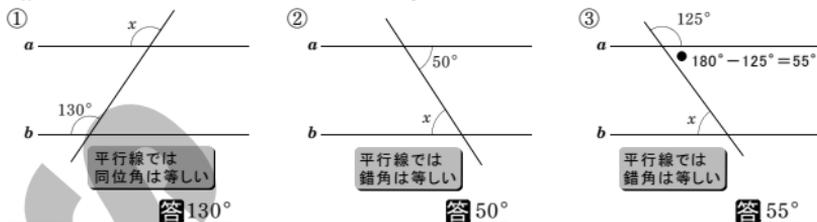
3 次の角を答えなさい。(5点×6=30点)▶p114 例3

- ① \angle クの同位角 ② \angle オの同位角
- ③ \angle ウの同位角 ④ \angle カの同位角
- ⑤ \angle エの錯角 ⑥ \angle オの錯角



例1 平行線と同位角・錯角(1)

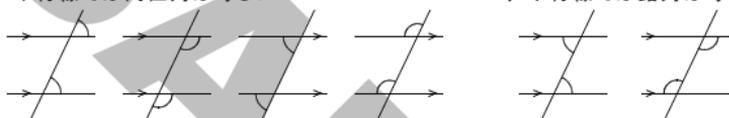
$a \parallel b$ のとき $\angle x$ の大きさを求めなさい。



ポイント

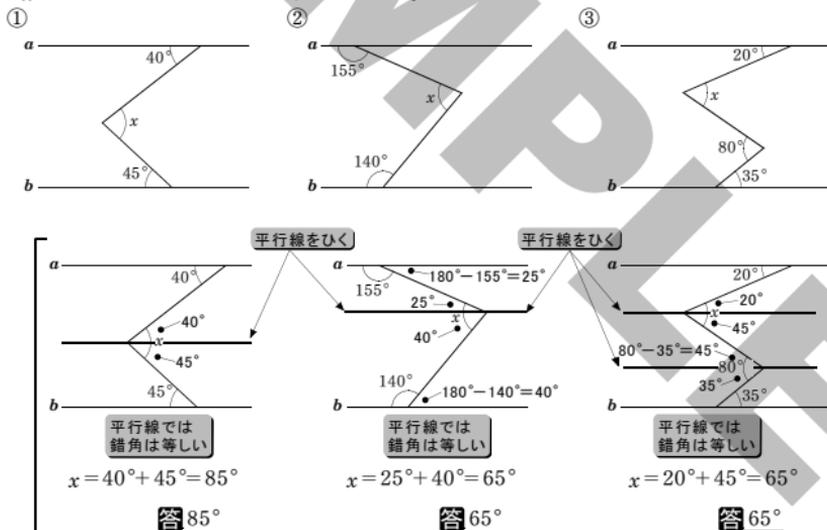
◆ 平行線では同位角は等しい

◆ 平行線では錯角は等しい



例2 平行線と同位角・錯角(2)

$a \parallel b$ のとき $\angle x$ の大きさを求めなさい。

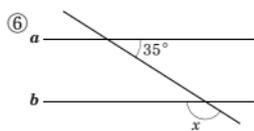
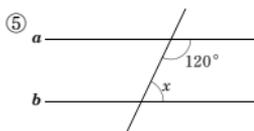
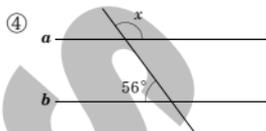
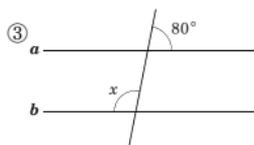
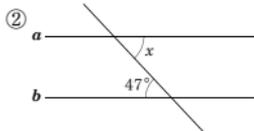
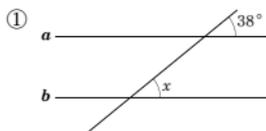


ポイント

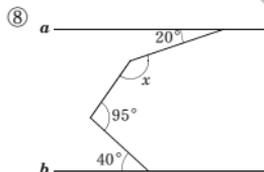
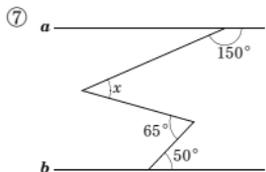
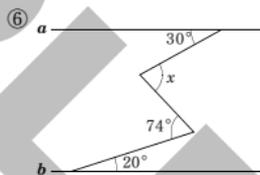
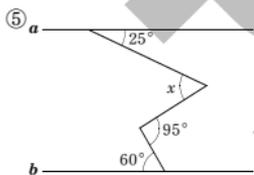
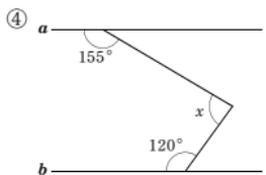
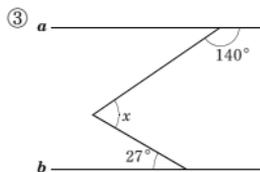
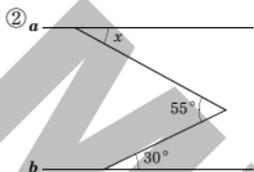
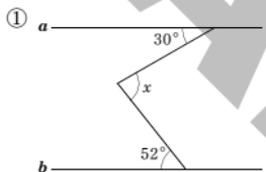
◆ 平行線では錯角は等しい



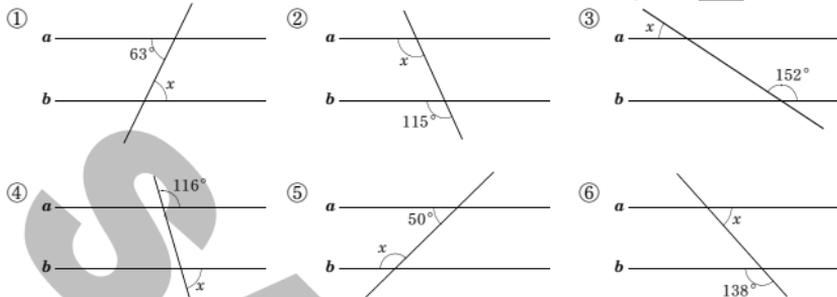
練習1 $a \parallel b$ のとき $\angle x$ の大きさを求めなさい。



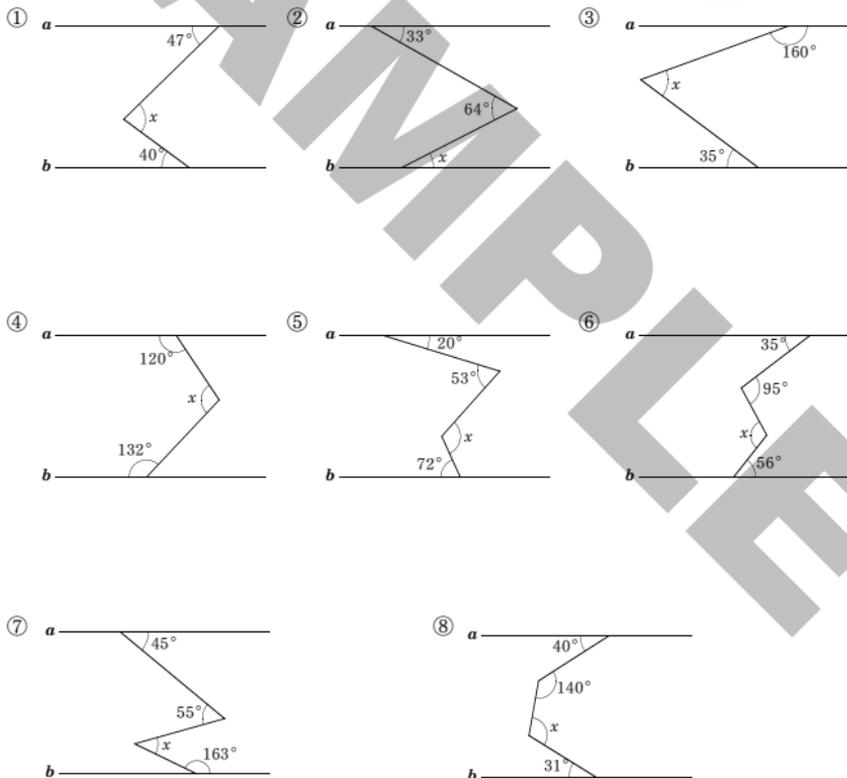
練習2 $a \parallel b$ のとき $\angle x$ の大きさを求めなさい。



1 $a//b$ のとき $\angle x$ の大きさを求めなさい。(6点 \times 6 = 36点) \blacktriangleright p118 例1



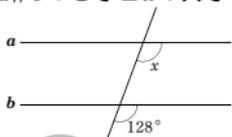
2 $a//b$ のとき $\angle x$ の大きさを求めなさい。(8点 \times 8 = 64点) \blacktriangleright p118 例2



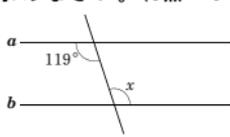
確認問題 4-2-B

1 $a \parallel b$ のとき $\angle x$ の大きさを求めなさい。(6点 \times 6 = 36点) ▶ p118 例1

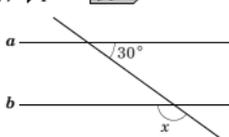
①



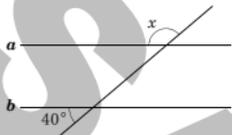
②



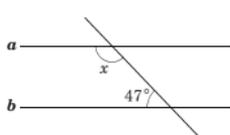
③



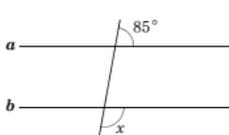
④



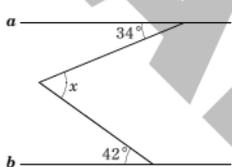
⑤



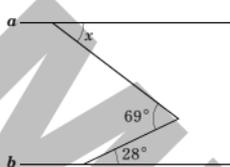
⑥

2 $a \parallel b$ のとき $\angle x$ の大きさを求めなさい。(8点 \times 8 = 64点) ▶ p118 例2

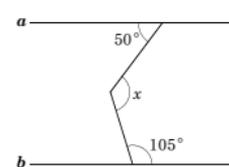
①



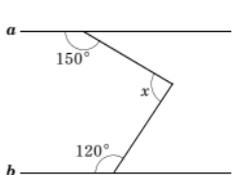
②



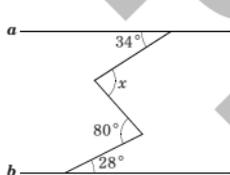
③



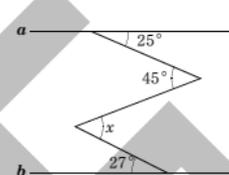
④



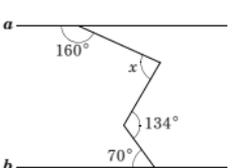
⑤



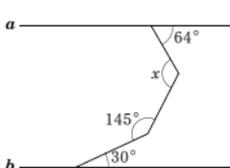
⑥



⑦



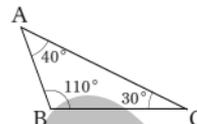
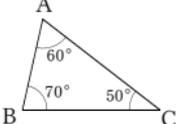
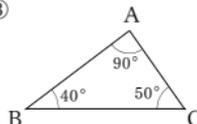
⑧



三 角 形 の 角

例1 角の大きさと三角形

次の三角形は鋭角三角形・直角三角形・鈍角三角形のどれになりますか。

<p>①</p>  <p>∠Bが鈍角 答 鈍角三角形</p>	<p>②</p>  <p>∠A・∠B・∠Cとも鋭角 答 鋭角三角形</p>	<p>③</p>  <p>∠Aが直角 答 直角三角形</p>
---	--	---

ポイント

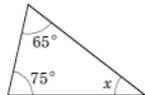
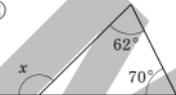
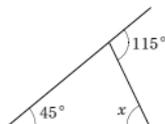
◆ 鋭角三角形
どの角も鋭角

◆ 鈍角三角形
1つの角が鈍角

◆ 直角三角形
1つの角が直角

例2 三角形の内角と外角(1)

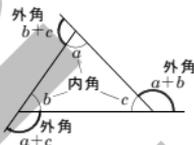
∠xの大きさを求めなさい。

<p>①</p>  <p>内角の和=180° $x = 180^\circ - (65^\circ + 75^\circ)$ $= 40^\circ$ 答 40°</p>	<p>②</p>  <p>外角はとなりあわない2つの内角の和 $x = 62^\circ + 70^\circ$ $= 132^\circ$ 答 132°</p>	<p>③</p>  <p>外角はとなりあわない2つの内角の和 $x + 45^\circ = 115^\circ$ $x = 115^\circ - 45^\circ$ $= 70^\circ$ 答 70°</p>
---	--	---

ポイント

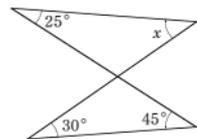
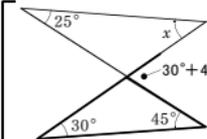
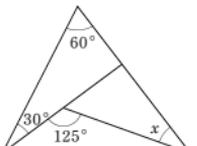
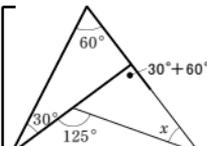
◆ 三角形の内角の和は180°である

◆ 三角形の外角は、それととなりあわない2つの内角の和に等しい



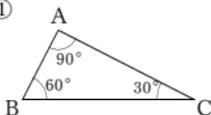
例3 三角形の内角と外角(2)

∠xの大きさを求めなさい。

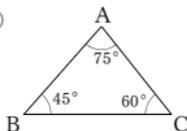
<p>①</p> 	<p>外角 $30^\circ + 45^\circ = 75^\circ$</p>  <p>外角 $x + 25^\circ = 75^\circ$ $x = 75^\circ - 25^\circ$ $x = 50^\circ$ 答 50°</p>
<p>②</p> 	<p>外角 $30^\circ + 60^\circ = 90^\circ$</p>  <p>外角 $x + 90^\circ = 125^\circ$ $x = 125^\circ - 90^\circ$ $x = 35^\circ$ 答 35°</p>

練習1 次の三角形は鋭角三角形・直角三角形・鈍角三角形のどれになりますか。

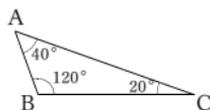
①



②



③

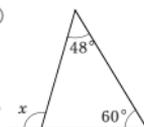


練習2 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。

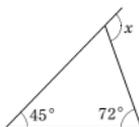
①



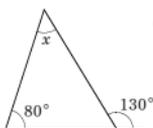
②



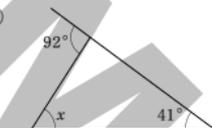
③



④



⑤

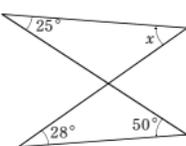


⑥

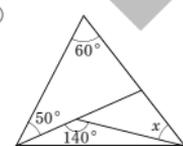


練習3 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。

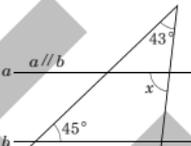
①



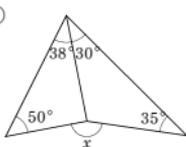
②



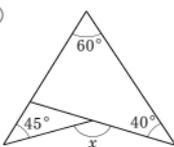
③



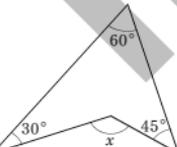
④



⑤



⑥

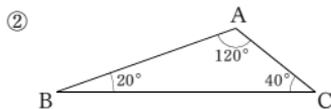
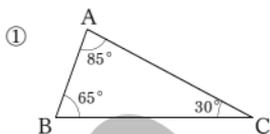


確認問題 4-3-A

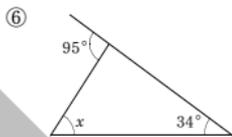
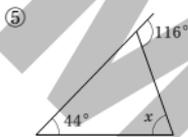
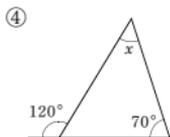
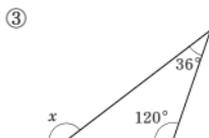
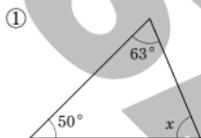
点

1 次の三角形は鋭角三角形・直角三角形・鈍角三角形のどれになりますか。

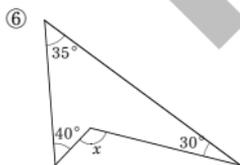
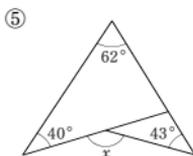
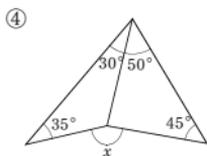
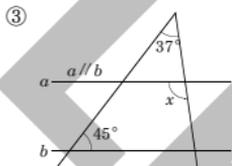
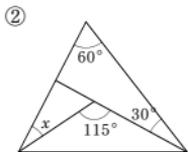
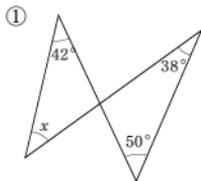
(5点 × 2 = 10点) ▶ p122 例1



2 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。(7点 × 6 = 42点) ▶ p122 例2



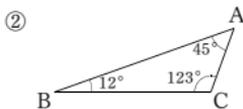
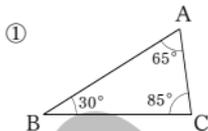
3 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。(8点 × 6 = 48点) ▶ p122 例3



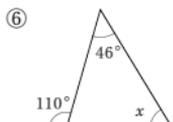
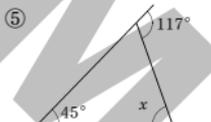
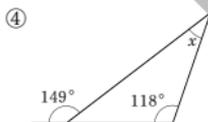
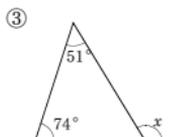
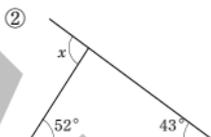
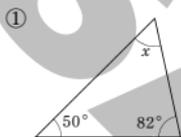
確認問題 4-3-B

1 次の三角形は鋭角三角形・直角三角形・鈍角三角形のどれになりますか。

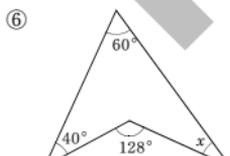
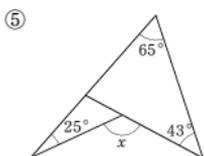
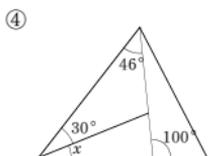
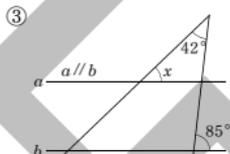
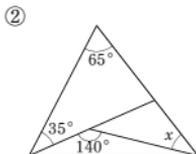
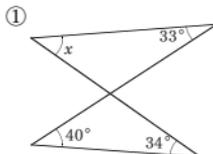
(5点×2=10点) ▶p122 例1



2 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。(7点×6=42点) ▶p122 例2



3 次の図で $\angle x$ の大きさを求めなさい。(8点×6=48点) ▶p122 例3



例1 多角形の内角と外角(1)

次の各問いに答えなさい。

- ① 五角形の内角の和は何度ですか。 ② 五角形の外角の和は何度ですか。



左の図のように3つの三角形に分けることができるので
 $180^\circ \times 3 = 540^\circ$ **答** 540°

多角形の外角の和は一定で 360° **答** 360°

ポイント

- ◆ n 角形の内角の和 $\cdots 180^\circ \times (n-2)$
- ◆ n 角形の外角の和 $\cdots 360^\circ$

例2 多角形の内角と外角(2)

次の各問いに答えなさい。

- ① 内角の和が 720° になる多角形は何角形ですか。 ② 正五角形の1つの内角の大きさを求めなさい。

$$\begin{aligned} 180(n-2) &= 720 && n \text{角形の内角の和} \\ 180n - 360 &= 720 && 180(n-2) \\ 180n &= 720 + 360 \\ 180n &= 1080 \\ n &= 6 && \text{答 六角形} \end{aligned}$$

別の方法 $720 \div 180 + 2 = 6$ でもよい

$$\begin{aligned} \text{内角の和} &= 180^\circ \times (5-2) && n \text{角形の内角の和} \\ &= 180^\circ \times 3 && 180(n-2) \\ &= 540^\circ \\ \text{1つの内角} &= 540^\circ \div 5 = 108^\circ && \text{答 } 108^\circ \end{aligned}$$

例3 多角形の内角と外角(3)

次の各問いに答えなさい。

- ① 正五角形の1つの外角の大きさを求めなさい。 ② 1つの外角が 45° になる正多角形は何か。 ③ 1つの内角が 120° になる正多角形は何か。

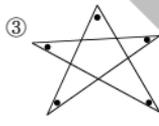
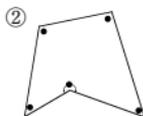
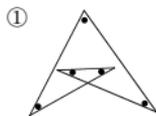
$$\begin{aligned} \text{外角の和は } 360^\circ \\ 360^\circ \div 5 = 72^\circ \\ \text{答 } 72^\circ \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{外角の和は } 360^\circ \\ 360^\circ \div 45^\circ = 8 \\ \text{答 正八角形} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{内角} + \text{外角} = 180^\circ \text{ だから} \\ \text{外角} = 180^\circ - 120^\circ = 60^\circ \\ \text{外角の和は } 360^\circ \\ 360^\circ \div 60^\circ = 6 \\ \text{答 正六角形} \end{aligned}$$

例4 多角形の内角と外角(4)

次の図で・印のついた角の和は何度ですか。



$$\begin{aligned} \text{2つの和} \\ \text{2つの和} \\ \text{等しい} \\ \text{答 } 180^\circ \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{五角形の内角の和} \\ 180^\circ \times (5-2) \\ = 540^\circ \\ n \text{角形の内角の和} \\ 180(n-2) \\ \text{答 } 540^\circ \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{外角はとなりあわない2つの内角の和} \\ a+b+c+d+e = 180^\circ \\ \text{答 } 180^\circ \end{aligned}$$

練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 多角形の外角の和は ② 七角形の内角の和は ③ 十角形の内角の和は
何度ですか。 何度ですか。 何度ですか。

練習2 次の各問いに答えなさい。

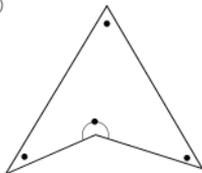
- ① 内角の和が 1080° になる多角形は何角形ですか。 ② 正六角形の1つの内角の大きさを求めなさい。

練習3 次の各問いに答えなさい。

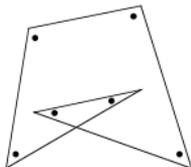
- ① 正八角形の1つの外角 ② 1つの外角が 36° になる ③ 1つの内角が 108° になる
の大きさを求めなさい。 のは正何角形ですか。 のは正何角形ですか。

練習4 次の図で●印のついた角の和は何度ですか。

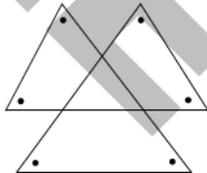
①



②



③



1 次の各問いに答えなさい。(8点×3=24点)▶p126 例1

- ① 多角形の外角の和は何度ですか。 ② 八角形の内角の和は何度ですか。 ③ 十二角形の内角の和は何度ですか。

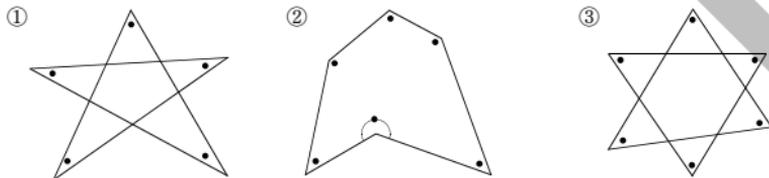
2 次の各問いに答えなさい。(8点×2=16点)▶p126 例2

- ① 内角の和が 900° になる多角形は何角形ですか。 ② 正十角形の1つの内角の大きさを求めなさい。

3 次の各問いに答えなさい。(10点×3=30点)▶p126 例3

- ① 正六角形の1つの外角 ② 1つの外角が 72° になる ③ 1つの内角が 150° になる
の大きさを求めなさい。 のは正何角形ですか。 のは正何角形ですか。

4 次の図で●印のついた角の和は何度ですか。(10点×3=30点)▶p126 例4



確認問題 4-4-B

1 次の各問いに答えなさい。(8点×3=24点)▶▶▶p126例1

- ① 多角形の外角の和は ② 六角形の内角の和は ③ 九角形の内角の和は何度ですか。 何度ですか。 何度ですか。

2 次の各問いに答えなさい。(8点×2=16点)▶▶▶p126例2

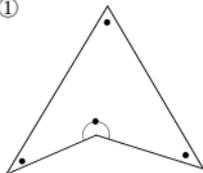
- ① 内角の和が 1800° になる多角形は ② 正八角形の1つの内角の大きさを何角形ですか。 求めなさい。

3 次の各問いに答えなさい。(10点×3=30点)▶▶▶p126例3

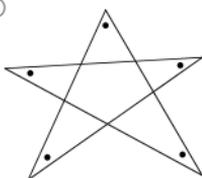
- ① 正十角形の1つの外角 ② 1つの外角が 60° になる ③ 1つの内角が 140° になるの大きさを求めなさい。 のは正何角形ですか。 のは正何角形ですか。

4 次の図で●印のついた角の和は何度ですか。(10点×3=30点)▶▶▶p126例4

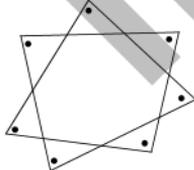
①



②



③



合同な図形

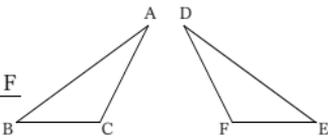
例1 合同な図形

右の $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ は合同である。これについて次の各問いに答えなさい。

- ① $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であることを
合同の記号を使って表しなさい。

合同の記号 $\rightarrow \equiv$

答 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$



- ② 対応する辺の長さはどうなっていますか。

対応する辺の長さは等しい

答 等しい

- ③ 対応する角の大きさはどうなっていますか。

対応する角の大きさは等しい

答 等しい

ポイント

- ◆ きちんと重ね合わせることができる図形を合同な図形という。合同の記号は \equiv
- ◆ 重なり合う頂点を対応する頂点という。
- ◆ 重なり合う辺を対応する辺という。
- ◆ 重なり合う角を対応する角という。
- ◆ 対応する辺の長さや角の大きさは等しい。

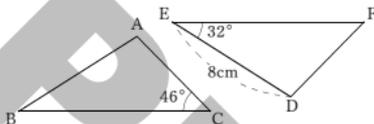
例2 合同な図形の性質

次の各問いに答えなさい。

- ① $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であることを
合同の記号を使って表しなさい。

合同の記号 $\rightarrow \equiv$

答 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$



- ② AB の長さを求めなさい。

対応する辺の長さは等しい

答 8cm

Ⓢ A と D , B と E , C と F が対応

- ③ $\angle F$ の大きさを求めなさい。

対応する角の大きさは等しい

答 46°

例3 合同な図形の表し方

右の図で⑦の三角形と④の三角形が合同であるとする。これを \equiv の記号を用いて表すとき にあてはまる文字を書き入れなさい。

① $\triangle ABC \equiv \triangle$

② $\triangle BCA \equiv \triangle$

対応する順にかく

答 FDE

対応する順にかく

答 DEF

③ $\triangle EFD \equiv \triangle$

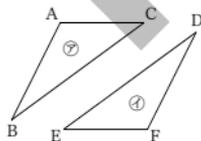
④ $\triangle DFE \equiv \triangle$

対応する順にかく

答 CAB

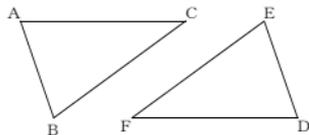
対応する順にかく

答 BAC



練習1 右の $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ は合同である。これについて次の各問いに答えなさい。

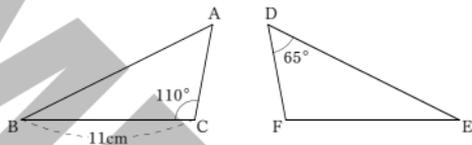
- ① $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であることを合同の記号を使って表しなさい。



- ② 対応する辺の長さはどうなっていますか。
- ③ 対応する角の大きさはどうなっていますか。

練習2 次の各問いに答えなさい。

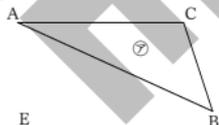
- ① $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であることを合同の記号を使って表しなさい。



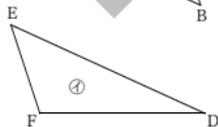
- ② EF の長さを求めなさい。
- ③ $\angle A$ の大きさを求めなさい。

練習3 右の図で⑦の三角形と⑧の三角形が合同であるとする。これを \equiv の記号を用いて表すとき にあてはまる文字を書き入れなさい。

- ① $\triangle ABC \equiv \triangle$ ② $\triangle CAB \equiv \triangle$



- ③ $\triangle DEF \equiv \triangle$ ④ $\triangle FDE \equiv \triangle$

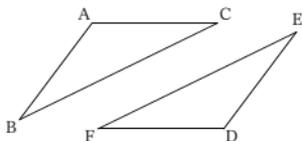


確認問題 5-1-A

点

1 右の $\triangle CAB$ と $\triangle FDE$ は合同である。これについて次の各問いに答えなさい。
(10点 \times 3=30点)▶p130例1

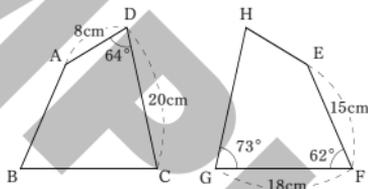
- ① $\triangle CAB$ と $\triangle FDE$ が合同であることを合同の記号を使って表しなさい。



- ② 対応する辺の長さはどうなっていますか。
- ③ 対応する角の大きさはどうなっていますか。

2 次の各問いに答えなさい。(10点 \times 3=30点)▶p130例2

- ① 四角形 $ABCD$ と四角形 $EFGH$ が合同であることを合同の記号を使って表しなさい。



- ② BC の長さを求めなさい。
- ③ $\angle C$ の大きさを求めなさい。

3 右の図で⑦の三角形と⑧の三角形が合同であるとする。これを \equiv の記号を用いて表すとき にあてはまる文字を書き入れなさい。(10点 \times 4=40点)

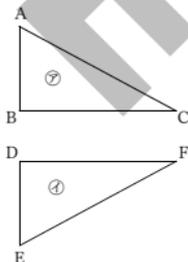
▶p130例3

① $\triangle BCA \equiv \triangle$

② $\triangle CAB \equiv \triangle$

③ $\triangle FDE \equiv \triangle$

④ $\triangle DEF \equiv \triangle$

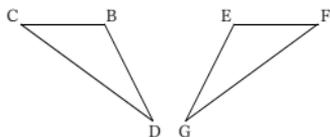


確認問題 5-1-B

1 右の $\triangle BCD$ と $\triangle EFG$ は合同である。これについて次の各問いに答えなさい。

(10点 \times 3=30点)▶p130 例1

- ① $\triangle BCD$ と $\triangle EFG$ が合同であることを合同の記号を使って表しなさい。

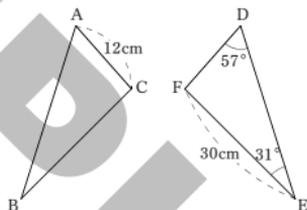


- ② 対応する辺の長さはどうなっていますか。

- ③ 対応する角の大きさはどうなっていますか。

2 次の各問いに答えなさい。(10点 \times 3=30点)▶p130 例2

- ① $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であることを合同の記号を使って表しなさい。



- ② DF の長さを求めなさい。

- ③ $\angle B$ の大きさを求めなさい。

3 右の図で⑦の三角形と④の三角形が合同であるとする。これを \equiv の記号を用いて表すとき にあてはまる文字を書き入れなさい。(10点 \times 4=40点)

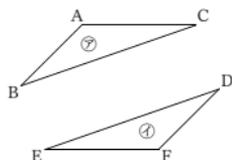
▶p130 例3

① $\triangle DEF \equiv \triangle$

② $\triangle CBA \equiv \triangle$

③ $\triangle FDE \equiv \triangle$

④ $\triangle BAC \equiv \triangle$



2 三角形の合同条件

例1 三角形の合同条件

2つの三角形は次の場合に合同である。

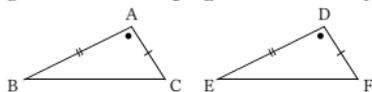
- ◆ 3組の辺がそれぞれ等しい

$$AB=DE \quad BC=EF \quad AC=DF$$



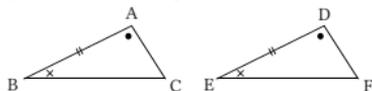
- ◆ 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

$$AB=DE \quad AC=DF \quad \angle A=\angle D$$



- ◆ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

$$AB=DE \quad \angle A=\angle D \quad \angle B=\angle E$$



ポイント

三角形の合同条件

- ◆ 3組の辺がそれぞれ等しい
- ◆ 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
- ◆ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

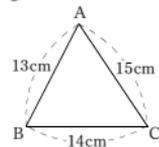
教科書によって多少表現が違うので
学校で習った通りに覚えましょう

- ◆ 3組の辺がそれぞれ等しい
- ◆ 2組の辺とそのはさむ角がそれぞれ等しい
- ◆ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい
- ◆ 3辺がそれぞれ等しい
- ◆ 2辺とその間の角がそれぞれ等しい
- ◆ 1辺とその両端の角がそれぞれ等しい

例2 合同な三角形を見つける(1)

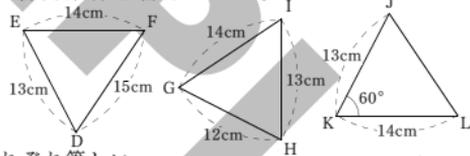
次の各問いに答えなさい。

- ① $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

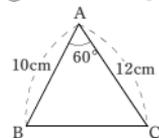


$$\begin{aligned} AB &= DE \\ BC &= EF \\ CA &= FD \end{aligned}$$

答 $\triangle DEF$, 3組の辺がそれぞれ等しい

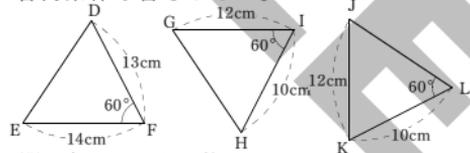


- ② $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

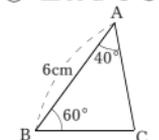


$$\begin{aligned} AB &= IH \\ AC &= IG \\ \angle A &= \angle I \end{aligned}$$

答 $\triangle IHG$, 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

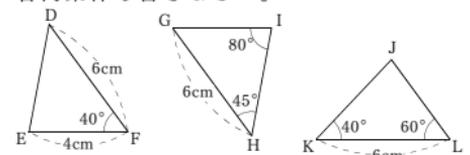


- ③ $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



$$\begin{aligned} AB &= KL \\ \angle A &= \angle K \\ \angle B &= \angle L \end{aligned}$$

答 $\triangle K LJ$, 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい



練習1 三角形の合同条件を2回書きなさい。

① ◆ _____

◆ _____

◆ _____

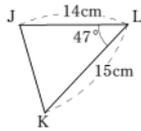
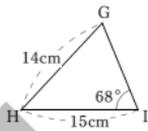
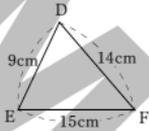
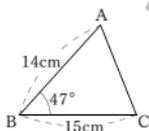
② ◆ _____

◆ _____

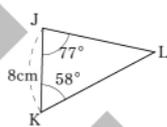
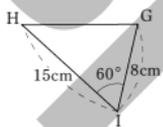
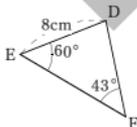
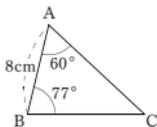
◆ _____

練習2 次の各問いに答えなさい。

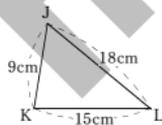
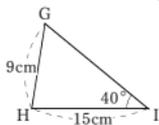
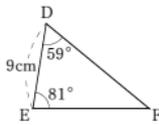
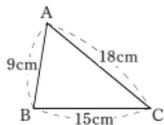
① $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



② $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



③ $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

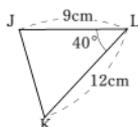
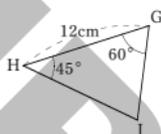
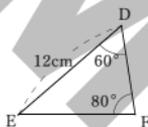
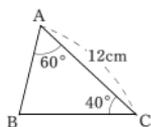


1 三角形の合同条件を2回書きなさい。(20点 × 2 = 40点) ▶ p134 例1

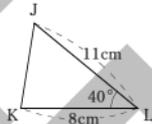
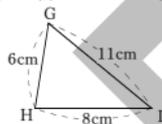
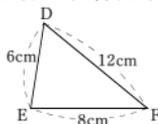
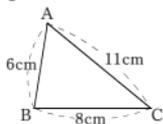
- ① ◆ _____
- ◆ _____
- ◆ _____
- ② ◆ _____
- ◆ _____
- ◆ _____

2 次の各問いに答えなさい。(20点 × 3 = 60点) ▶ p134 例2

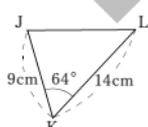
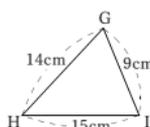
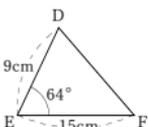
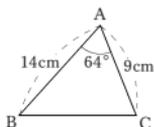
① $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



② $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



③ $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



確認問題 5-2-B

1 三角形の合同条件を2回書きなさい。(20点 × 2 = 40点) ▶ p134 例1

① ◆ _____

◆ _____

◆ _____

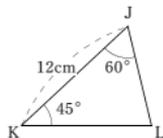
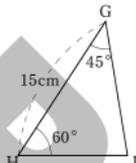
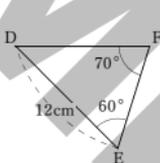
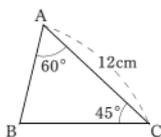
② ◆ _____

◆ _____

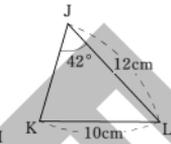
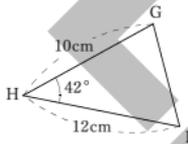
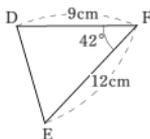
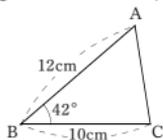
◆ _____

2 次の各問いに答えなさい。(20点 × 3 = 60点) ▶ p134 例2

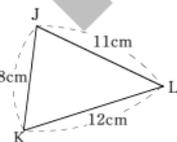
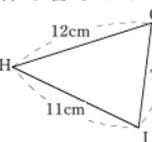
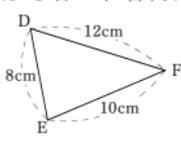
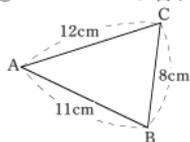
① $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



② $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



③ $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

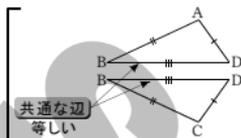


3 合同な三角形と合同条件

例1 合同な三角形と合同条件(1)

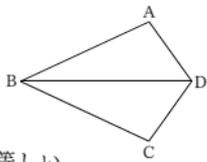
次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AB = CB$ ， $AD = CD$ のとき $\triangle ABD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

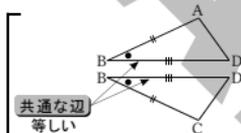


$$\begin{aligned} AB &= CB \\ AD &= CD \\ BD &= BD \end{aligned}$$

答 $\triangle CBD$ ，3組の辺がそれぞれ等しい

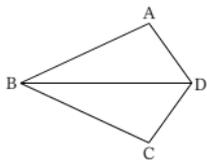


- ② 右の図で、 $AB = CB$ ， $\angle ABD = \angle CBD$ のとき $\triangle ABD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

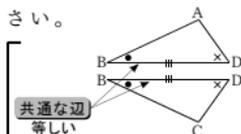


$$\begin{aligned} AB &= CB \\ \angle ABD &= \angle CBD \\ BD &= BD \end{aligned}$$

答 $\triangle CBD$ ，2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

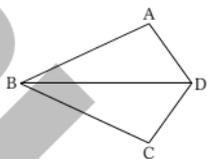


- ③ 右の図で、 $\angle ABD = \angle CBD$ ， $\angle ADB = \angle CDB$ のとき $\triangle ABD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



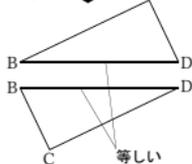
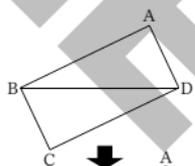
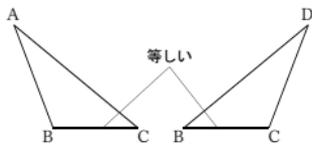
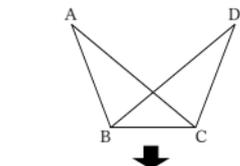
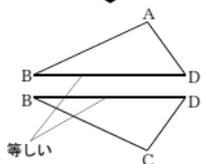
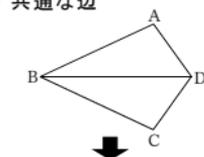
$$\begin{aligned} \angle ABD &= \angle CBD \\ \angle ADB &= \angle CDB \\ BD &= BD \end{aligned}$$

答 $\triangle CBD$ ，1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい



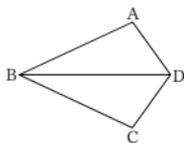
ポイント

◆ 共通な辺

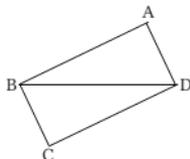


練習1 次の各問いに答えなさい。

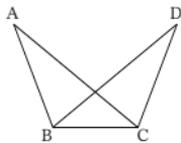
- ① 右の図で、 $AD = CD$ ， $\angle ADB = \angle CDB$ のとき
 $\triangle ABD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



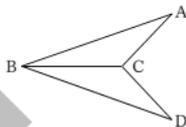
- ② 右の図で、 $AB = CD$ ， $AD = CB$ のとき $\triangle ABD$
と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



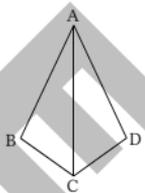
- ③ 右の図で、 $\angle ABC = \angle DCB$ ， $\angle ACB = \angle DBC$
のとき $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書
きなさい。



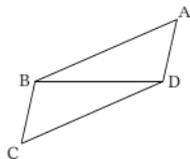
- ④ 右の図で、 $DB = AB$ ， $DC = AC$ のとき $\triangle BCD$
と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



- ⑤ 右の図で、 $\angle DAC = \angle BAC$ ， $\angle ACD = \angle ACB$
のとき $\triangle ACD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書
きなさい。



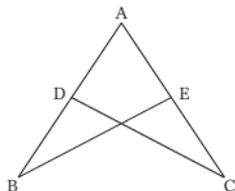
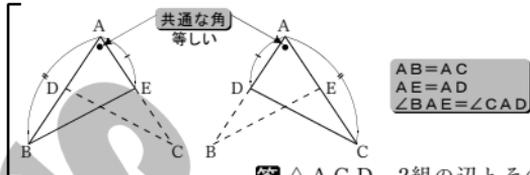
- ⑥ 右の図で、 $BC = DA$ ， $\angle CBD = \angle ADB$ のとき
 $\triangle BCD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



例2 合同な三角形と合同条件(2)

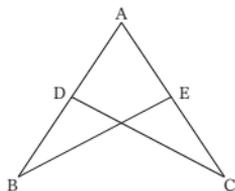
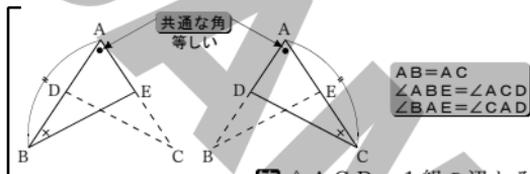
次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AB = AC$ 、 $AE = AD$ のとき $\triangle ABE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



答 $\triangle ACD$ 、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

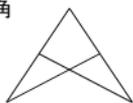
- ② 右の図で、 $AB = AC$ 、 $\angle ABE = \angle ACD$ のとき $\triangle ABE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



答 $\triangle ACD$ 、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

ポイント

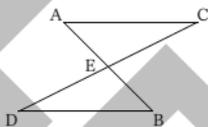
◆ 共通な角



例3 合同な三角形と合同条件(3)

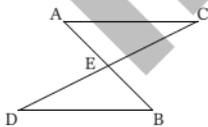
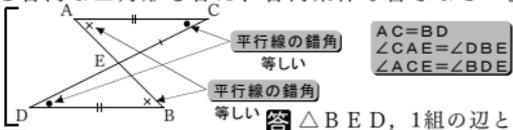
次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AE = BE$ 、 $CE = DE$ のとき $\triangle AEC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



答 $\triangle BED$ 、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

- ② 右の図で、 $AC \parallel BD$ 、 $AC = BD$ のとき $\triangle AEC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



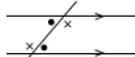
答 $\triangle BED$ 、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

ポイント

◆ 対頂角は等しい

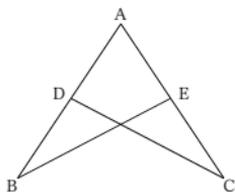


◆ 平行線の錯角は等しい

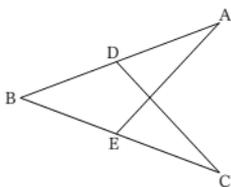


練習2 次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AD = AE$ ， $\angle ADC = \angle AEB$ のとき $\triangle ACD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

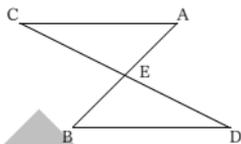


- ② 右の図で、 $BA = BC$ ， $BE = BD$ のとき $\triangle ABE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

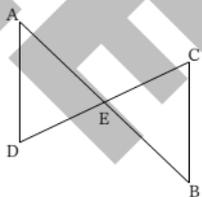


練習3 次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AE = BE$ ， $\angle CAE = \angle DBE$ のとき $\triangle ACE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



- ② 右の図で、 $AD \parallel BC$ ， $AE = BE$ のとき $\triangle ADE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

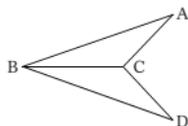


確認問題 5-3-A

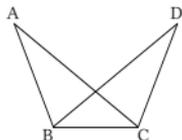
点

1 次の各問いに答えなさい。(16点×2=32点)▶p138 例1

- ① 右の図で、 $\angle ABC = \angle DBC$ ， $\angle ACB = \angle DCB$ のとき $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

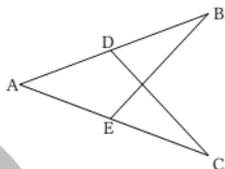


- ② 右の図で、 $AB = DC$ ， $\angle ABC = \angle DCB$ のとき $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

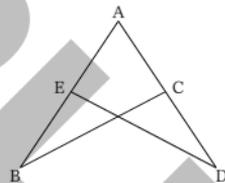


2 次の各問いに答えなさい。(16点×2=32点)▶p140 例2

- ① 右の図で、 $AE = AD$ ， $AB = AC$ のとき $\triangle ABE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

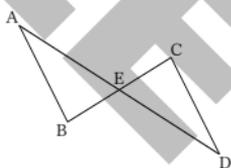


- ② 右の図で、 $AB = AD$ ， $\angle ABC = \angle ADE$ のとき $\triangle ABC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

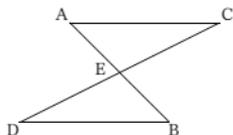


3 次の各問いに答えなさい。(18点×2=36点)▶p140 例3

- ① 右の図で、 $AB \parallel CD$ ， $AB = DC$ のとき $\triangle ABE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



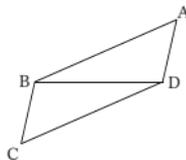
- ② 右の図で、 $CE = DE$ ， $AE = BE$ のとき $\triangle AEC$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



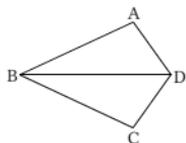
確認問題 5-3-B

1 次の各問いに答えなさい。(16点×2=32点)▶p138 例1

- ① 右の図で、 $AD = CB$ ， $AB = CD$ のとき $\triangle ABD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

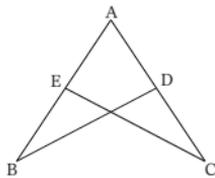


- ② 右の図で、 $AD = CD$ ， $\angle ADB = \angle CDB$ のとき $\triangle ABD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

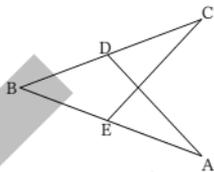


2 次の各問いに答えなさい。(16点×2=32点)▶p140 例2

- ① 右の図で、 $AD = AE$ ， $AB = AC$ のとき $\triangle ABD$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

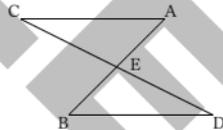


- ② 右の図で、 $BA = BC$ ， $\angle BAD = \angle BCE$ のとき $\triangle DBA$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。

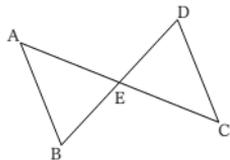


3 次の各問いに答えなさい。(18点×2=36点)▶p140 例3

- ① 右の図で、 $CE = DE$ ， $\angle ACE = \angle BDE$ のとき $\triangle ACE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



- ② 右の図で、 $AB \parallel DC$ ， $AB = CD$ のとき $\triangle ABE$ と合同な三角形を答え、合同条件も書きなさい。



合同な三角形の証明 (1)

例1 仮定と結論

次のことがらの仮定と結論を答えなさい。

- ① $AB = CB$, $\angle ABD = \angle CBD$ ならば $AD = CD$ である。

答 仮定… $AB = CB$, $\angle ABD = \angle CBD$ 結論… $AD = CD$

ポイント

仮定と結論

- ◆ $\circ\circ\circ\circ$ ならば $\triangle\triangle\triangle$ である。

仮定

結論

例2 三角形の合同の証明(1)

次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AB = DB$, $AC = DC$ ならば $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$ であることを証明しなさい。

(仮定) $AB = DB$, $AC = DC$

(結論) $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$

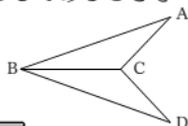
$\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ において

$\triangle ABC$ の辺 $AB = DB$ (仮定) $\triangle DBC$ の辺
 $AC = DC$ (仮定) 理由を書く
 $BC = BC$ (共通)

$\triangle ABC \equiv \triangle DBC$ において

3組の辺がそれぞれ等しい 合同条件を書く

よって $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$ である 最後に結論を書く



- ② 右の図で、 $AC = DC$, $\angle ACB = \angle DCB$ ならば $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$ であることを証明しなさい。

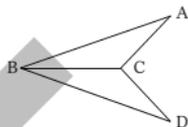
(仮定) $AC = DC$, $\angle ACB = \angle DCB$

(結論) $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$

$\triangle ABC$ の辺や角 $\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ において $\triangle DBC$ の辺や角
 $AC = DC$ (仮定)
 $\angle ACB = \angle DCB$ (仮定) 理由を書く
 $BC = BC$ (共通)

2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい 合同条件を書く

よって $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$ である 最後に結論を書く



- ③ 右の図で、 $\angle ABC = \angle DBC$, $\angle ACB = \angle DCB$ ならば $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$ であることを証明しなさい。

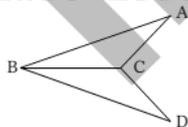
(仮定) $\angle ABC = \angle DBC$, $\angle ACB = \angle DCB$

(結論) $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$

$\triangle ABC$ の辺や角 $\triangle ABC$ と $\triangle DBC$ において $\triangle DBC$ の辺や角
 $\angle ABC = \angle DBC$ (仮定)
 $\angle ACB = \angle DCB$ (仮定) 理由を書く
 $BC = BC$ (共通)

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい 合同条件を書く

よって $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$ である 最後に結論を書く



練習1 次のことがらの仮定と結論を答えなさい。

- ① $x + y = 0$ ならば $x = 5$, $y = -5$ である。

練習2 次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $\angle CAB = \angle DAB$, $\angle CBA = \angle DBA$ ならば $\triangle CAB \equiv \triangle DAB$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

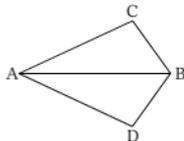
(証明) $\triangle CAB$ と \triangle _____において

$\angle CAB = \angle$ _____ (仮定)

\angle _____ = $\angle DBA$ (仮定)

$AB =$ _____ (共通)

よって $\triangle CAB \equiv \triangle$ _____である



- ② 右の図で、 $AB = CB$, $\angle ABD = \angle CBD$ ならば $\triangle ABD \equiv \triangle CBD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

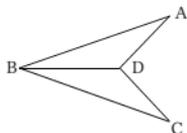
(証明) \triangle _____と $\triangle CBD$ において

$AB =$ _____ (仮定)

\angle _____ = $\angle CBD$ (仮定)

_____ = BD (共通)

よって \triangle _____ $\equiv \triangle CBD$ である



- ③ 右の図で、 $AB = AC$, $BD = CD$ ならば $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

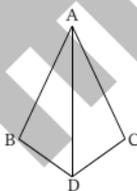
(証明) \triangle _____と $\triangle ACD$ において

$AB =$ _____ (仮定)

$BD =$ _____ (仮定)

_____ = AD (共通)

よって \triangle _____ $\equiv \triangle ACD$ である



1 次のことがらの仮定と結論を答えなさい。(10点×1=10点)▶p144例1

- ① $x > 0$, $y > 0$ ならば $xy > 0$ である。

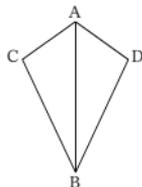
2 次の各問いに答えなさい。(30点×3=90点)▶p144例2

- ① 右の図で、 $AC = AD$, $\angle CAB = \angle DAB$ ならば $\triangle ACB \equiv \triangle ADB$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

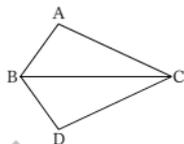


- ② 右の図で、 $AB = DB$, $AC = DC$ ならば $\triangle ABC \equiv \triangle DBC$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

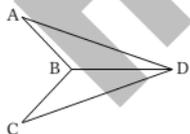


- ③ 右の図で、 $\angle ABD = \angle CBD$, $\angle ADB = \angle CDB$ ならば $\triangle ABD \equiv \triangle CBD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



確認問題 5-4-B

1 次のことがらの仮定と結論を答えなさい。(10点×1=10点)▶p144 例1

- ① $x < 0, y < 0$ ならば $x + y < 0$ である。

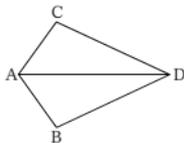
2 次の各問いに答えなさい。(30点×3=90点)▶p144 例2

- ① 右の図で、 $CA = BA$ 、 $CD = BD$ ならば $\triangle CAD \equiv \triangle BAD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) _____

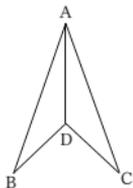


- ② 右の図で、 $\angle BAD = \angle CAD$ 、 $\angle ADB = \angle ADC$ ならば $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) _____

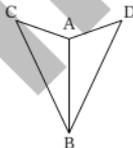


- ③ 右の図で、 $\angle CAB = \angle DAB$ 、 $CA = DA$ ならば $\triangle ACB \equiv \triangle ADB$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) _____



合同な三角形の証明 (2)

例1 三角形の合同の証明(2)

次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AC = DB$ 、 $\angle ACB = \angle DBC$ ならば $\triangle ABC \equiv \triangle DCB$ であることを証明しなさい。

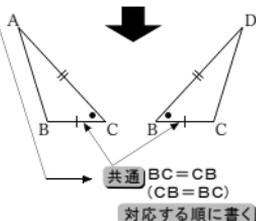
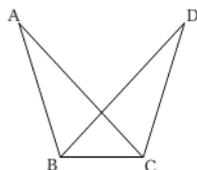
(仮定) $AC = DB$ 、 $\angle ACB = \angle DBC$

(結論) $\triangle ABC \equiv \triangle DCB$

$\triangle ABC$ の辺や角 $\triangle ABC$ と $\triangle DCB$ において $\triangle DCB$ の辺や角

$AC = DB$ (仮定)
 $\angle ACB = \angle DBC$ (仮定)
 $BC = CB$ (共通) } 理由を書く

合同条件を書く 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
 最後に結論を書く よって $\triangle ABC \equiv \triangle DCB$ である



- ② 右の図で、 $AB = AC$ 、 $\angle ABD = \angle ACE$ ならば $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ であることを証明しなさい。

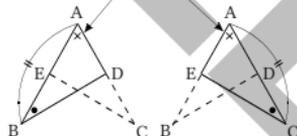
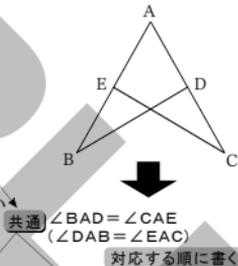
(仮定) $AB = AC$ 、 $\angle ABD = \angle ACE$

(結論) $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$

$\triangle ABD$ の辺や角 $\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において $\triangle ACE$ の辺や角

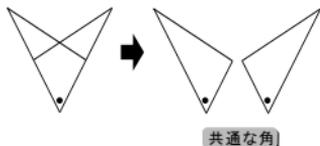
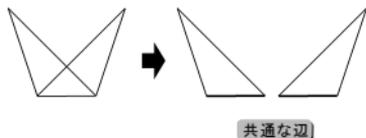
$AB = AC$ (仮定)
 $\angle ABD = \angle ACE$ (仮定)
 $\angle BAD = \angle CAE$ (共通) } 理由を書く

合同条件を書く 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい
 最後に結論を書く よって $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ である



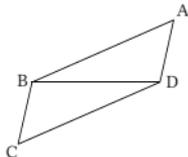
ポイント

◆ 共通な辺や角



練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AB = CD$ 、 $AD = CB$ ならば $\triangle ABD \equiv \triangle CDB$ であることを証明しなさい。



(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle ABD$ と \triangle _____において

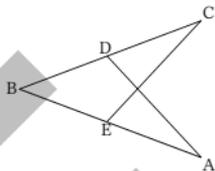
$AB =$ _____ (仮定)

_____ $= CB$ (仮定)

$BD =$ _____ (共通)

_____ によって $\triangle ABD \equiv \triangle$ _____ である

- ② 右の図で、 $BC = BA$ 、 $\angle BCE = \angle BAD$ ならば $\triangle CBE \equiv \triangle ABD$ であることを証明しなさい。



(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle CBE$ と \triangle _____において

_____ $= BA$ (仮定)

$\angle BCE = \angle$ _____ (仮定)

$\angle CBE = \angle$ _____ (共通)

_____ によって $\triangle CBE \equiv \triangle$ _____ である

確認問題 5-5-A

点

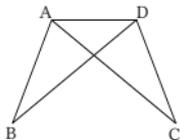
I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p148例1

- ① 右の図で、 $\angle BAD = \angle CDA$, $\angle ADB = \angle DAC$ ならば $\triangle DAB \equiv \triangle ADC$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

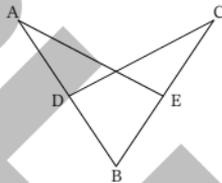


- ② 右の図で、 $AB = CB$, $BE = BD$ ならば $\triangle ABE \equiv \triangle CBD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



確認問題 5-5-B

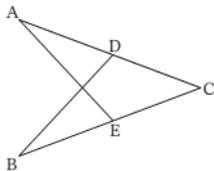
I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p148例1

- ① 右の図で、 $CE = CD$ ， $\angle AEC = \angle BDC$ ならば $\triangle AEC \equiv \triangle BDC$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) _____

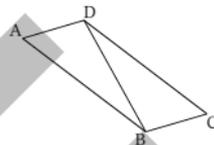


- ② 右の図で、 $AB = CD$ ， $AD = CB$ ならば $\triangle ABD \equiv \triangle CDB$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) _____



合同な三角形の証明 (3)

例1 三角形の合同の証明(3)

次の各問いに答えなさい。

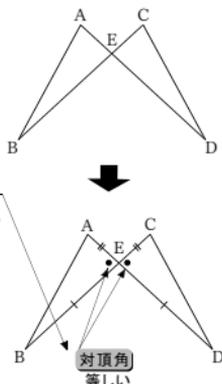
- ① 右の図で、 $AE = CE$ 、 $BE = DE$ ならば $\triangle ABE \equiv \triangle CDE$ であることを証明しなさい。

(仮定) $AE = CE$, $BE = DE$

(結論) $\triangle ABE \equiv \triangle CDE$

$\triangle ABE$ の辺や角 $\triangle ABE$ と $\triangle CDE$ において $\triangle CDE$ の辺や角

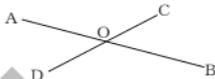
$AE = CE$ (仮定) } 理由を書く
 $BE = DE$ (仮定) }
 $\angle AEB = \angle CED$ (対頂角) }
 合同条件を書く 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
 最後に結論を書く よって $\triangle ABE \equiv \triangle CDE$ である



ポイント

- ◆ 対頂角は等しい

$$\angle AOD = \angle BOC, \angle AOC = \angle BOD$$



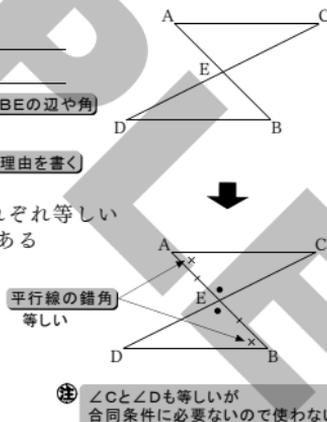
- ② 右の図で、 $AC \parallel BD$ 、 $AE = BE$ ならば $\triangle CAE \equiv \triangle DBE$ であることを証明しなさい。

(仮定) $AC \parallel BD$, $AE = BE$

(結論) $\triangle CAE \equiv \triangle DBE$

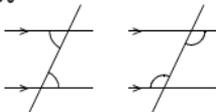
$\triangle CAE$ の辺や角 $\triangle CAE$ と $\triangle DBE$ において $\triangle DBE$ の辺や角

$AE = BE$ (仮定) } 理由を書く
 $\angle AEC = \angle BED$ (対頂角) }
 $\angle CAE = \angle DBE$ (平行線の錯角) }
 合同条件を書く 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい
 最後に結論を書く よって $\triangle CAE \equiv \triangle DBE$ である



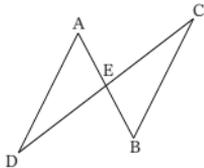
ポイント

- ◆ 平行線では錯角は等しい



練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $DE = CE$ 、 $\angle ADE = \angle BCE$ ならば $\triangle ADE \equiv \triangle BCE$ であることを証明しなさい。



(仮定) _____

(結論) _____

(証明) \triangle _____ と $\triangle BCE$ において

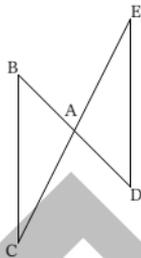
_____ = CE (仮定)

$\angle ADE = \angle$ _____ (仮定)

$\angle AED = \angle$ _____ (_____)

よって \triangle _____ $\equiv \triangle BCE$ である

- ② 右の図で、 $BC \parallel DE$ 、 $BC = DE$ ならば $\triangle ABC \equiv \triangle ADE$ であることを証明しなさい。



(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle ABC$ と \triangle _____ において

$BC =$ _____ (仮定)

$\angle ABC = \angle$ _____ (平行線の錯角)

\angle _____ = $\angle AED$ (_____)

よって $\triangle ABC \equiv \triangle$ _____ である

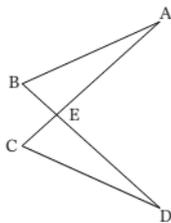
I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p152例1

- ① 右の図で、 $BE = CE$, $AE = DE$ ならば $\triangle ABE \equiv \triangle DCE$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

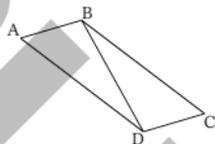


- ② 右の図で、 $AB \parallel CD$, $AB = CD$ ならば $\triangle BAD \equiv \triangle DCB$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



確認問題 5-6-B

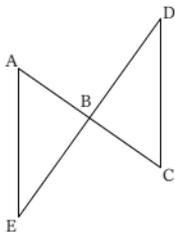
I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p152例1

- ① 右の図で、 $AB = CB$ ， $\angle BAE = \angle BCD$ ならば $\triangle BAE \equiv \triangle BCD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) _____

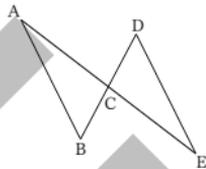


- ② 右の図で、 $AB \parallel ED$ ， $AC = EC$ ならば $\triangle ABC \equiv \triangle EDC$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) _____



7 三角形の合同の利用

例1 三角形の合同の利用

次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AE=DE$ 、 $BE=CE$ ならば $AB=DC$ であることを証明しなさい。

(仮定) $AE=DE$ 、 $BE=CE$

(結論) $AB=DC$

$\triangle ABE$ と $\triangle DCE$ において

$AE=DE$ (仮定)

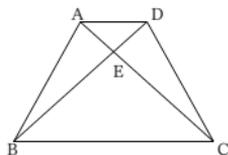
$BE=CE$ (仮定)

$\angle AEB=\angle DEC$ (対頂角)

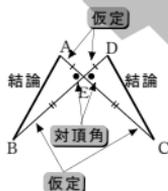
2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって $\triangle ABE\equiv\triangle DCE$

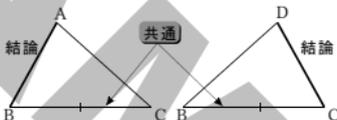
よって $AB=DC$ である



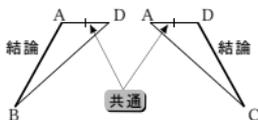
仮定と結論からどの三角形の合同を証明するか決める



×証明できない



×証明できない



- ② 右の図で、 $AC=DB$ 、 $\angle ACB=\angle DBC$ ならば $AB=DC$ であることを証明しなさい。

(仮定) $AC=DB$ 、 $\angle ACB=\angle DBC$

(結論) $AB=DC$

$\triangle ABC$ と $\triangle DCB$ において

$AC=DB$ (仮定)

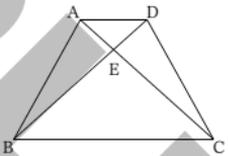
$\angle ACB=\angle DBC$ (仮定)

$BC=CB$ (共通)

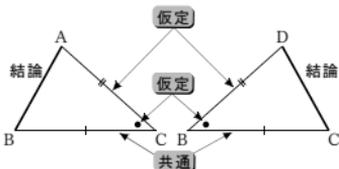
2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって $\triangle ABC\equiv\triangle DCB$

よって $AB=DC$ である



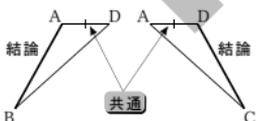
仮定と結論からどの三角形の合同を証明するか決める



×証明できない



×証明できない



ポイント

- ◆ 仮定と結論からどの三角形の合同を証明するか決める

練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $AE = CE$ 、 $BE = DE$ ならば $AB = CD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle ABE$ と \triangle _____ において

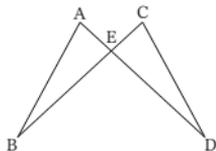
_____ = CE (仮定)

$BE =$ _____ (仮定)

$\angle AEB = \angle$ _____ (_____)

よって $\triangle ABE \equiv \triangle$ _____

よって _____ = _____ である



- ② 右の図で、 $BD = CE$ 、 $\angle DBC = \angle ECB$ ならば $\angle BDC = \angle CEB$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) \triangle _____ と $\triangle ECB$ において

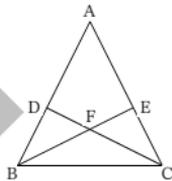
$BD =$ _____ (仮定)

\angle _____ = $\angle ECB$ (仮定)

$BC =$ _____ (_____)

よって \triangle _____ $\equiv \triangle ECB$

よって \angle _____ = \angle _____ である



確認問題 5-7-A

点

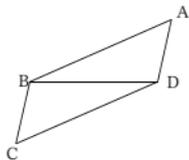
I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p156例1

- ① 右の図で、
- $AB=CD$
- ，
- $AD=CB$
- ならば
- $AD\parallel CB$
- であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

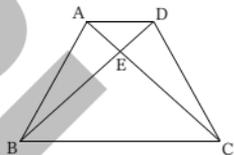


- ② 右の図で、
- $AB=DC$
- ，
- $\angle BAD=\angle CDA$
- ならば
- $DB=AC$
- であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



確認問題 5-7-B

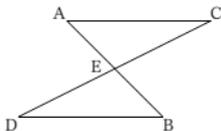
I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p156例1

- ① 右の図で、 $AE = BE$ 、 $\angle CAE = \angle DBE$ ならば $AC = BD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

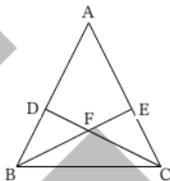


- ② 右の図で、 $AB = AC$ 、 $AE = AD$ ならば $\angle ABE = \angle ACD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



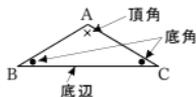
二等辺三角形

例1 二等辺三角形の定義と定理

次の各問いに答えなさい。

- ① 二等辺三角形の定義を書きなさい。

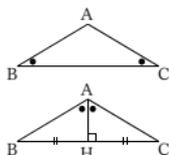
答 2辺が等しい三角形 → $AB=AC$



- ② 二等辺三角形の定理(性質)を2つ書きなさい。

答 二等辺三角形の2つの底角は等しい
二等辺三角形の頂角の2等分線は底辺を垂直に2等分する

→ $\angle B = \angle C$
 $AH \perp BC, BH = CH$



ポイント

二等辺三角形の定義

- ◆ 2辺が等しい三角形

定義とは用語や記号などの意味をはっきりと述べたもののこと

※p204~p208参照

二等辺三角形の定理(性質)

- ◆ 二等辺三角形の2つの底角は等しい。

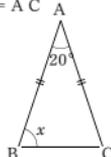
- ◆ 二等辺三角形の頂角の2等分線は底辺を垂直に2等分する。

定理とは証明されたことがらのうちで、よく使われるもののこと

例2 二等辺三角形の定理を使って角度を求める

$\angle x$ の大きさを求めなさい。

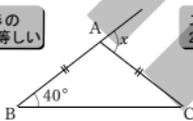
- ① $AB=AC$



二等辺三角形の
2つの底角は等しい

$$\begin{cases} \angle B = \angle C \text{ より} \\ x = (180^\circ - 20^\circ) \div 2 \\ = 80^\circ \end{cases} \quad \text{答 } 80^\circ$$

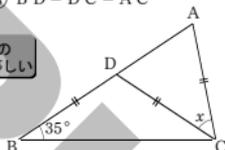
- ② $AB=AC$



二等辺三角形の
2つの底角は等しい

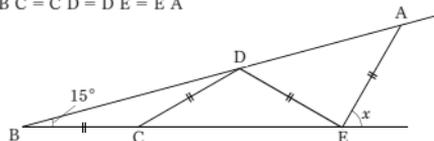
$$\begin{cases} \angle B = \angle C = 40^\circ \\ x = \angle B + \angle C \text{ より} \\ x = 40^\circ + 40^\circ \\ = 80^\circ \end{cases} \quad \text{答 } 80^\circ$$

- ③ $BD=DC=AC$



$$\begin{cases} \angle B = \angle DCB = 35^\circ \\ \angle ADC = 35^\circ + 35^\circ = 70^\circ \\ \angle ADC = \angle A \text{ より} \\ x = 180^\circ - 70^\circ \times 2 \\ = 40^\circ \end{cases} \quad \text{答 } 40^\circ$$

- ④ $BC=CD=DE=EA$



二等辺三角形の
2つの底角は等しい

$$\begin{cases} \angle B = \angle CDB = 15^\circ \\ \angle DCE = 15^\circ + 15^\circ = 30^\circ \\ \angle DCE = \angle DEC = 30^\circ \\ \angle EDA = \angle B + \angle DEC \\ = 15^\circ + 30^\circ = 45^\circ \\ \angle EDA = \angle EAD = 45^\circ \\ x = \angle B + \angle EAD \\ = 15^\circ + 45^\circ = 60^\circ \end{cases} \quad \text{答 } 60^\circ$$

練習1 二等辺三角形の定義と定理を3回書きなさい。

① ◆定義 _____

◆定理 _____

② ◆定義 _____

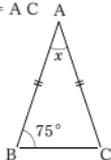
◆定理 _____

③ ◆定義 _____

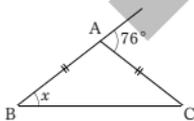
◆定理 _____

練習2 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

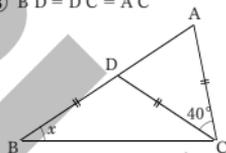
① $AB = AC$



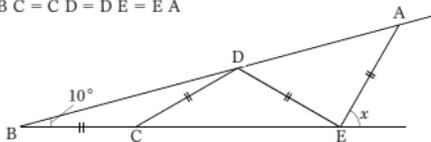
② $AB = AC$



③ $BD = DC = AC$



④ $BC = CD = DE = EA$



1 二等辺三角形の定義と定理を3回書きなさい。(12点 × 3 = 36点) ▶ p160 例1

① ◆定義

◆定理

② ◆定義

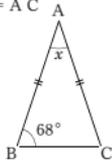
◆定理

③ ◆定義

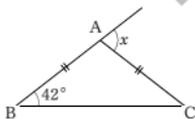
◆定理

2 $\angle x$ の大きさを求めなさい。(16点 × 4 = 64点) ▶ p160 例2

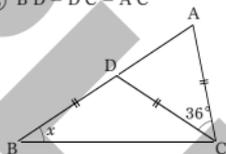
① $AB = AC$



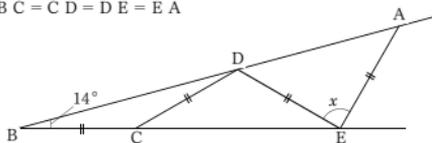
② $AB = AC$



③ $BD = DC = AC$



④ $BC = CD = DE = EA$



確認問題 5-8-B

I 二等辺三角形の定義と定理を3回書きなさい。(12点×3=36点) ▶ p160 例1

① ◆定義

◆定理

② ◆定義

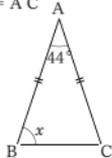
◆定理

③ ◆定義

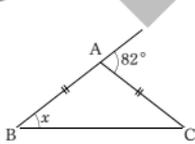
◆定理

2 $\angle x$ の大きさを求めなさい。(16点×4=64点) ▶ p160 例2

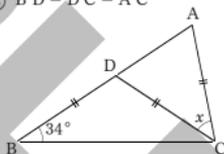
① $AB=AC$



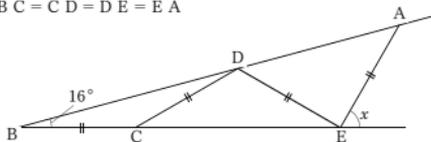
② $AB=AC$



③ $BD=DC=AC$



④ $BC=CD=DE=EA$



9 二等辺三角形と三角形の合同

例1 二等辺三角形の性質を使う証明

次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。
 $\angle ABE = \angle ACD$ ならば $AE = AD$ であることを証明しなさい。

(仮定) $\angle ABE = \angle ACD$, $AB = AC$ (定義) \rightarrow 仮定となる

(結論) $AE = AD$

$\triangle ABE$ と $\triangle ACD$ において

$AB = AC$ (仮定)

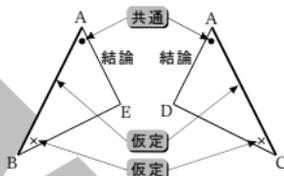
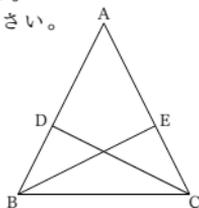
$\angle ABE = \angle ACD$ (仮定)

$\angle BAE = \angle CAD$ (共通)

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

よって $\triangle ABE \cong \triangle ACD$

よって $AE = AD$ である



ポイント

- ◆ 定義は仮定になる
- ◆ 定理は仮定にならない

- ② 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。
 $DB = EC$ ならば $\angle BDC = \angle CEB$ であることを証明しなさい。

(仮定) $DB = EC$, $AB = AC$ (証明で使わない仮定もある)

(結論) $\angle BDC = \angle CEB$

$\triangle DBC$ と $\triangle ECB$ において

$DB = EC$ (仮定)

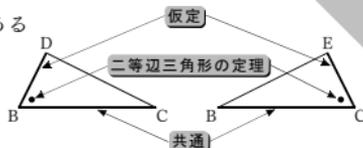
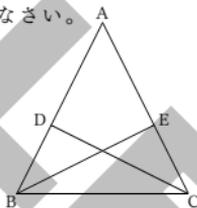
$\angle DBC = \angle ECB$ (二等辺三角形の定理)

$BC = CB$ (共通) (定理) \rightarrow 仮定とならない

2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって $\triangle DBC \cong \triangle ECB$

よって $\angle BDC = \angle CEB$ である

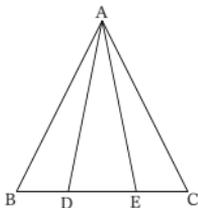


ポイント

- ◆ 定義は仮定になる
- ◆ 定理は仮定にならない
- ◆ 証明で使わない仮定もある

練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、 $\triangle ABC$ はBCを底辺とする二等辺三角形である。
 $BD = CE$ ならば $AD = AE$ であることを証明しなさい。



(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle ABD$ と \triangle _____ において

$$AB = \text{_____} (\text{_____})$$

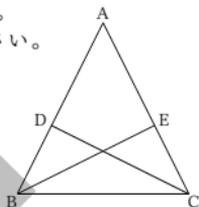
$$BD = \text{_____} (\text{仮定})$$

$$\angle ABD = \angle \text{_____} (\text{_____})$$

よって $\triangle ABD \equiv \triangle$ _____

よって _____ = _____ である

- ② 右の図で、 $\triangle ABC$ はBCを底辺とする二等辺三角形である。
 $AE = AD$ ならば $\angle ABE = \angle ACD$ であることを証明しなさい。



(仮定) _____

(結論) _____

(証明) \triangle _____ と $\triangle ACD$ において

$$\text{_____} = AC (\text{_____})$$

$$AE = \text{_____} (\text{仮定})$$

$$\angle BAE = \angle \text{_____} (\text{_____})$$

よって \triangle _____ $\equiv \triangle ACD$

よって \angle _____ = \angle _____ である

確認問題 5-9-A

点

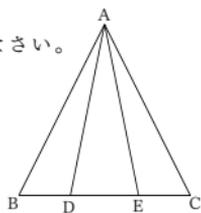
I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p164 例1

- ① 右の図で、 $\triangle ABC$ はBCを底辺とする二等辺三角形である。
 $\angle BAD = \angle CAE$ ならば $BD = CE$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

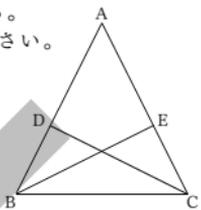


- ② 右の図で、 $\triangle ABC$ はBCを底辺とする二等辺三角形である。
 $\angle DCB = \angle ECB$ ならば $BD = CE$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



確認問題 5-9-B

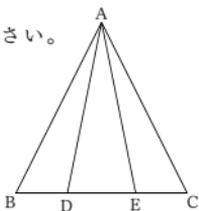
I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p164 例1

- ① 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。
 $BD = CE$ ならば $\angle ADB = \angle AEC$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

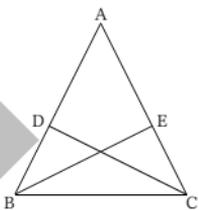


- ② 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。
 $BD = CE$ ならば $DC = EB$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



例1 正三角形の定義と定理

次の各問いに答えなさい。

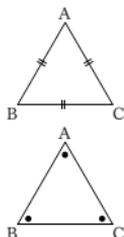
- ① 正三角形の定義を書きなさい。

答 3辺が等しい三角形 $\rightarrow AB=BC=CA$

- ② 正三角形の定理(性質)を書きなさい。

答 正三角形の3つの内角は等しい $\rightarrow \angle A = \angle B = \angle C = 60^\circ$

Ⓢ 二等辺三角形の性質もすべて持っている



ポイント

正三角形の定義

定義とは用語や記号などの意味をはっきりと述べたもののこと

◆ 3辺が等しい三角形 ※p204~p208参照

正三角形の定理(性質)

定理とは証明されたことがらのうちで、よく使われるもののこと

◆ 正三角形の3つの内角は等しい。

Ⓢ 二等辺三角形の性質もすべて持っている

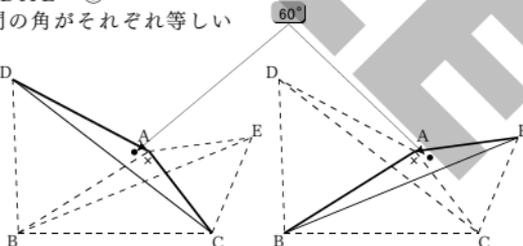
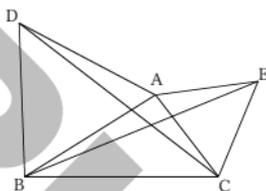
例2 正三角形の性質を使った証明

次の各問いに答えなさい。

- ① 右の図で、
- $\triangle ADB$
- 、
- $\triangle ACE$
- はどちらも正三角形である。

このとき $DC = BE$ であることを証明しなさい。(仮定) $AB = BD = DA$, $AC = CE = EA$ (結論) $DC = BE$ $\triangle ADC$ と $\triangle ABE$ において $AD = AB$ (仮定) …① $AC = AE$ (仮定) …② $\angle DAB = \angle EAC = 60^\circ$ (正三角形の定理) …③ $\angle DAC = \angle BAC + \angle DAB$ …④ $\angle BAE = \angle BAC + \angle EAC$ …⑤③④⑤より $\angle DAC = \angle BAE$ …⑥

①②⑥より2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって $\triangle ADC \cong \triangle ABE$ よって $DC = BE$ である

ポイント

◆ $B = C$ ならば $A + B = A + C$ ◆ $B = C$ ならば $A - B = A - C$ ◆ $A = B$, $B = C$ ならば $A = C$

証明の中で使う

練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 正三角形の定義と定理を2回書きなさい。

◆定義

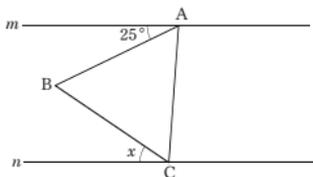
◆定理

◆定義

◆定理

- ② $\angle x$ の大きさを求めなさい。

$\triangle ABC$ は正三角形
 $m \parallel n$



練習2 次の問いに答えなさい。

- ① 正三角形 ABC の辺 BC 上に点 D をとり、 AD を1辺とする正三角形 ADE をつくる。 CE を結ぶと $BD = CE$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle ABD$ と \triangle _____ において

$$AB = \text{_____} \text{ (仮定) } \cdots \text{①}$$

$$AD = \text{_____} \text{ (仮定) } \cdots \text{②}$$

$$\angle BAC = \angle \text{_____} = 60^\circ \text{ (正三角形の定理) } \cdots \text{③}$$

$$\angle BAD = \angle BAC - \angle DAC \cdots \text{④}$$

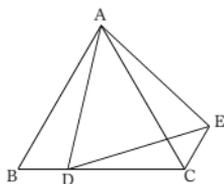
$$\angle CAE = \angle DAE - \angle \text{_____} \cdots \text{⑤}$$

$$\text{③④⑤より} \angle BAD = \angle CAE \cdots \text{⑥}$$

①②⑥より _____

よって $\triangle ABD \cong \triangle$ _____

よって _____ = _____ である



1 次の各問いに答えなさい。(25点×2=50点)▶p168例1

① 正三角形の定義と定理を2回書きなさい。

◆定義 _____

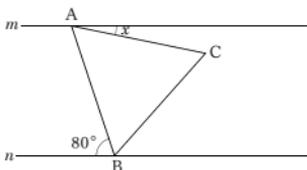
◆定理 _____

◆定義 _____

◆定理 _____

② $\angle x$ の大きさを求めなさい。

$\triangle ABC$ は正三角形
 $m \parallel n$



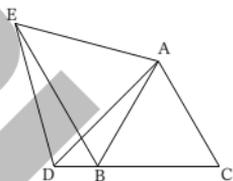
2 次の問いに答えなさい。(50点×1=50点)▶p168例2

① 正三角形 ABC の辺 CB の延長上に点 D をとり、 AD を1辺とする正三角形 ADE をつくる。 EB を結ぶと $EB = DC$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



確認問題 5-10-B

1 次の各問いに答えなさい。(25点×2=50点)▶p168例1

- ① 正三角形の定義と定理を2回書きなさい。

◆定義

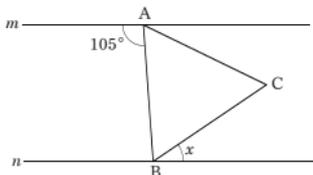
◆定理

◆定義

◆定理

- ② $\angle x$ の大きさを求めなさい。

$\triangle ABC$ は正三角形
 $m \parallel n$



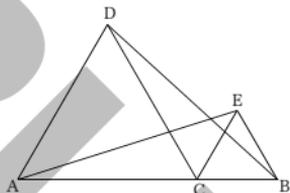
2 次の問いに答えなさい。(50点×1=50点)▶p168例2

- ① 線分 AB 上に点 C をとる。 AC 、 BC をそれぞれ1辺とする正三角形 ACD と BCE をつくる。 AE 、 DB を結ぶと $AE = DB$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



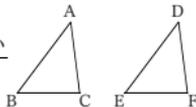
例1 逆

次のことがらの逆を書きなさい。また、それは正しいといえますか。

- ① $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ ならば $\angle A = \angle D$ である。

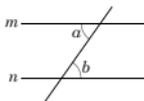
答 $\angle A = \angle D$ ならば $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ である 正しくない

逆は正しいとは限らない



- ② $m \parallel n$ ならば $\angle a = \angle b$ である。

答 $\angle a = \angle b$ ならば $m \parallel n$ である 正しい



ポイント

- ◆ あることがらの仮定と結論を入れかえたものを逆という
- ◆ 逆は正しいとは限らない

例2 二等辺三角形になる条件

次の各問いに答えなさい。

- ① 二等辺三角形になる条件を2つ書きなさい。

答 2つの辺が等しい, 2つの角が等しい

✕正しくない

底角が等しい

- ② 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。 $BD = CE$ ならば $\triangle ADE$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

(仮定) $AB = AC, BD = CE$

(結論) $\triangle ADE$ は二等辺三角形

$\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において

$AB = AC$ (仮定)

$BD = CE$ (仮定)

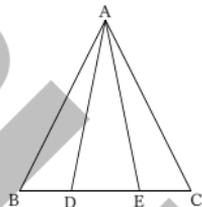
$\angle ABD = \angle ACE$ (二等辺三角形の定理)

2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって $\triangle ABD \cong \triangle ACE$

よって $AD = AE$

2つの辺が等しいので $\triangle ADE$ は二等辺三角形である



$\triangle ADE$ が二等辺三角形である

↓
 $AD = AE$ か $\angle ADE = \angle AED$
のどちらかを証明する

ポイント

二等辺三角形になる条件 ※p204~p208参照

- ◆ 2つの辺が等しい
 - ◆ 2つの角が等しい
- この2つのうちどちらかにあてはまれば二等辺三角形である

練習1 次のことがらの逆を書きなさい。また、それは正しいといえますか。

① $\triangle ABC$ で、 $AB = AC$ ならば $\angle B = \angle C$ である。

② $x = 2$, $y = 6$ ならば $x + y = 8$ である。

練習2 次の各問いに答えなさい。

① 二等辺三角形になる条件を2つ書きなさい。

◆

◆

② 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。

$BD = CE$ ならば $\triangle FBC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle DBC$ と \triangle _____ において

$BD =$ _____ (仮定)

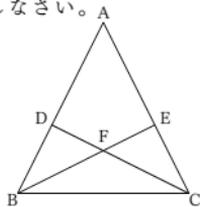
$\angle DBC = \angle$ _____ (_____)

$BC =$ _____ (_____)

よって $\triangle DBC \equiv \triangle$ _____

よって $\angle DCB = \angle$ _____

_____ が等しいので $\triangle FBC$ は二等辺三角形である

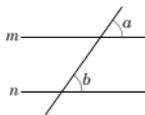


確認問題 5-11-A

点

1 次のことがらの逆を書きなさい。また、それは正しいといえますか。

(20点×2=40点)▶▶p172 例1

① $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ ならば $BC = EF$ である。② $\angle a = \angle b$ ならば $m \parallel n$ である。

2 次の各問いに答えなさい。(30点×2=60点)▶▶p172 例2

① 二等辺三角形になる条件を2つ書きなさい。

◆ _____

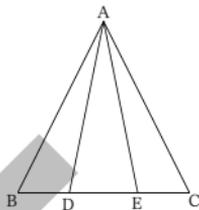
◆ _____

② 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。
 $\angle BAD = \angle CAE$ ならば $\triangle ADE$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



確認問題 5-11-B

1 次のことがらの逆を書きなさい。また、それは正しいといえますか。

(20点×2=40点)▶p172 例1

① $\triangle ABC$ で、 $\angle B = \angle C$ ならば $AB = AC$ である。

② $x = -5$, $y = -6$ ならば $x + y = -11$ である。

2 次の各問いに答えなさい。(30点×2=60点)▶p172 例2

① 二等辺三角形になる条件を2つ書きなさい。

◆ _____

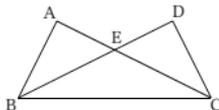
◆ _____

② 右の図で、 $AE = DE$, $\angle BAE = \angle CDE$ ならば $\triangle EBC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)



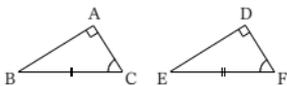
例1 直角三角形の合同条件

次の各問いに答えなさい。

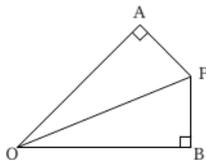
① 直角三角形の合同条件を書きなさい。

◆ 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

◆ 斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい

② 右の図で、 $\angle AOP = \angle BOP$, $\angle PAO = \angle PBO = 90^\circ$ ならば $PA = PB$ であることを証明しなさい。(仮定) $\angle AOP = \angle BOP$, $\angle PAO = \angle PBO = 90^\circ$ (結論) $PA = PB$ $\triangle AOP$ と $\triangle BOP$ において $\angle AOP = \angle BOP$ (仮定) ← 1つの鋭角 $\angle PAO = \angle PBO = 90^\circ$ (仮定) ← 直角 $PO = PO$ (共通) ← 斜辺

直角三角形で斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

よって $\triangle AOP \cong \triangle BOP$ よって $PA = PB$ である

直角三角形の合同の証明

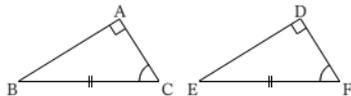
※ 直角三角形の合同条件を使う

※ 普通の三角形の合同条件を使う

ポイント

直角三角形の合同条件 ※p204~p208参照

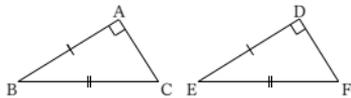
◆ 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

三角形の内角の和は 180° で $\angle A = \angle D = 90^\circ$ 、 $\angle C = \angle F$ より $\angle B = \angle E$ となる。

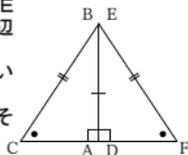
よって1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しくなる。

ゆえに $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ となる。

◆ 斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい

 $\triangle ABC$ の辺 AB と $\triangle DEF$ の辺 DE をくっつけると右図のように二等辺三角形となる。二等辺三角形では底角が等しいので $\angle C = \angle F$ となる。

よって斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。

ゆえに $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ となる。

練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 直角三角形の合同条件を3回書きなさい。

◆

◆

◆

◆

◆

◆

- ② 右の図で、 $PA = PB$ ， $\angle PAO = \angle PBO = 90^\circ$ ならば
 $\angle AOP = \angle BOP$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle AOP$ と \triangle _____ において

$PA =$ _____ (仮定)

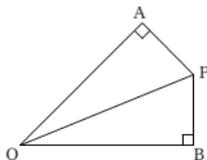
\angle _____ $= \angle PBO = 90^\circ$ (仮定)

$OP = OP$ (_____)

直角三角形で _____

よって $\triangle AOP \cong \triangle$ _____

よって \angle _____ $= \angle$ _____ である



1 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p176例1▶

① 直角三角形の合同条件を3回書きなさい。

◆ _____

◆ _____

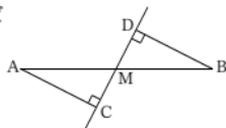
◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

② 右の図で、 $AM = BM$ ， $\angle ACM = \angle BDM = 90^\circ$ ならば
 $AC = BD$ であることを証明しなさい。



(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

確認問題 5-12-B

I 次の各問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p176 例1

① 直角三角形の合同条件を3回書きなさい。

◆

◆

◆

◆

◆

◆

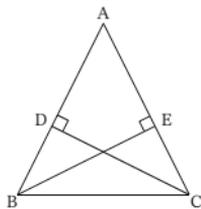
② 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。

$\angle AEB = \angle ADC = 90^\circ$ ならば $AE = AD$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

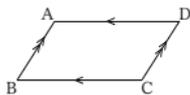


例1 平行四辺形の定義と定理

次の各問いに答えなさい。

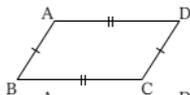
① 平行四辺形の定義を書きなさい。

◆ 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行である四角形

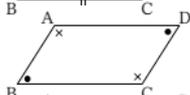


② 平行四辺形の定理(性質)を書きなさい。

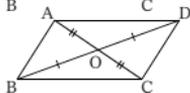
◆ 2組の向かい合う辺はそれぞれ等しい



◆ 2組の向かい合う角はそれぞれ等しい



◆ 対角線はそれぞれの中点で交わる

教科書によって多少表現が違うので
学校で習った通りに覚えましょう

ポイント

平行四辺形の定義 ※p204~p208参照

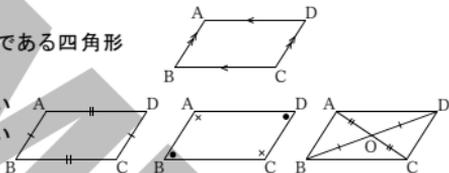
◆ 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行である四角形

平行四辺形の定理(性質)

◆ 2組の向かい合う辺はそれぞれ等しい

◆ 2組の向かい合う角はそれぞれ等しい

◆ 対角線はそれぞれの中点で交わる

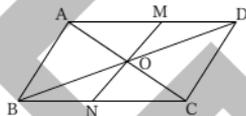


例2 平行四辺形の性質を使った証明

次の問いに答えなさい。

① 平行四辺形 ABCD の対角線の交点 O を通る直線が、AD、BC と交わる点をそれぞれ M、N とするとき、 $AM = CN$ であることを証明しなさい。(仮定) $AB \parallel CD$, $AD \parallel BC$ (定義) → 仮定となる(結論) $AM = CN$ $\triangle AOM$ と $\triangle CON$ において $\angle MAO = \angle NCO$ (平行線の錯角) $\angle AOM = \angle CON$ (対頂角) $AO = CO$ (平行四辺形の定理) (定理) → 仮定とならない

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい

よって $\triangle AOM \cong \triangle CON$ よって $AM = CN$ である平行四辺形の定理の中から
証明に必要なものを使う

ポイント

平行四辺形の定義(仮定になる) ※p204~p208参照

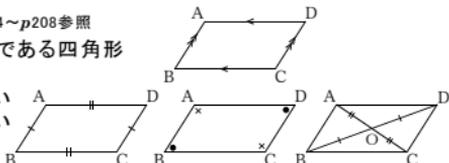
◆ 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行である四角形

平行四辺形の定理(仮定にならない)

◆ 2組の向かい合う辺はそれぞれ等しい

◆ 2組の向かい合う角はそれぞれ等しい

◆ 対角線はそれぞれの中点で交わる



練習1 次の問いに答えなさい。

- ① 平行四辺形の定義と定理を書きなさい。

◆定義 _____

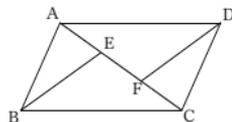
◆定理 _____

◆定理 _____

◆定理 _____

練習2 次の各問いに答えなさい。

- ① 平行四辺形 $ABCD$ の対角線 AC 上に $AE = CF$ となるように点 E, F をとるとき、 $BE = DF$ であることを証明しなさい。



(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle ABE$ と \triangle _____ において

$$AE = \text{_____} \text{ (仮定)}$$

$$AB = \text{_____} \text{ (_____)}$$

$$\angle \text{_____} = \angle DCF \text{ (_____)}$$

$$\text{よって} \triangle ABE \equiv \triangle \text{_____}$$

$$\text{よって} \text{_____} = \text{_____} \text{ である}$$

- ② 平行四辺形 $ABCD$ の対角線の交点 O を通る直線に垂線 AE, CF をひくとき、 $AE = CF$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $\triangle AOE$ と \triangle _____ において

$$\angle AEO = \angle \text{_____} = 90^\circ \text{ (仮定)}$$

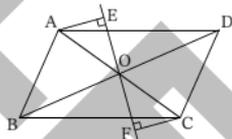
$$\text{_____} = CO \text{ (_____)}$$

$$\angle \text{_____} = \angle COF \text{ (_____)}$$

直角三角形で _____

$$\text{よって} \triangle AOE \equiv \triangle \text{_____}$$

$$\text{よって} \text{_____} = \text{_____} \text{ である}$$



確認問題 5-13-A

点

1 次の問いに答えなさい。(40点×1=40点)▶p180 例1

① 平行四辺形の定義と定理を書きなさい。

◆定義 _____

◆定理 _____

◆定理 _____

◆定理 _____

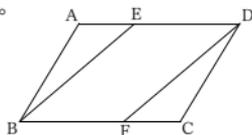
2 次の各問いに答えなさい。(30点×2=60点)▶p180 例2

① 平行四辺形 $ABCD$ の辺 AD , BC 上に $AE = CF$ となるように点 E , F をとるとき、 $BE = DF$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

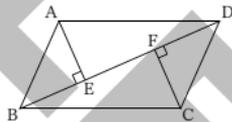
(証明) _____

② 平行四辺形 $ABCD$ の対角線 BD に垂線 AE , CF をひくとき、 $BE = DF$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) _____



確認問題 5-13-B

I 次の問いに答えなさい。(40点×1=40点)▶p180 **例1**

- ① 平行四辺形の定義と定理を書きなさい。

◆定義 _____

◆定理 _____

◆定理 _____

◆定理 _____

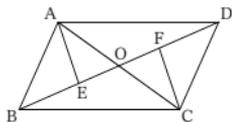
2 次の各問いに答えなさい。(30点×2=60点)▶p180 **例2**

- ① 平行四辺形 $ABCD$ の対角線 BD 上に $OE = OF$ となるように点 E, F をとるとき、 $AE = CF$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明)

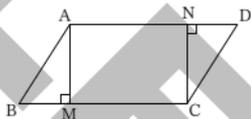


- ② 平行四辺形 $ABCD$ の頂点 A, C から垂線 AM, CN をひくとき、 $BM = DN$ であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

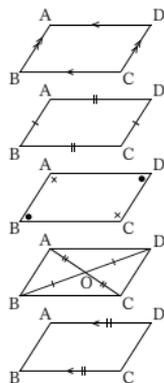
(証明)



例1 平行四辺形になる条件

次の各問いに答えなさい。

- ① 平行四辺形になる条件を書きなさい。
- ◆ 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行である
 - ◆ 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい
 - ◆ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい
 - ◆ 対角線がそれぞれの中点で交わる
 - ◆ 1組の向かい合う辺が平行で、その長さが等しい

教科書によって多少表現が違うので
学校で習った通りに覚えましょう

- ② 平行四辺形 $ABCD$ の対角線 BD 上に $BE = DF$ となるように点 E, F をとると、四角形 $AECF$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

(仮定) $AB \parallel CD, AD \parallel BC, BE = DF$ (結論) 四角形 $AECF$ は平行四辺形

$\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ において
 $\angle ABE = \angle CDF$ (平行線の錯角)
 $BE = DF$ (仮定)
 $AB = CD$ (平行四辺形の定理)
 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
 よって $\triangle ABE \equiv \triangle CDF$
 よって $AE = CF$...①

同様にして 同じような説明のとき使う

$\triangle DAF \equiv \triangle BCE$
 よって $AF = CE$...②
 ①②より

2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい
 よって四角形 $AECF$ は
 平行四辺形である

別の
方法

$\triangle ABE$ と $\triangle CDF$ において
 $\angle ABE = \angle CDF$ (平行線の錯角)
 $BE = DF$ (仮定)
 $AB = CD$ (平行四辺形の定理)
 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
 よって $\triangle ABE \equiv \triangle CDF$
 よって $AE = CF$...①

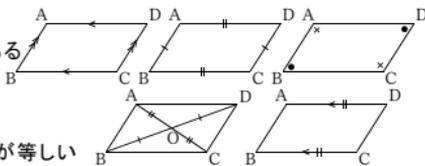
また $\angle AEB = \angle CFD$
 よって $\angle AEF = \angle CFE$
 錯角が等しいので $AE \parallel CF$...②
 ①②より

1組の向かい合う辺が平行で
 その長さが等しい
 よって四角形 $AECF$ は
 平行四辺形である

ポイント

平行四辺形になる条件 ※p204~p208参照

- ◆ 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行である
- ◆ 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい
- ◆ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい
- ◆ 対角線はそれぞれの中点で交わる
- ◆ 2組の向かい合う辺が平行で、その長さが等しい



練習1 次の各問いに答えなさい。

① 平行四辺形になる条件を2回書きなさい。

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

② 右の図で四角形 $A B C D$ ， $B E F C$ がともに平行四辺形ならば、四角形 $A E F D$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____

(証明) $A D //$ _____ (仮定) … ①

$A D =$ _____ (平行四辺形の定理) … ②

_____ $// E F$ (仮定) … ③

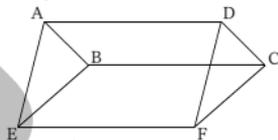
_____ $= E F$ (平行四辺形の定理) … ④

①③より $A D //$ _____ … ⑤

②④より $A D =$ _____ … ⑥

⑤⑥より _____

よって四角形 $A E F D$ は平行四辺形である



I 次の問いに答えなさい。(50点×2=100点)▶p184 例1▶

① 平行四辺形になる条件を2回書きなさい。

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

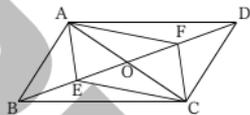
◆ _____

◆ _____

② 平行四辺形 $ABCD$ の対角線 BD 上に $BE = DF$ となるように点 E, F をとると、四角形 $AECF$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____



(証明) $AO =$ _____ (平行四辺形の定理) … ①

$BO =$ _____ (平行四辺形の定理) … ②

$BE =$ _____ (仮定) … ③

$OE = BO -$ _____ … ④

$OF = DO -$ _____ … ⑤

②③④⑤より $OE = OF$ … ⑥

①⑥より _____

よって四角形 $AECF$ は平行四辺形である

確認問題 5-14-B

I 次の問いに答えなさい。(50点 × 2 = 100点) ▶ p184 例1

- ① 平行四辺形になる条件を2回書きなさい。

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

◆ _____

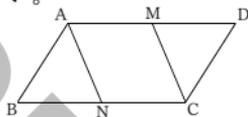
◆ _____

◆ _____

- ② 平行四辺形 $ABCD$ の辺 AD の中点を M 、辺 BC の中点を N とするとき、四角形 $ANCM$ は平行四辺形であることを証明しなさい。

(仮定) _____

(結論) _____



(証明) $AM \parallel$ _____ (仮定) …①

$AD =$ _____ (平行四辺形の定理) …②

$AM = \frac{1}{2}$ _____ (仮定) …③

$CN = \frac{1}{2}$ _____ (仮定) …④

②③④より $AM = CN$ …⑤

①⑤より _____

よって四角形 $ANCM$ は平行四辺形である

例1 特別な平行四辺形

次の各問いに答えなさい。

① 長方形の定義と定理(性質)を書きなさい。

◆定義 4つの角がすべて等しい四角形

◆定理 2つの対角線は等しい

② ひし形の定義と定理(性質)を書きなさい。

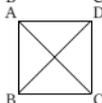
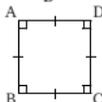
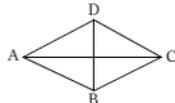
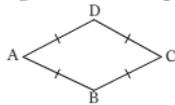
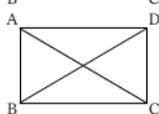
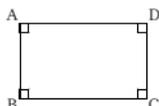
◆定義 4つの辺がすべて等しい四角形

◆定理 2つの対角線は垂直に交わる

③ 正方形の定義と定理(性質)を書きなさい。

◆定義 4つの角がすべて等しく、4つの辺もすべて等しい四角形

◆定理 2つの対角線の長さが等しく、垂直に交わる



ポイント

特別な平行四辺形(平行四辺形の性質はすべて持っている) ※p204~p208参照

長方形

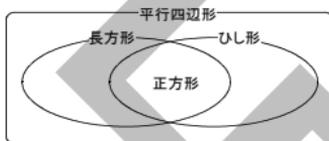
- ◆ 定義...4つの角がすべて等しい四角形
- ◆ 定理(性質)...2つの対角線は等しい

ひし形

- ◆ 定義...4つの辺がすべて等しい四角形
- ◆ 定理(性質)...2つの対角線は垂直に交わる

正方形

- ◆ 定義...4つの角がすべて等しく、4つの辺もすべて等しい四角形
- ◆ 定理(性質)...2つの対角線の長さが等しく、垂直に交わる



- 2組の向かい合う辺をそれぞれ平行にする
- 2組の向かい合う辺をそれぞれ等しくする
- 2組の向かい合う角をそれぞれ等しくする
- 対角線をそれぞれの中点で交わらせる
- 1組の向かい合う辺を平行で等しくする



ひし形
 となりあう辺を等しくする
 対角線を垂直に交わらせる



正方形
 1つの角を直角にする
 対角線の長さを等しくする

1つの角を直角にする
 対角線の長さを等しくする

となりあう辺を等しくする
 対角線を垂直に交わらせる



練習1 次の問いに答えなさい。

- ① 長方形の定義と定理を2回書きなさい。

◆定義

◆定理

◆定義

◆定理

- ② ひし形の定義と定理を2回書きなさい。

◆定義

◆定理

◆定義

◆定理

- ③ 正方形の定義と定理を2回書きなさい。

◆定義

◆定理

◆定義

◆定理

- ④ 平行四辺形でとなり合う辺が等しいとき、何という四角形ですか。

- ⑤ 平行四辺形でとなり合う角が等しいとき、何という四角形ですか。

- ⑥ 平行四辺形で対角線が等しいとき、何という四角形ですか。

- ⑦ 平行四辺形で対角線が垂直に交わるとき、何という四角形ですか。

- ⑧ 平行四辺形でとなり合う辺も角も等しいとき、何という四角形ですか。

- ⑨ 平行四辺形で対角線が等しく、垂直に交わるとき、何という四角形ですか。

I 次の各問いに答えなさい。(10点×10=100点)▶p188 例1▶

① 長方形の定義と定理を書きなさい。

◆定義

◆定理

② ひし形の定義と定理を書きなさい。

◆定義

◆定理

③ 正方形の定義と定理を書きなさい。

◆定義

◆定理

④ 長方形でとなり合う辺が等しいとき、何という四角形ですか。

⑤ 平行四辺形でとなり合う角が等しいとき、何という四角形ですか。

⑥ 平行四辺形で対角線が等しいとき、何という四角形ですか。

⑦ 長方形で対角線が垂直に交わる時、何という四角形ですか。

⑧ 平行四辺形でとなり合う辺も角も等しいとき、何という四角形ですか。

⑨ 平行四辺形で対角線が垂直に交わる時、何という四角形ですか。

⑩ ひし形でとなり合う角が等しいとき、何という四角形ですか。

確認問題 5-15-B

I 次の各問いに答えなさい。(10点×10=100点)▶p188 例1

- ① 長方形の定義と定理を書きなさい。

◆定義

◆定理

- ② ひし形の定義と定理を書きなさい。

◆定義

◆定理

- ③ 正方形の定義と定理を書きなさい。

◆定義

◆定理

- ④ 平行四辺形でとなり合う辺が等しいとき、何という四角形ですか。

- ⑤ ひし形でとなり合う角が等しいとき、何という四角形ですか。

- ⑥ 平行四辺形で対角線が等しいとき、何という四角形ですか。

- ⑦ 長方形で対角線が垂直に交わる時、何という四角形ですか。

- ⑧ 平行四辺形でとなり合う辺も角も等しいとき、何という四角形ですか。

- ⑨ 平行四辺形で対角線が垂直に交わる時、何という四角形ですか。

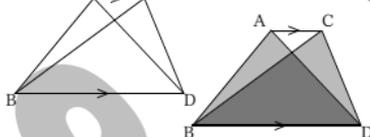
- ⑩ 長方形でとなり合う辺が等しいとき、何という四角形ですか。

16 面積の等しい三角形

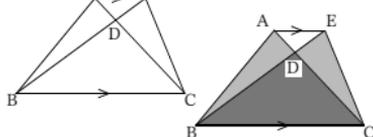
例1 面積の等しい三角形

△ABDと面積の等しい三角形を書きなさい。

① (AC//BD) A C



② (AE//BC) A E



BDを底辺とすると
△ABDと△CBDの
高さが等しくなる
よって△ABD=△CBD 答△CBD

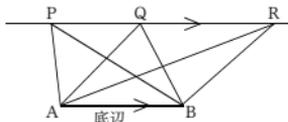
△ABC=△EBC
△ABD=△ABC-△DBC
△ECD=△EBC-△DBC
よって△ABD=△ECD 答△ECD

ポイント

面積の等しい三角形 ※p204~p208参照

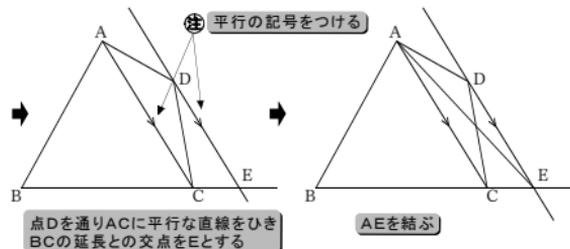
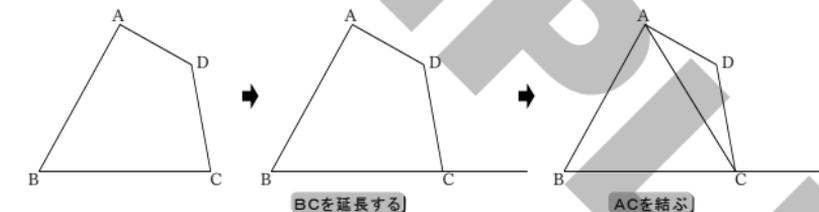
- ◆ 底辺が共通で、頂点が底辺に平行な直線上にある三角形の面積は等しい

$$\triangle PAB = \triangle QAB = \triangle RAB$$



例2 等積変形

BCの延長上に点Eをとり、△ABEの面積が四角形ABCDの面積と等しくなるようにするには、点Eをどのようにとればよいか。作図で求めなさい。

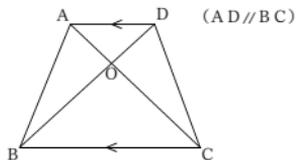


点Dを通りACに平行な直線をひきBCの延長との交点をEとする

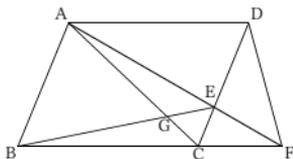
ACを底辺とすると
△ADCと△AECの
高さが等しくなる
よって△ADC=△AEC
よって△ABEの面積が
四角形ABCDの面積と
等しくなる

練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① $\triangle ABC$ と面積の等しい三角形を書きなさい。
- ② $\triangle ACD$ と面積の等しい三角形を書きなさい。
- ③ $\triangle ABO$ と面積の等しい三角形を書きなさい。

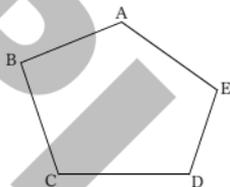


- ④ 平行四辺形 $ABCD$ の辺 BC の延長線上に点 F をとり、 A と F 、 D と F を結ぶ。 AF と CD の交点を E 、 AC と BE の交点を G とすると、 $\triangle EBC$ と面積の等しい三角形をすべて書きなさい。

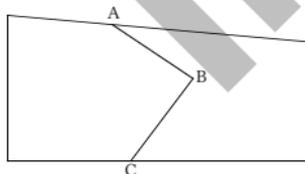


練習2 次の各問いに答えなさい。

- ① CD を左右に延長し、 C の左に点 F 、 D の右に点 G をとり、 $\triangle AFG$ の面積が五角形 $ABCDE$ の面積と等しくなるようにするには、点 F 、点 G をどのようにとればよいか。作図で求めなさい。



- ② ある土地が折れ線 ABC を境界として2つに分けられている。2つの土地の面積を変えないで境界線を C を通る直線に変えたい。どのように境界線をひけばよいか。作図で求めなさい。

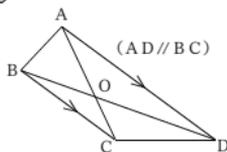


確認問題 5-16-A

点

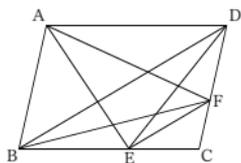
1 次の各問いに答えなさい。(20点×3=60点)▶p192 例1

① $\triangle ABC$ と面積の等しい三角形を書きなさい。



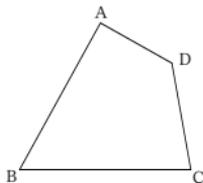
② $\triangle ABO$ と面積の等しい三角形を書きなさい。

③ 平行四辺形 $ABCD$ の辺 BC , CD 上に点 E , F をとる。 $BD \parallel EF$ であるとき $\triangle ABE$ と面積の等しい三角形をすべて書きなさい。

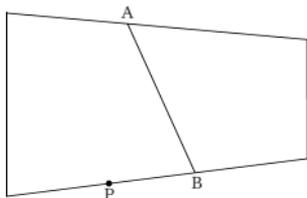


2 次の各問いに答えなさい。(20点×2=40点)▶p192 例2

① BC の延長上に点 E をとり、 $\triangle ABE$ の面積が四角形 $ABCD$ の面積と等しくなるようにするには、点 E をどのようにとればよいか。作図で求めなさい。



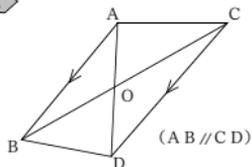
② ある土地が直線 AB を境界として2つに分けられている。2つの土地の面積を変えないで P を通る線分 PS を新しい境界にするためにはどのように境界線をひけばよいか。作図で求めなさい。



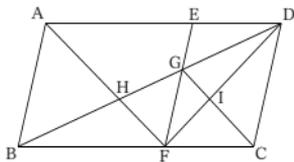
確認問題 5-16-B

1 次の各問いに答えなさい。(20点×3=60点)▶p192例1

- ① $\triangle CBD$ と面積の等しい三角形を書きなさい。
- ② $\triangle AOC$ と面積の等しい三角形を書きなさい。

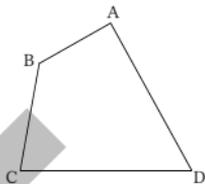


- ③ 平行四辺形 $ABCD$ の辺 AD , BC 上に点 E , F をとる。 $AB // EF$ であるとき $\triangle ABF$ と面積の等しい三角形をすべて書きなさい。

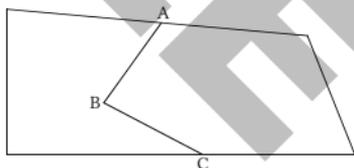


2 次の各問いに答えなさい。(20点×2=40点)▶p192例2

- ① DC の延長上に点 E をとり、 $\triangle AED$ の面積が四角形 $ABCD$ の面積と等しくなるようにするには、点 E をどのようにとればよいか。作図で求めなさい。



- ② ある土地が折れ線 ABC を境界として2つに分けられている。2つの土地の面積を変えないで境界線を A を通る直線に変えたい。どのように境界線をひけばよいか。作図で求めなさい。



練習1 次の各問いに答えなさい。

- ① 1つのさいころを投げるとき、2以上の目がでる確率を求めなさい。
- ② 1から15までの数字が1つずつ書かれた15枚のカードから1枚ひくとき、そのカードが5の倍数である確率を求めなさい。

練習2 次の各問いに答えなさい。

- ① 大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目の和が8以上になる確率を求めなさい。
- ② A, B, Cの3人でじゃんけんをするとき、Aだけが勝つ確率を求めなさい。

練習3 次の各問いに答えなさい。

- ① 赤球が2個、白球が3個入った袋から同時に2個の球を取り出すとき、2つの球の色が異なる確率を求めなさい。
- ② A, B, C, Dの4人のうちAは男子でB, C, Dは女子である。この中から代表を2人選ぶとき、代表が男子と女子になる確率を求めなさい。

1 次の各問いに答えなさい。(10点×2=20点)▶p196 例1

- ① 1つのさいころを投げるとき、偶数の目がでる確率を求めなさい。
- ② ジョーカーの入っていない52枚のトランプから1枚ひくとき、そのカードがキング(13)である確率を求めなさい。

2 次の各問いに答えなさい。(20点×2=40点)▶p196 例2

- ① 大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目が同じになる確率を求めなさい。
- ② $\boxed{1}$ $\boxed{2}$ $\boxed{3}$ $\boxed{4}$ の4枚のカードの中から2枚のカードを選んで2けたの整数を作るとき、その数が3の倍数となる確率を求めなさい。

3 次の各問いに答えなさい。(20点×2=40点)▶p196 例3

- ① 赤球が1個、白球が3個入った袋から同時に2個の球を取り出すとき、2個とも白球である確率を求めなさい。
- ② $\boxed{0}$ $\boxed{1}$ $\boxed{2}$ $\boxed{3}$ の4枚のカードの中から同時に2枚のカードを取り出したとき、2枚のカードの数の和が2以上になる確率を求めなさい。

確認問題 6-2-B

1 次の各問いに答えなさい。(10点×2=20点)▶p196 例1

- ① 1つのさいころを投げるとき、4以下の目がでる確率を求めなさい。
- ② 1から20までの数字が1つずつ書かれた20枚のカードから1枚ひくとき、そのカードが2の倍数または3の倍数である確率を求めなさい。

2 次の各問いに答えなさい。(20点×2=40点)▶p196 例2

- ① 大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目の差が2になる確率を求めなさい。
- ② コインを3回続けて投げるとき、裏が1回出る確率を求めなさい。

3 次の各問いに答えなさい。(20点×2=40点)▶p196 例3

- ① 赤球が4個、白球が2個入った袋から同時に2個の球を取り出すとき、2つの球の色が異なる確率を求めなさい。
- ② A, B, C, D, Eの5人のうちA, B, Cは男子でD, Eは女子である。この中から代表を2人選ぶとき、代表が男子と女子になる確率を求めなさい。

四分位数と箱ひげ図

例1 四分位数

次のデータの第2四分位数(中央値)・第1四分位数・第3四分位数・四分位範囲を求めよ。

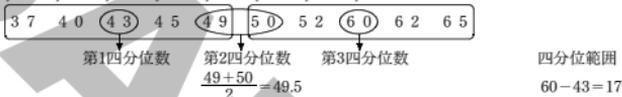
- ① 1, 2, 5, 8, 12, 14, 20, 22, 30, 35, 36, 42, 45



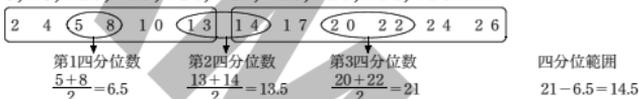
- ② 14, 16, 18, 20, 23, 25, 26, 28, 30, 33, 35



- ③ 37, 40, 43, 45, 49, 50, 52, 60, 62, 65



- ④ 2, 4, 5, 8, 10, 13, 14, 17, 20, 22, 24, 26



例2 箱ひげ図

右の図は、1組・2組・3組(各組40人)のテストの得点を箱ひげ図で表したものである。次の各問に答えなさい。

- ① 1組の最大値を求めよ。

箱ひげ図から98(点)

答 98(点) 1組

- ② 65点以下の生徒がいるのはどの組か。

箱ひげ図から1組

答 1組

- ③ 70点以下の生徒が10人以上いるのはどの組か。

3組の第1四分位数が68点なので3組

答 3組

- ④ 80点以上の生徒が20人以上いるのはどの組か。

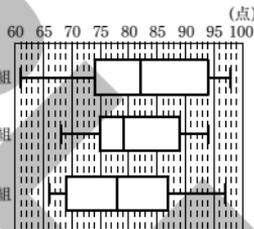
1組の第2四分位数が82点なので1組

答 1組

- ⑤ データの散らばりが最も大きいのはどの組か。

四分位範囲が一番大きい1組

答 1組



ポイント

◆ 箱ひげ図…データのばらつきをわかりやすく表現するための統計図



練習1 次のデータの第2四分位数(中央値)・第1四分位数・第3四分位数・四分位範囲を求めなさい。

① 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 80, 80, 90, 95, 100

② 5, 7, 9, 12, 14, 18, 20, 25, 30, 40, 44

③ 8, 9, 11, 15, 18, 22, 23, 26, 28, 30

④ 10, 11, 13, 15, 18, 20, 24, 26, 31, 35, 38, 40

練習2 右の図は、1組・2組・3組(各組40人)のテストの得点を箱ひげ図で表したものである。次の各問いに答えなさい。

① 2組の最小値を求めよ。

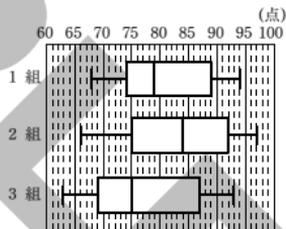
② 95点以上の生徒がいるのはどの組か。

③ 90点以上の生徒が10人以上いるのはどの組か。

④ 70点以下の生徒が10人以上いるのはどの組か。

⑤ データの散らばりが最も大きいのはどの組か。

⑥ データの散らばりが最も小さいのはどの組か。

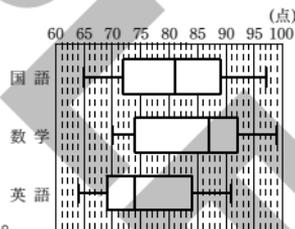


1 次のデータの第2四分位数(中央値)・第1四分位数・第3四分位数・四分位範囲を求めなさい。(10点×2=20点)▶p200 例1

- ① 4, 6, 10, 16, 20, 26, 30
- ② 20, 30, 45, 50, 55, 60, 80, 90
- ③ 2, 8, 10, 18, 22, 25, 27, 35, 40
- ④ 12, 20, 24, 25, 33, 41, 44, 60, 75, 90

2 右の図は、生徒40人のテストの得点を箱ひげ図で表したものである。次の各問いに答えなさい。(20点×2=40点)▶p200 例2

- ① 国語の最大値を求めよ。
- ② 95点以上の生徒がいないのはどの科目か。
- ③ 70点以下の生徒が10人以上いるのはどの科目か。
- ④ 90点以上の生徒が10人以上いるのはどの科目か。
- ⑤ データの散らばりが最も大きいのはどの科目か。



確認問題 7-2-B 点

1 次のデータの第2四分位数(中央値)・第1四分位数・第3四分位数・四分位範囲を求めなさい。(10点×2=20点)▶p200 **例1**

① 10, 12, 13, 14, 18, 21, 24, 26, 30, 32, 38, 42, 45

② 40, 40, 45, 50, 50, 60, 65, 65, 70, 80, 90

③ 4, 9, 13, 14, 17, 21, 25, 28, 30, 34

④ 46, 47, 49, 51, 55, 56, 58, 60, 60, 62, 64, 70

2 右の図は、生徒80人のテストの得点を箱ひげ図で表したものである。次の各問いに答えなさい。(20点×2=40点)▶p200 **例2**

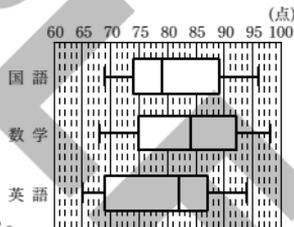
① 国語の最大値を求めよ。

② 95点以上の生徒がいなのはどの科目か。

③ 80点以下の生徒が40人以上いるのはどの科目か。

④ 90点以上の生徒が20人以上いるのはどの科目か。

⑤ データの散らばりが最も大きいのはどの科目か。

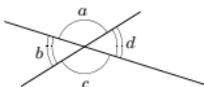


図形のまとめ

1 対頂角

対頂角の大きさは等しい

$$\angle a = \angle c \quad \angle b = \angle d$$



2 平行線と同位角・錯角

平行線では同位角は等しい

平行線では錯角は等しい



3 三角形の内角と外角

三角形の内角の和は 180° である

三角形の外角は、それととなりあわない2つの内角の和に等しい



4 多角形の内角の和と外角の和

n 角形の内角の和は $180^\circ \times (n-2)$

n 角形の外角の和は 360°

5 合同な図形の性質

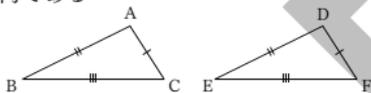
合同な図形では対応する辺の長さは等しい

合同な図形では対応する角の大きさは等しい

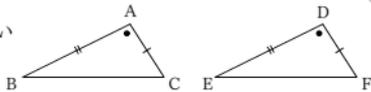
6 三角形の合同条件

次のいずれかの場合に2つの三角形は合同である

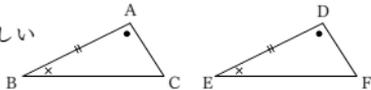
3組の辺がそれぞれ等しい



2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい



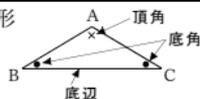
1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい



7

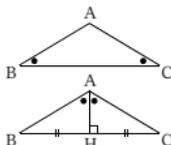
二等辺三角形

定義…2辺が等しい三角形



定理…2つの底角は等しい

頂角の2等分線は底辺を垂直に2等分する



8

二等辺三角形になる条件

次のいずれかの場合に二等辺三角形である

2つの辺が等しい

2つの角が等しい

9

正三角形

定義…3辺が等しい三角形

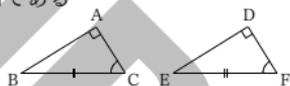
定理…3つの内角は等しい

10

直角三角形の合同条件

次のいずれかの場合に直角三角形は合同である

斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい



斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい

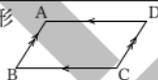


次のいずれかの場合に平行四辺形である

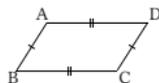
11

平行四辺形

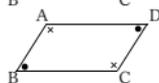
定義…2組の向かい合う辺がそれぞれ平行である四角形



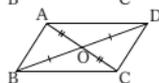
定理…2組の向かい合う辺はそれぞれ等しい



2組の向かい合う角はそれぞれ等しい

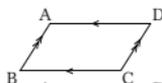


対角線はそれぞれの中点で交わる

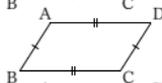


12 平行四辺形になる条件

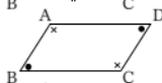
2組の向かい合う辺がそれぞれ平行



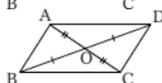
2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい



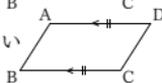
2組の向かい合う角がそれぞれ等しい



対角線がそれぞれの中点で交わる

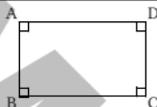


1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しい



13 長方形

定義…4つの角がすべて等しい四角形

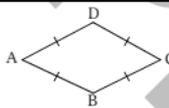


定理…2つの対角線は等しい

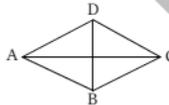


14 ひし形

定義…4つの辺がすべて等しい四角形



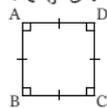
定理…2つの対角線は垂直に交わる



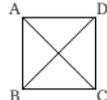
15 正方形

定義…4つの角がすべて等しく、4つの辺もすべて等しい四角形

定理…2つの対角線は等しい



2つの対角線は垂直に交わる

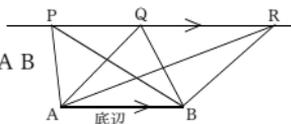


16

面積の等しい三角形

底辺が共通で、頂点が底辺に平行な直線上にある三角形の面積は等しい

$$\triangle PAB = \triangle QAB = \triangle RAB$$



平行線にはさまれた $\triangle CAP$ と $\triangle DPB$ の面積は等しい

$$\triangle CAP = \triangle DPB$$

